

Ⅱ. 調査結果の分析

1. 定住意向について

(1) 戸田市に移転したきっかけ

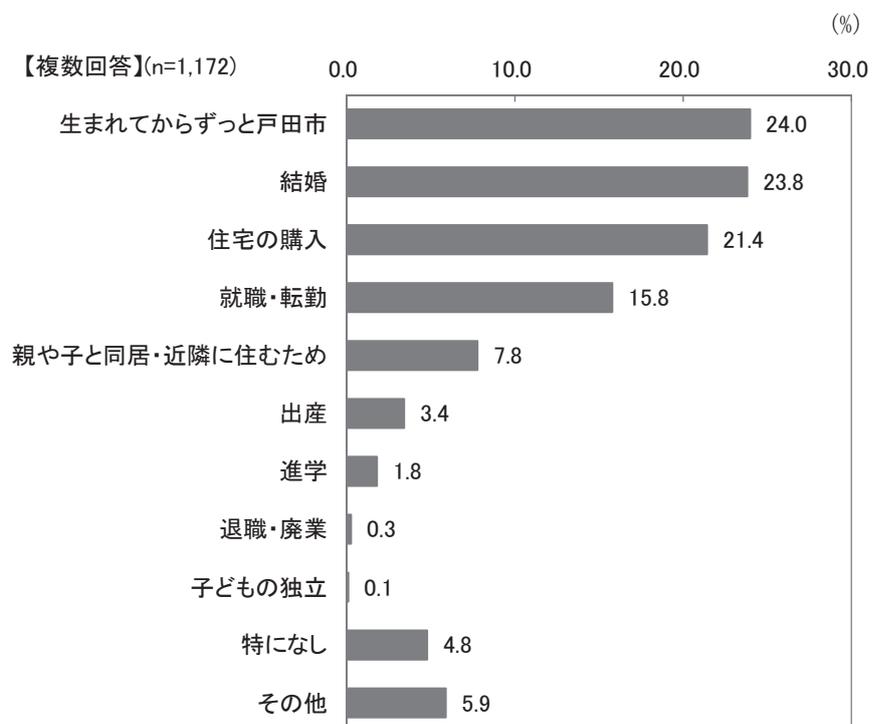
問 16 あなたが直前に住んでいた市区町村から移転したきっかけは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・戸田市に移転したきっかけについては、「結婚」が23.8%と最も高く、次いで「住宅の購入」(21.4%)、「就職・転勤」(15.8%)となっています。

・また、「生まれてからずっと戸田市」は24.0%となっています。

図表 25 戸田市に移転したきっかけ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は「就職・転勤」が女性より 6.1 ポイント高くなっており、一方、女性は「結婚」が男性と比べて 15.8 ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、10 歳代と 20 歳代は「生まれてからずっと戸田市」が高く、30 歳代と 40 歳代は「結婚」が高くなっています。また、「住宅の購入」は 50 歳代以上で高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「結婚」が多いのは上戸田 1 地区及び美女木地区でした。また、「住宅の購入」は下戸田 2 地区が 29.0%と最も高く、次いで下戸田 1 地区の 25.0%となっています。

図表 26 戸田市に移転したきっかけ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ず 生 ま れ て か ら 戸 田 市	進 学	就 職 ・ 転 勤	結 婚	出 産	子 ど も の 独 立	退 職 ・ 廃 業	近 隣 に 住 む た め ・ 親 や 子 と 同 居	住 宅 の 購 入	特 に な し	そ の 他
	全体(1,172)	24.0	1.8	15.8	23.8	3.4	0.1	0.3	7.8	21.4	4.8	5.9
性別	男性(507)	28.8	1.6	19.3	15.0	3.0	0.2	0.2	7.3	22.1	6.1	5.3
	女性(659)	20.3	2.0	13.2	30.8	3.8	0.0	0.3	8.2	21.1	3.6	6.4
年齢別	16～19 歳(32)	87.5	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	3.1
	20～29 歳(109)	48.6	2.8	8.3	5.5	0.9	0.0	0.0	8.3	14.7	6.4	8.3
	30～39 歳(182)	19.8	4.4	17.6	23.6	6.6	0.0	0.0	8.2	19.2	4.9	5.5
	40～49 歳(233)	22.3	2.6	18.5	31.3	2.1	0.0	0.4	9.4	18.5	2.1	5.6
	50～59 歳(215)	19.1	0.0	14.4	27.9	4.2	0.0	0.0	8.4	23.7	6.5	7.9
	60～69 歳(169)	16.6	1.2	18.3	21.9	3.6	0.6	0.6	10.1	25.4	5.3	5.9
	70 歳以上(226)	18.6	0.9	15.9	26.1	3.1	0.0	0.4	4.4	27.4	4.9	3.5
居住地区別	下戸田 1 地区(144)	24.3	1.4	12.5	22.9	2.8	0.0	0.0	8.3	25.0	2.1	2.8
	下戸田 2 地区(214)	21.5	1.4	12.1	21.5	4.7	0.0	0.5	7.0	29.0	4.7	7.9
	上戸田 1 地区(125)	25.6	0.8	16.8	29.6	2.4	0.0	0.8	10.4	15.2	4.8	6.4
	上戸田 2 地区(171)	20.5	3.5	20.5	22.8	2.3	0.0	0.0	6.4	23.4	7.0	2.9
	新曽地区(251)	21.9	3.2	18.7	24.7	3.6	0.0	0.0	8.4	18.3	4.0	7.6
	笹目地区(156)	28.8	0.0	12.2	21.8	3.8	0.0	0.6	6.4	17.3	4.5	9.0
	美女木地区(106)	30.2	0.9	17.0	26.4	2.8	0.9	0.0	8.5	18.9	5.7	1.9

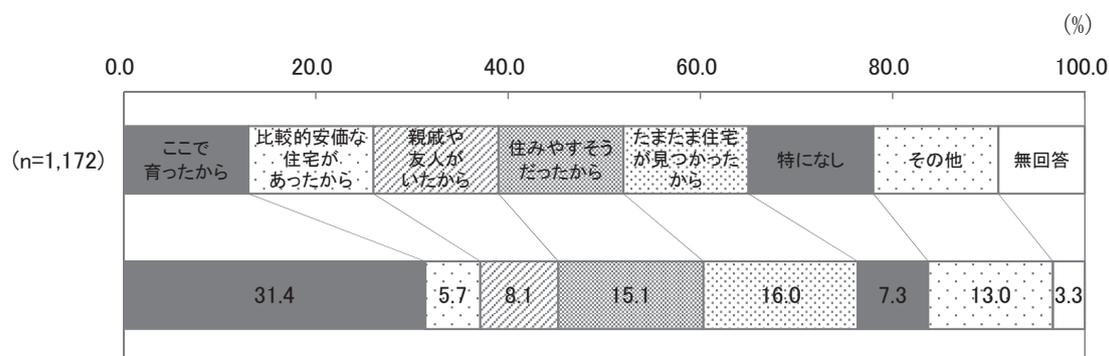
(2) 戸田市に住んでいる理由

問 17 あなたが戸田市に住んでいる理由を教えてください。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市に住んでいる理由については、「ここで育ったから」が31.4%と最も高く、次いで「たまたま住宅が見つかったから」(16.0%)、「住みやすそうだったから」(15.1%)となっています。

図表 27 戸田市に住んでいる理由(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、10歳代と20歳代で「ここで育ったから」が高くなっています。
- ・30歳代と40歳代は「住みやすそうだったから」が他の年代より高くなっています。
- ・60歳代と70歳以上では、「親戚や友人がいたから」と「たまたま住宅が見つかったから」の割合が他の年代より高くなっています。
- ・「特になし」については、70歳代で高くなっています。
- ・居住地区別でみると、新曽地区及び美女木地区では「たまたま住宅が見つかったから」が高くなっています。上戸田2地区では「比較的安価な住宅があったから」が全体の約2倍と高くなっています。また、笹目地区及び美女木地区では「ここで育ったから」が高くなっています。

図表 28 戸田市に住んでいる理由(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ここで育ったから	比較 的安 価な 住宅 があ った から	親 戚 や 友 人 が い た か ら	住 み や す そ う だ つ た か ら	た ま た ま 住 宅 が 見 つ か つ た か ら	特 に な し	そ の 他	無 回 答
	全体(1,172)	31.4	5.7	8.1	15.1	16.0	7.3	13.0	3.3
性別	男性(507)	39.4	6.1	7.1	15.8	13.0	7.7	8.9	2.0
	女性(659)	25.3	5.5	8.8	14.4	18.5	6.8	16.2	4.4
年齢別	16～19歳(32)	90.6	0.0	6.3	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0
	20～29歳(109)	69.7	0.9	4.6	4.6	5.5	6.4	6.4	1.8
	30～39歳(182)	25.3	7.7	8.2	20.9	15.9	6.0	12.1	3.8
	40～49歳(233)	29.2	7.7	6.0	22.3	12.9	3.4	15.5	3.0
	50～59歳(215)	25.6	8.4	8.8	15.8	16.7	7.4	14.4	2.8
	60～69歳(169)	27.2	3.6	9.5	15.4	18.9	7.1	16.0	2.4
	70歳以上(226)	20.8	4.4	10.2	9.7	23.5	13.3	12.4	5.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	31.9	4.9	7.6	14.6	16.0	9.0	14.6	1.4
	下戸田2地区(214)	29.0	6.5	7.9	19.2	14.0	4.2	14.5	4.7
	上戸田1地区(125)	28.8	5.6	11.2	21.6	11.2	6.4	13.6	1.6
	上戸田2地区(171)	27.5	11.1	4.7	11.1	17.0	10.5	14.6	3.5
	新曽地区(251)	28.7	4.4	6.8	16.7	19.9	8.8	12.0	2.8
	笹目地区(156)	41.0	3.8	13.5	9.6	13.5	4.5	10.9	3.2
	美女木地区(106)	35.8	2.8	6.6	11.3	19.8	7.5	10.4	5.7

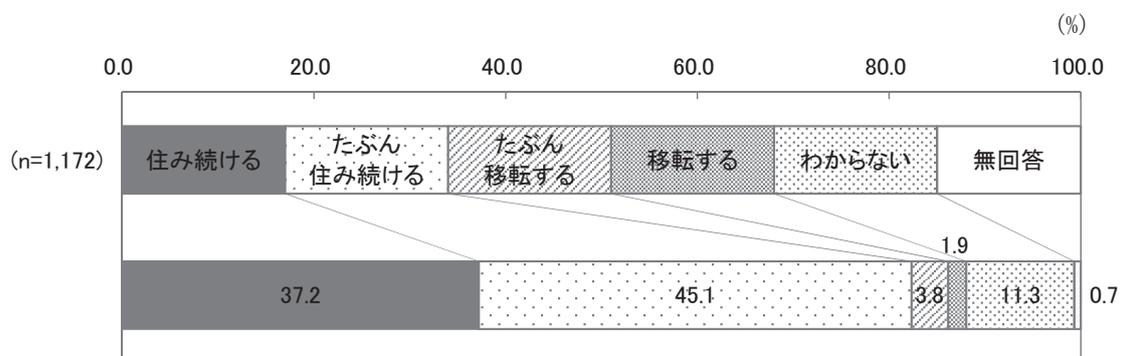
(3) 戸田市に住み続けたいか

問 18 あなたは、戸田市にこれからも住みたいと思いますか。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

・戸田市にこれからも住み続けたいかについては、「住み続ける」(37.2%)、「たぶん住み続ける」(45.1%)を合わせて82.3%となっています。一方、「たぶん移転する」(3.8%)と「移転する」(1.9%)を合わせると5.7%となっています。

図表 29 戸田市に住み続けたいか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、「住み続ける」については、50歳代では若干低くなるものの、年齢が上がるほど高くなる傾向が見られます。一方、「たぶん移転する」では20歳代で、「移転する」では10歳代で他の年代と比べ高くなっています。
- ・居住地区別にみると、笹目地区及び美女木地区で「住み続ける」が高くなっています。

図表 30 戸田市に住み続けたいか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		住み続ける	たぶん住み続ける	たぶん移転する	移転する	わからない	無回答
全体 (1, 172)		37.2	45.1	3.8	1.9	11.3	0.7
性別	男性 (507)	39.8	43.8	3.9	2.0	10.1	0.4
	女性 (659)	35.1	46.4	3.8	1.8	12.1	0.8
年齢別	16～19歳 (32)	15.6	50.0	6.3	9.4	18.8	0.0
	20～29歳 (109)	18.3	42.2	12.8	4.6	22.0	0.0
	30～39歳 (182)	28.6	48.9	7.1	2.2	13.2	0.0
	40～49歳 (233)	34.8	51.1	1.3	2.1	10.3	0.4
	50～59歳 (215)	31.6	52.6	3.7	0.9	11.2	0.0
	60～69歳 (169)	42.6	42.0	3.0	1.8	10.1	0.6
	70歳以上 (226)	60.2	32.3	0.0	0.0	5.8	1.8
居住地区別	下戸田1地区 (144)	38.9	42.4	4.2	0.7	13.9	0.0
	下戸田2地区 (214)	30.8	48.1	4.7	2.3	13.1	0.9
	上戸田1地区 (125)	43.2	44.0	2.4	0.8	8.8	0.8
	上戸田2地区 (171)	29.8	53.8	2.9	2.3	9.4	1.8
	新曽地区 (251)	31.5	47.8	5.2	2.8	12.7	0.0
	笹目地区 (156)	50.0	37.8	2.6	0.6	7.7	1.3
	美女木地区 (106)	47.2	34.9	2.8	2.8	12.3	0.0

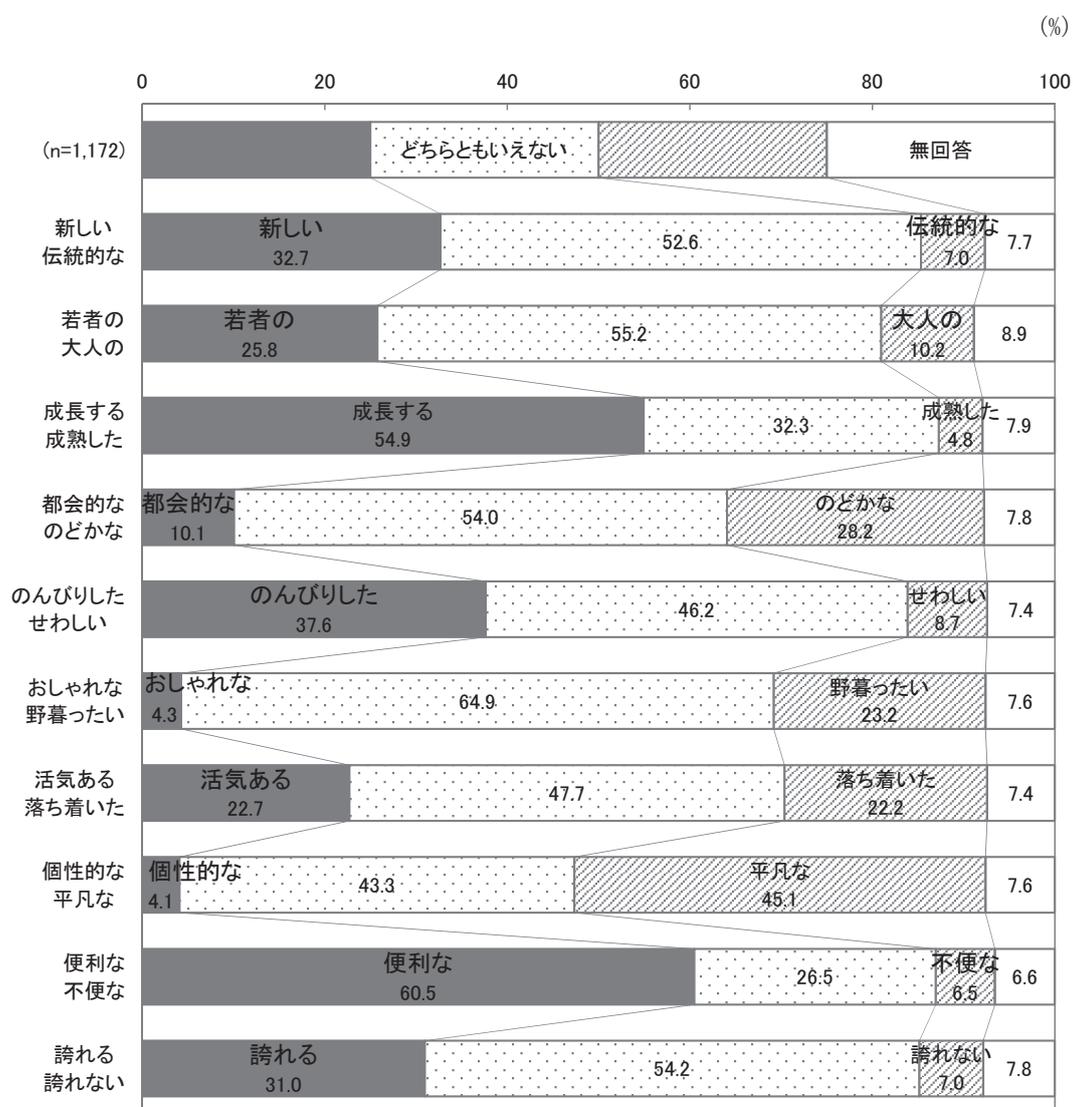
2. まちのイメージについて

(1) まちのイメージ

問 19 それぞれの項目に、まちのイメージをあらわす言葉が記されています。あなたは、戸田市にはどの言葉があてはまると思われますか。(項目ごとに○は1つ)

・まちのイメージをあらわす言葉については、「便利な」、「成長する」、「新しい」などの言葉の割合が高くなっています。一方、「平凡な」、「のんびりした」、「のどかな」、「誇れる」などのイメージも多く選ばれています。

図表 31 まちのイメージ(全体)



3. 健康づくりについて

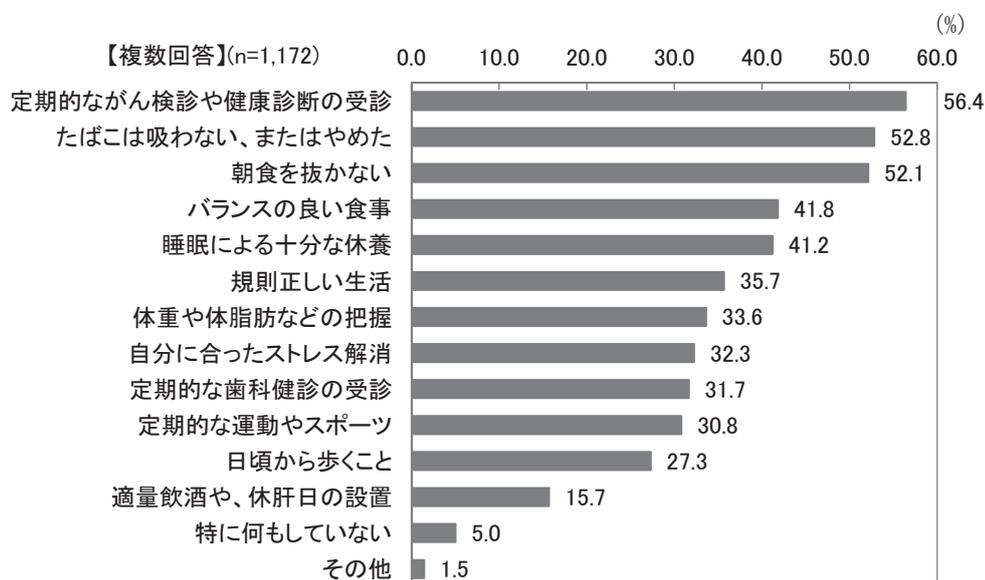
(1) 健康のために留意していること

問 20 あなたは、健康のために、留意していることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために留意していることについて、「定期的ながん検診や健康診断の受診」が 56.4%と最も高く、次いで「たばこは吸わない、またはやめた」(52.8%)、「朝食を抜かない」(52.1%)となっています。一方、「特に何もしていない」は、「その他」を除けば 5.0%と最も低くなっています。

図表 32 健康のために留意していること(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「定期的な運動やスポーツ」、「適量飲酒や、休肝日の設置」が高く、女性は男性に比べ、「バランスの良い食事」、「規則正しい生活」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「特に何もしていない」を除き、年齢が上がるにつれてすべての項目で高くなる傾向があります。「特に何もしていない」については、20歳代が最も高く、年齢が上がるにつれて低くなる傾向があります。また、16～19歳は「特に何もしていない」を除き「定期的ながん検診や健康診断の受診」は 6.3%と低くなっています。
- ・居住地区別にみると、上戸田2地区で「定期的ながん検診や健康診断の受診」が高くなっています。上戸田1地区及び笹目地区では「定期的な歯科健診の受診」が高くなっています。また、下戸田1地区及び美女木地区では「特に何もしていない」が高くなっています。

図表 33 健康のために留意していること(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	適量飲酒や、休肝日の設置	たばこは吸わない、またはやめた	特に何もしていない	その他
	全体(1,172)	56.4	31.7	41.8	52.1	30.8	27.3	33.6	41.2	32.3	35.7	15.7	52.8	5.0	1.5
性別	男性(507)	56.6	27.0	34.9	46.2	35.1	29.2	35.1	38.7	30.2	28.4	20.1	55.8	4.7	1.6
	女性(659)	56.3	35.4	47.2	56.8	27.6	25.8	32.6	43.4	34.0	41.6	12.3	50.4	5.3	1.4
年齢別	16～19歳(32)	6.3	18.8	53.1	43.8	40.6	21.9	21.9	43.8	46.9	34.4	6.3	28.1	6.3	0.0
	20～29歳(109)	17.4	18.3	30.3	45.0	27.5	14.7	30.3	40.4	34.9	28.4	18.3	55.0	13.8	0.9
	30～39歳(182)	49.5	23.1	35.2	48.4	28.6	18.7	29.7	42.9	33.5	31.3	17.6	52.7	7.1	0.5
	40～49歳(233)	61.8	30.9	37.3	45.9	30.5	21.0	34.3	38.2	32.2	33.5	13.7	51.5	4.3	1.7
	50～59歳(215)	64.7	31.2	40.9	47.0	34.0	29.8	36.7	35.3	36.7	31.2	21.4	52.1	3.7	1.9
	60～69歳(169)	71.0	42.0	48.5	52.1	33.7	32.0	36.1	40.8	27.8	42.6	10.1	50.3	4.7	0.0
	70歳以上(226)	63.7	40.7	51.8	71.2	28.3	41.2	35.0	49.1	26.5	45.1	14.6	58.8	1.3	3.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	54.2	28.5	41.7	52.1	25.7	28.5	28.5	37.5	32.6	38.9	16.7	50.7	6.9	1.4
	下戸田2地区(214)	55.6	29.9	40.2	54.2	31.8	24.3	30.4	39.7	31.3	33.2	16.4	51.4	5.1	2.3
	上戸田1地区(125)	58.4	37.6	45.6	53.6	32.8	32.8	34.4	41.6	28.0	33.6	16.0	51.2	5.6	0.8
	上戸田2地区(171)	60.8	31.0	41.5	47.4	33.9	31.6	32.2	44.4	36.8	32.7	15.2	50.9	3.5	1.8
	新曽地区(251)	53.4	31.5	43.0	53.0	29.5	24.3	36.3	41.8	33.1	38.2	15.9	54.6	4.4	1.2
	笹目地区(156)	58.3	37.8	41.0	51.9	28.8	26.3	36.5	43.6	30.1	32.7	12.8	50.6	3.8	1.3
	美女木地区(106)	56.6	26.4	41.5	53.8	34.0	27.4	38.7	40.6	33.0	43.4	17.9	61.3	7.5	0.9

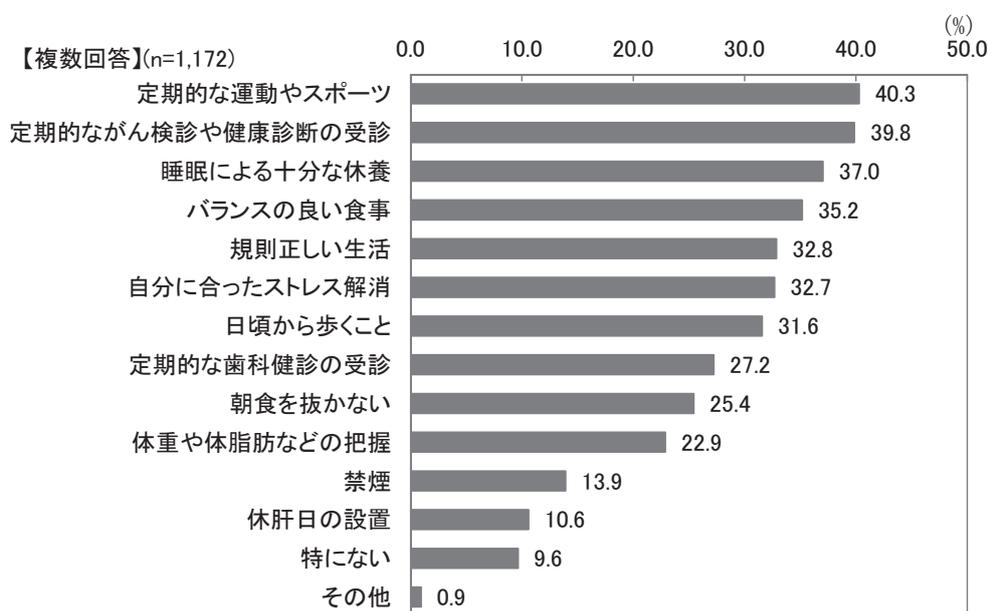
(2) 健康のために今後取り組みたいこと

問 21 あなたは、健康のために、今後取り組みたいと思っていることはありますか。あ
てはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

・健康のために今後取り組みたいことについて、「定期的な運動やスポーツ」が40.3%と最も高く、次いで「定期的ながん検診や健康診断の受診」(39.8%)、「睡眠による十分な休養」(37.0%)となっています。

図表 34 健康のために今後取り組みたいこと(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「休肝日の設置」、「禁煙」及び「特にない」が高くなっています。女性は男性に比べ、それ以外の全ての項目で高くなっており、特に、「規則正しい生活」は9.1ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「定期的ながん検診や健康診断の受診」や「日頃から歩くこと」で年齢が上がるにつれ、各項目の割合が高くなる傾向が見られます。また、他の年齢と比べて10歳代から40歳代は、「定期的な運動やスポーツ」が高く、70歳以上は、「バランスの良い食事」、「朝食を抜かない」及び「禁煙」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、他の地区に比べ、上戸田1地区は、「体重や体脂肪などの把握」が低く、「定期的な歯科健診の受診」及び「禁煙」が高くなっています。また、笹目地区では、「定期的ながん検診や健康診断の受診」、「日頃から歩くこと」及び「規則正しい生活」が高く、「定期的な運動やスポーツ」及び「自分に合ったストレス解消」が低くなっています。

図表 35 健康のために今後取り組みたいこと(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		定期的ながん検診や健康診断の受診	定期的な歯科健診の受診	バランスの良い食事	朝食を抜かない	定期的な運動やスポーツ	日頃から歩くこと	体重や体脂肪などの把握	睡眠による十分な休養	自分に合ったストレス解消	規則正しい生活	休肝日の設置	禁煙	特にない	その他
	全体(1,172)	39.8	27.2	35.2	25.4	40.3	31.6	22.9	37.0	32.7	32.8	10.6	13.9	9.6	0.9
性別	男性(507)	35.3	23.1	31.0	24.5	37.3	27.0	21.1	33.9	28.8	27.8	15.8	18.5	13.0	1.8
	女性(659)	43.2	30.5	38.5	26.1	42.6	35.1	24.3	39.5	35.8	36.9	6.7	10.5	7.0	0.3
年齢別	16～19歳(32)	12.5	15.6	28.1	21.9	53.1	28.1	15.6	40.6	40.6	46.9	0.0	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(109)	31.2	18.3	35.8	22.9	49.5	22.0	21.1	41.3	31.2	40.4	11.9	10.1	9.2	1.8
	30～39歳(182)	43.4	30.2	35.2	19.8	48.9	27.5	19.2	38.5	31.3	33.0	11.5	12.1	13.2	0.0
	40～49歳(233)	40.3	25.3	32.6	14.2	49.4	27.9	23.2	32.2	31.3	24.5	11.6	8.2	9.4	0.0
	50～59歳(215)	28.4	25.6	34.0	15.8	38.1	24.7	21.9	34.4	35.3	26.0	15.3	14.4	12.1	2.3
	60～69歳(169)	47.3	27.2	33.1	30.2	34.9	41.4	29.0	34.3	33.1	37.9	8.9	16.6	7.1	0.6
	70歳以上(226)	49.1	34.1	41.6	48.7	23.9	42.5	23.5	42.5	31.9	38.5	6.6	23.0	7.1	1.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	37.5	29.2	33.3	32.6	39.6	34.7	23.6	38.9	28.5	30.6	10.4	14.6	11.1	1.4
	下戸田2地区(214)	41.1	26.6	32.2	21.0	41.6	30.4	23.8	38.3	34.6	29.9	8.9	9.8	8.9	0.9
	上戸田1地区(125)	36.0	34.4	32.8	27.2	42.4	28.0	16.8	34.4	34.4	26.4	10.4	20.8	8.0	0.0
	上戸田2地区(171)	40.4	24.6	35.7	26.3	41.5	33.3	22.8	40.4	33.9	33.9	9.9	12.3	9.9	1.8
	新曽地区(251)	34.3	23.5	38.2	23.1	41.0	27.1	21.1	35.5	35.1	34.7	9.6	12.7	10.4	0.4
	笹目地区(156)	48.1	30.1	37.8	28.2	32.1	39.1	26.3	36.5	26.3	37.8	12.8	14.7	10.3	0.6
	美女木地区(106)	46.2	27.4	35.8	23.6	45.3	31.1	26.4	34.0	34.9	35.8	15.1	17.0	8.5	0.9

【定期的ながん検診や健康診断の受診について】

「健康のために留意していること」(問 20) 及び「健康のために今後取り組みたいこと」(問 21) のいずれにおいても高い値を示した「定期的ながん検診や健康診断の受診」について、問 20 及び問 21 に対する回答(選択していれば○、選択していなければ×)に基づき、回答者を4つに分類し、集計しました(図表 36)。

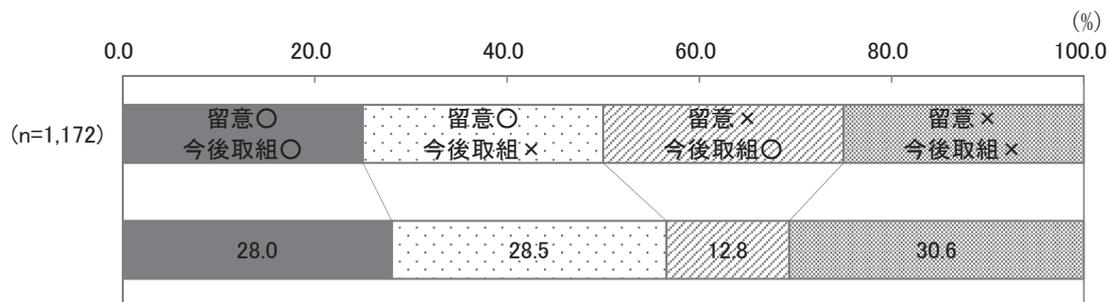
今後、がん検診や健康診断の受診者の増加を目指す場合、「現在留意していないが、今後取り組みたいと思っている(留意×今後取組○)」層に対する対策が効果的であると考えられます。

「留意×今後取組○」は、全体では 12.8%でした。さらに内訳を見ると、性別では、女性が 67.1%と男性の2倍以上という結果でした。年齢別では、30 歳代(24.7%)と 40 歳代(24.0%)の子育て世代の合計が 48.7%と約半数であり、全体の年齢構成(35.4%、図表 2 参照)よりも多くなっています。また、雇用形態別でみると、「フルタイム正社員」(29.5%)と「パート・アルバイト」(25.3%)が多くなっています。

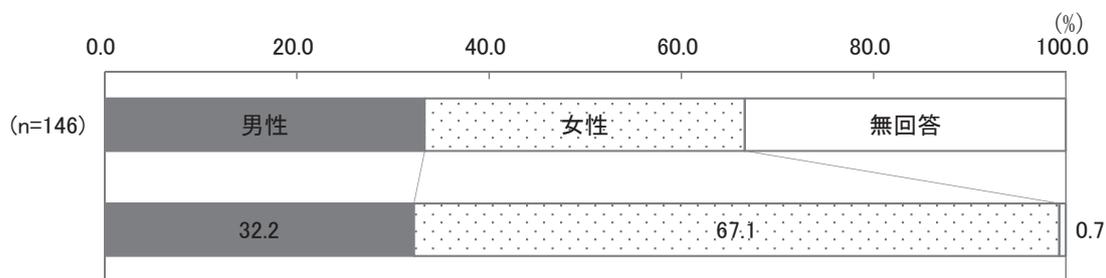
まとめると、定期的ながん検診や健康診断の受診について、「留意×今後取組○」の集団は、女性の割合が高く、年齢では 30 歳代・40 歳代の子育て世代、雇用形態では、パート・アルバイトなどが多い、という結果でした。

なお、この「留意×今後取組○」は、全体(n=1,172)の 12.8%であり、n=146 と集計母数が十分とは言えないため、そこから得た結果については、あくまで傾向を見る程度である点に留意してください。

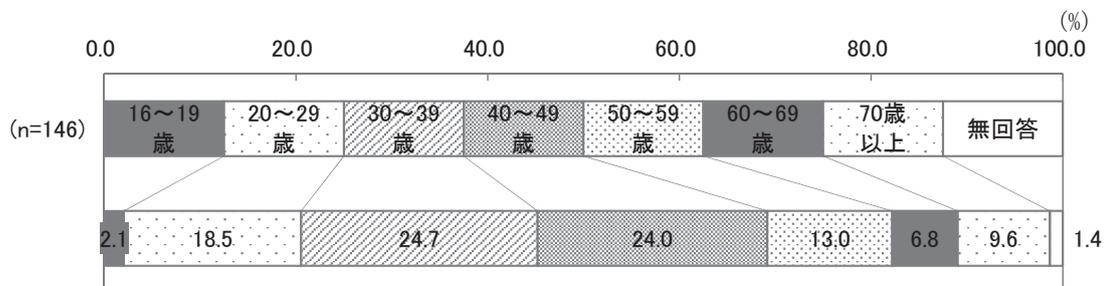
図表 36 定期的ながん検診や健康診断の受診(全体)



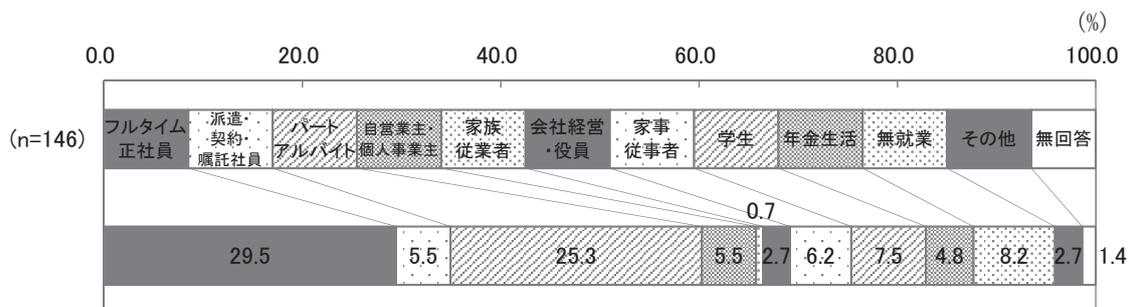
図表 37 留意×今後取組○(性別)



図表 38 留意×今後取組○(年齢別)



図表 39 留意×今後取組○(雇用形態別)



4. 子育てについて

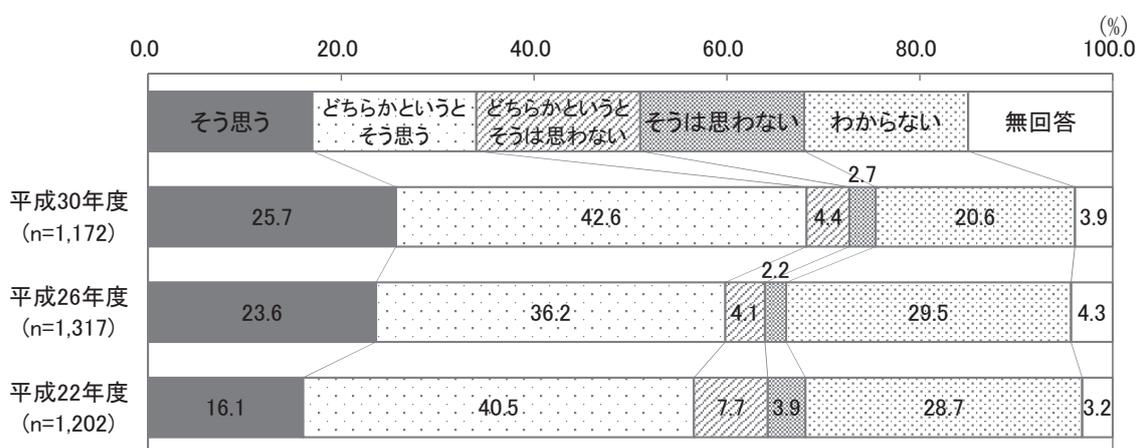
(1) 子育てのしやすさ

問 22 あなたは、戸田市は子育てしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・戸田市の子育てのしやすさについては、「そう思う」(25.7%)と「どちらかというと思う」(42.6%)を合わせた肯定的な意見が68.3%となっています。
- ・これまでの推移を見ると、肯定的な意見は増加傾向にあり、平成22年度以降、肯定的な意見が最も高くなっています。また、平成26年調査から8.5ポイント上昇しています。

図表 40 子育てのしやすさ(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見について、男性が63.5%であるのに対し、女性は72.4%と女性の方が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代～40歳代の子育て世代の「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が70%前後となっています。また、50歳代の「そう思う」が18.6%となっており、最も低くなっています。
- ・居住地区別にみると、すべての地区で、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見が60%を超えています。また、肯定的な意見が最も多いのが新曽地区の74.5%、最も低いのが美女木地区の62.3%となっています。

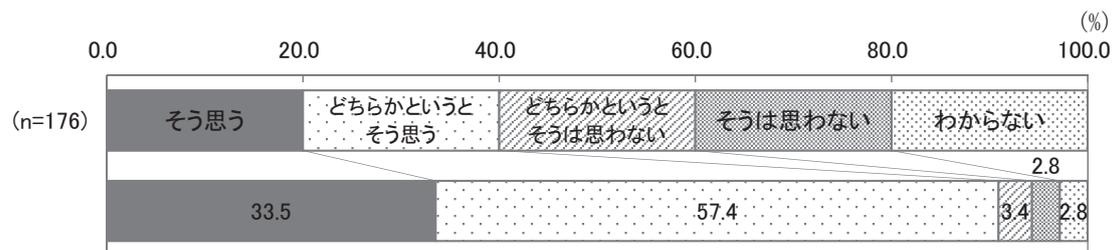
図表 41 子育てのしやすさ(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
全体 (1, 172)		25.7	42.6	4.4	2.7	20.6	3.9
性別	男性 (507)	22.9	40.6	4.3	4.1	24.5	3.6
	女性 (659)	27.9	44.5	4.6	1.5	17.8	3.8
年齢別	16～19 歳 (32)	25.0	43.8	3.1	0.0	28.1	0.0
	20～29 歳 (109)	22.9	46.8	0.0	3.7	25.7	0.9
	30～39 歳 (182)	25.3	51.1	6.0	1.1	15.9	0.5
	40～49 歳 (233)	27.0	49.4	4.7	2.1	15.9	0.9
	50～59 歳 (215)	18.6	50.7	4.7	4.7	20.9	0.5
	60～69 歳 (169)	29.0	38.5	5.3	3.6	18.9	4.7
	70 歳以上 (226)	30.5	23.0	4.4	1.8	26.5	13.7
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	22.2	40.3	4.9	2.8	25.7	4.2
	下戸田 2 地区 (214)	21.5	44.4	4.7	2.3	21.0	6.1
	上戸田 1 地区 (125)	32.8	41.6	2.4	1.6	16.8	4.8
	上戸田 2 地区 (171)	28.1	35.7	4.1	4.1	24.0	4.1
	新曽地区 (251)	23.9	50.6	2.8	4.4	16.3	2.0
	笹目地区 (156)	26.3	46.2	7.1	1.9	16.7	1.9
	美女木地区 (106)	30.2	32.1	5.7	0.0	26.4	5.7

【現役の子育て世代の回答傾向】

末子年齢が中学生以下である現役子育て世代の「子育てしやすさ」に対する意識は、「そう思う」と「どちらかというそう思う」を合わせた 90.9%が子育てしやすいと回答しました。

図表 42 子育てのしやすさ(末子年齢が中学生以下の層)



(2) 子育てに関する満足度

問 23 あなたは、戸田市に住んでいて、子育てに関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※お子さんがいない方は、問 24 へお進みください。

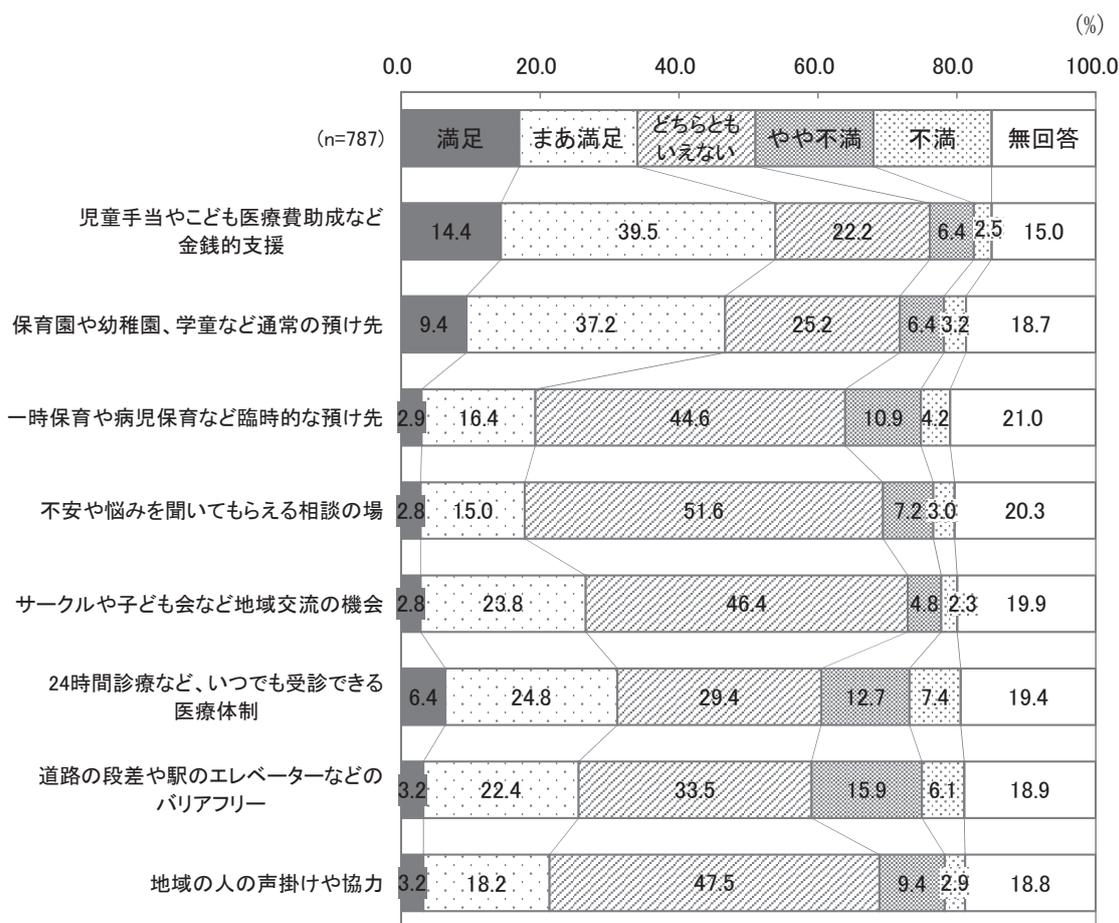
※お子さんが大きい方は、過去の経験からお答えください。

【回答傾向】

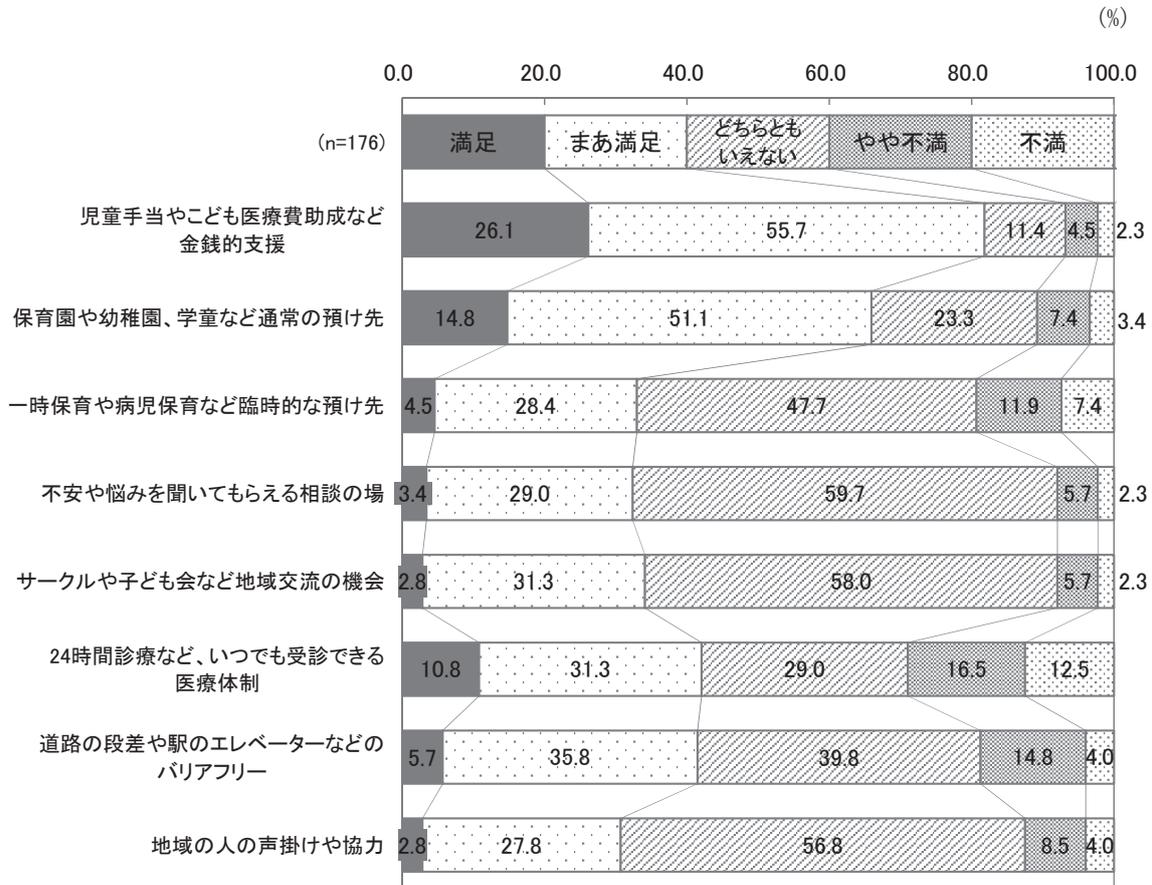
・この設問は、子どもがいる方のみ回答する設問であり、全体 (n=1,172) から、子どもがいない方 (n=385) を除いた n=787 が集計母数となります。

・「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」については、「満足」(14.4%)と「まあ満足」(39.5%)を合わせた肯定的な意見が 50%を超え、「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」についても、肯定的な意見が 40%を超えています。一方で、「24時間診療など、いつでも受診できる医療体制」や「道路の段差や駅のエレベーターなどのバリアフリー」については、「不満」と「やや不満」を合わせた否定的な意見が 20%を超えています。

図表 43 子育てに関する満足度(全体)



図表 44 子育てに関する満足度(末子年齢が中学生以下の層)



- ・ 現役の子育て世代である、末子年齢が中学生以下の層については、全体（図表 43）と比べて、無回答者がなく、その分、各項目に分散しています。このことから、全ての項目で全体の割合に比べて、「満足」と「まあ満足」の割合が大きくなり、「不満」と「やや不満」の割合も大きくなる傾向にあります。
- ・ 「満足」と「まあ満足」の合計が、全体（図表 43）と比べて差が最も大きいのは、「児童手当やこども医療費助成など金銭的支援」（+27.9%）で、次いで「保育園や幼稚園、学童など通常の預け先」（+19.3%）でした。一方、「不満」と「やや不満」の合計が全体（図表 43）と比べて差が最も大きいのは、「24 時間診療など、いつでも受診できる医療体制」（+8.9%）、次いで「一時保育や病児保育など臨時的な預け先」（+4.2%）でした。

5. 高齢化について

(1) 高齢者にとって、過ごしやすいまちだと思うか

問 24 あなたは、市内に住んでいる高齢者または高齢者のいる世帯にとって、戸田市は過ごしやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

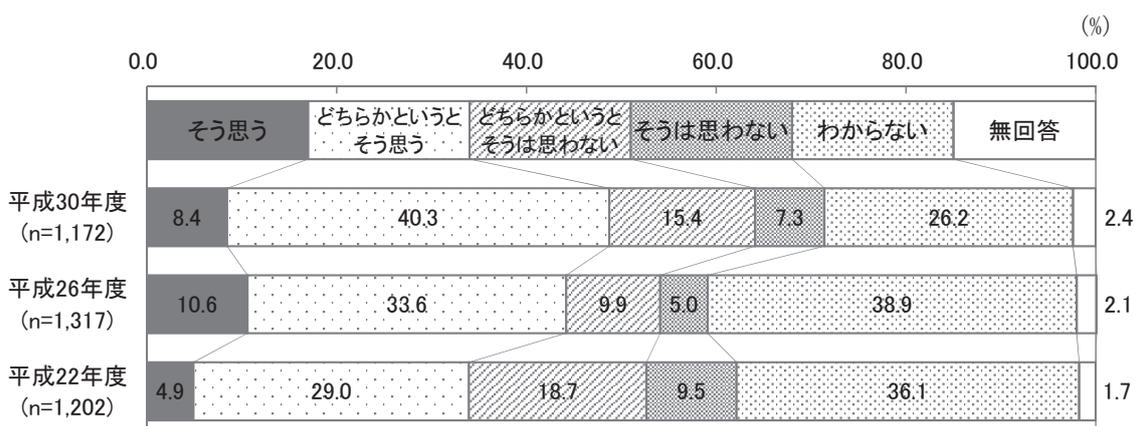
【全体の回答傾向】

・「そう思う」(8.4%)と「どちらかというと思う」(40.3%)を合わせた肯定的な意見が48.7%となっており、平成26年度調査から4.5ポイント増えています。一方、「どちらかというと思わない」(15.4%)と「そうは思わない」(7.3%)を合わせた否定的な意見は22.7%となっており、7.8ポイント増えています。

(参考) 平成22年度調査においては、次の設問としておりました。

「あなたは、市内に住む高齢者または高齢者のいる世帯が、安心して快適な生活を送ることができていると思いますか。1つだけ選んでください。」

図表 45 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、16～19歳及び70歳以上で肯定的な意見が多く、「そう思う」は16～19歳で15.6%、70歳以上では16.4%と高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田1地区、上戸田1地区、美女木地区で「そう思う」が他の地区と比べ高い割合となっています。
- ・介護経験の有無については、回答数は少ないものの、65歳未満介護中の集計を見ると、「そう思う」が16.7%と全体に比べて高い値を示すとともに、「そうは思わない」も同じく16.7%と全体よりも高くなっています。

図表 46 高齢者にとって過ごしやすいまちだと思うか

(全体・性別・年齢別・居住地区別・介護経験)

		そう思う	そう思う どちらかという と	どちらかという と そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体 (1, 172)	8.4	40.3	15.4	7.3	26.2	2.4
性別	男性 (507)	8.3	39.8	17.6	9.1	22.9	2.4
	女性 (659)	8.5	40.8	13.8	6.1	28.8	2.0
年齢別	16～19 歳 (32)	15.6	43.8	9.4	6.3	25.0	0.0
	20～29 歳 (109)	6.4	48.6	6.4	3.7	34.9	0.0
	30～39 歳 (182)	4.4	40.7	17.6	6.6	30.2	0.5
	40～49 歳 (233)	5.6	41.6	15.9	6.4	29.6	0.9
	50～59 歳 (215)	5.6	36.3	20.0	8.8	27.9	1.4
	60～69 歳 (169)	10.1	36.7	17.8	10.7	21.9	3.0
	70 歳以上 (226)	16.4	40.7	12.4	7.1	16.8	6.6
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	11.1	38.9	13.9	6.3	27.1	2.8
	下戸田 2 地区 (214)	5.6	44.9	14.5	6.5	27.1	1.4
	上戸田 1 地区 (125)	11.2	40.8	20.0	4.0	20.8	3.2
	上戸田 2 地区 (171)	8.8	37.4	11.1	9.9	29.8	2.9
	新曽地区 (251)	6.8	35.5	17.9	9.2	29.5	1.2
	笹目地区 (156)	8.3	47.4	13.5	7.7	20.5	2.6
	美女木地区 (106)	10.4	39.6	16.0	5.7	24.5	3.8
介護経験	65 歳以上介護中 (78)	9.0	46.2	20.5	9.0	15.4	0.0
	65 歳未満介護中 (6)	16.7	0.0	33.3	16.7	33.3	0.0
	過去介護経験あり (223)	9.4	40.8	16.6	10.8	21.1	1.3
	介護をしたことがない (840)	8.1	40.1	14.3	6.2	28.8	2.5

(2) 高齢者に関することにどの程度満足しているか

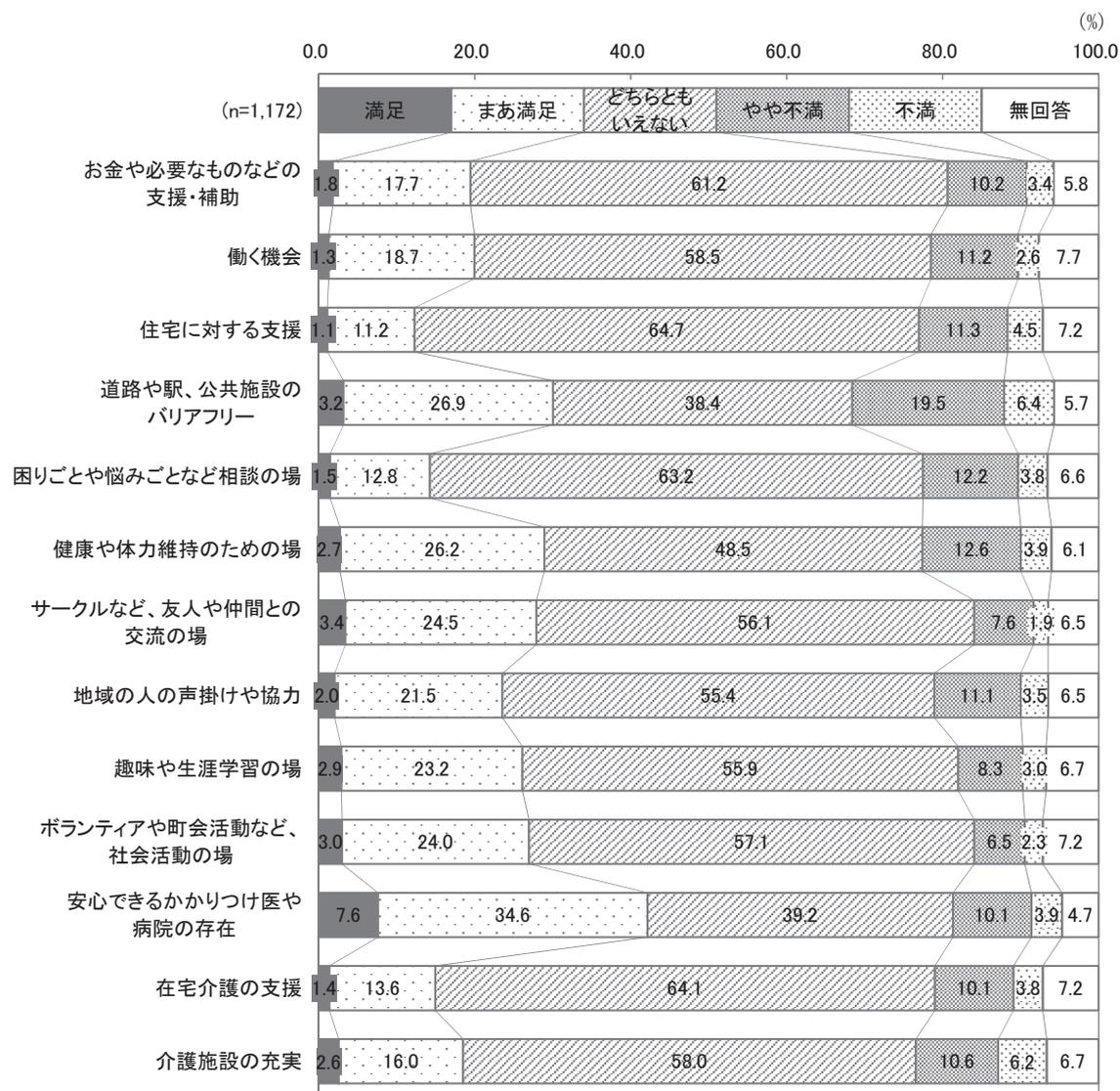
問 25 あなたは、戸田市に住んでいて、高齢者に関する以下のことに、どの程度満足していますか。(項目ごとに○は1つ)

※あなたが高齢者でない場合は、身近な方をイメージしてお答えください。

【全体の回答傾向】

- ・どの項目も、「どちらともいえない」が最も多い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」を見ると、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」が合計で42.2%と他の項目に比べて高い割合でした。また、「道路や駅、公共施設のバリアフリー」については、「満足」及び「まあ満足」が合計で30.1%と2番目に高い満足度を示す一方で、「やや不満」及び「不満」の合計も25.9%と突出して高いことが特徴でした。

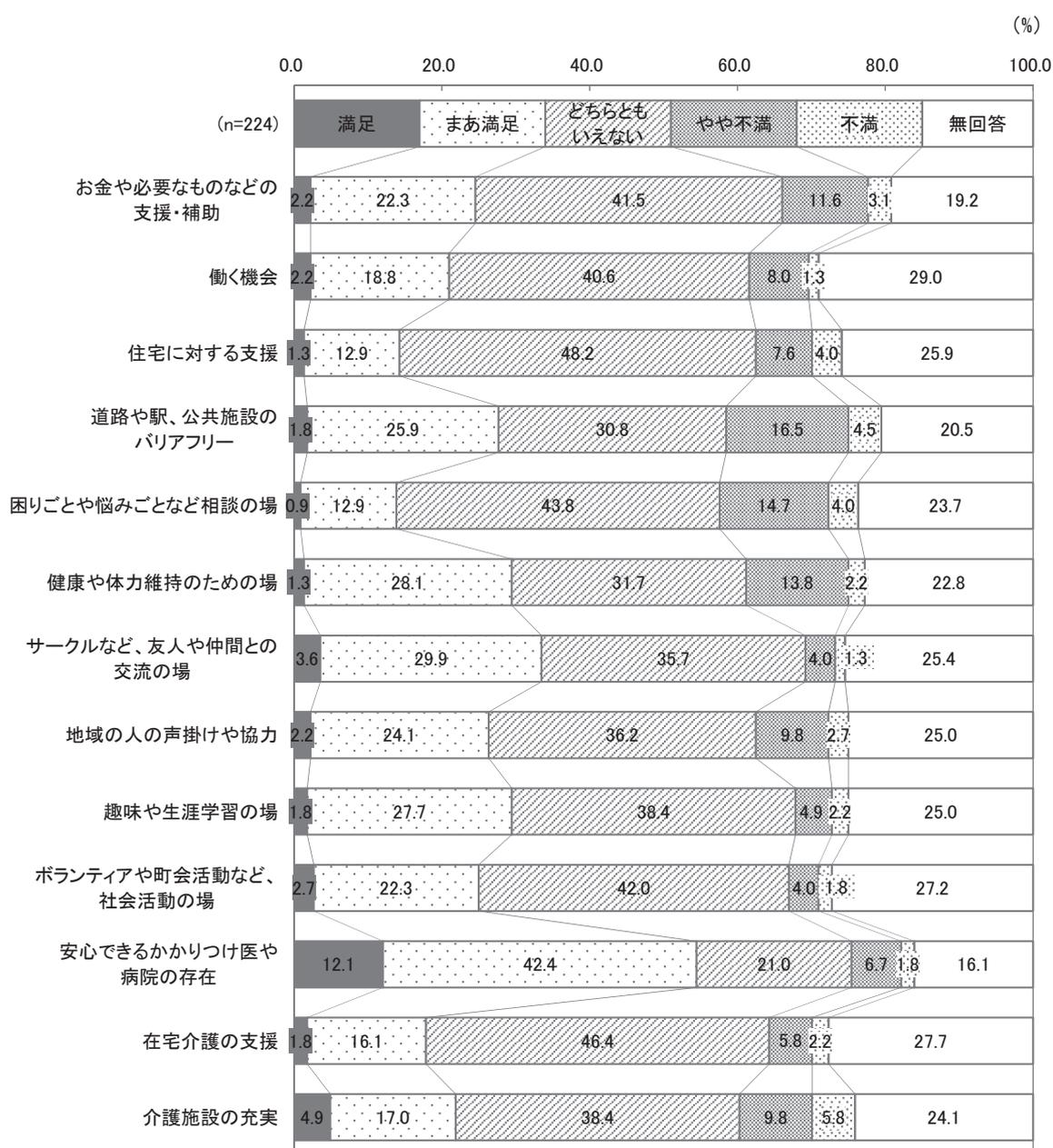
図表 47 高齢者に関することの満足度(全体)



【70 歳以上の満足度】

- ・70 歳以上では総じて満足度が高い結果でした。
- ・「満足」及び「まあ満足」でみると、最も顕著なのは、「安心できるかかりつけ医や病院の存在」であり、合計が 54.5%と突出して高くなっています。また、「お金や必要なものなどの支援・補助」や「サークルなど、友人や仲間との交流の場」が全体（図表 47）と比べて高くなっています。一方で、「道路や駅、公共施設のバリアフリー」は、全体よりも低い値となっていました。

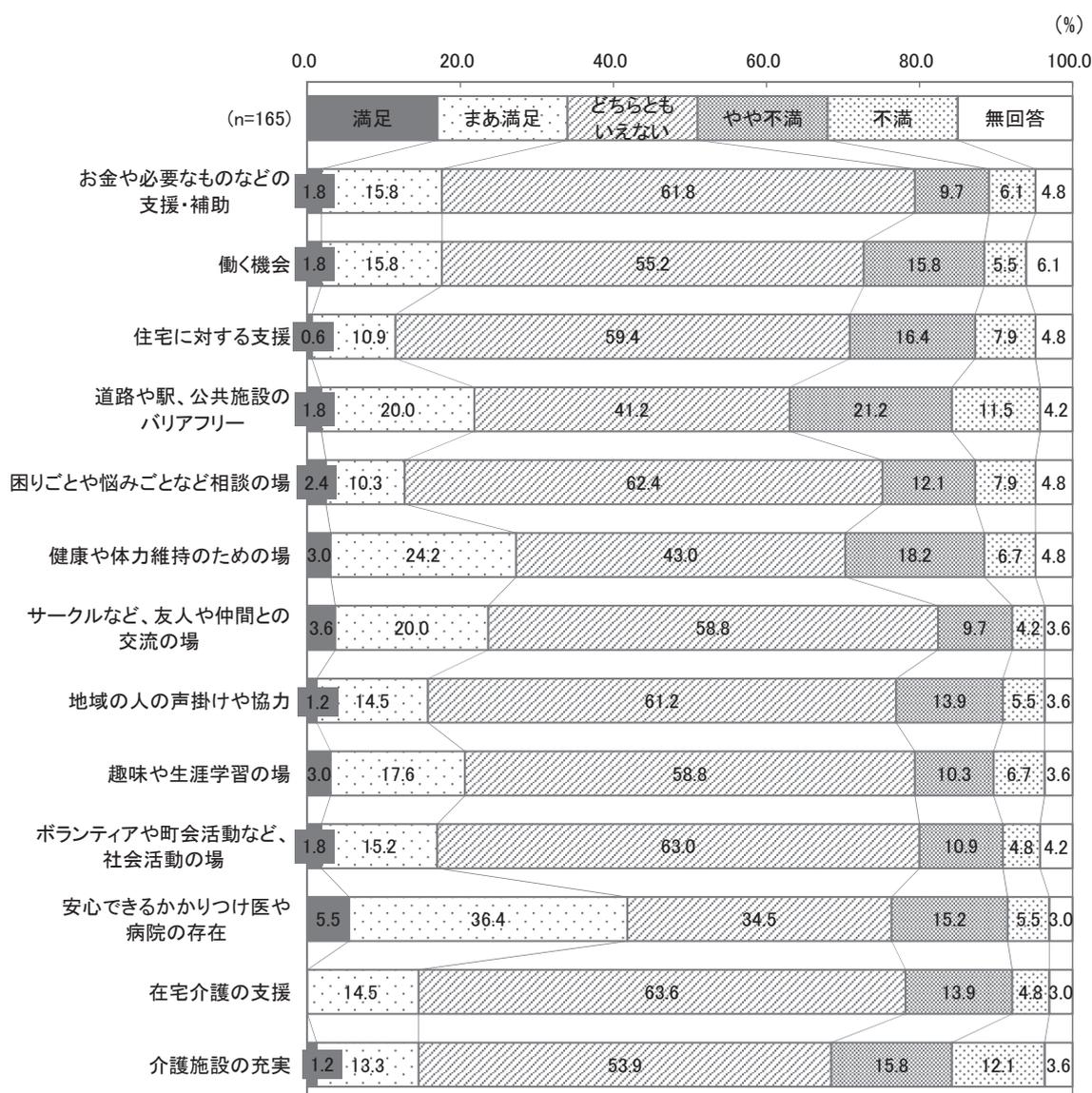
図表 48 高齢者に関することの満足度(70 歳以上の満足度)



【60～69歳の満足度】

・60歳代（図表49）を見ると、全体（図表47）や70歳代（図表48）と比べて、「やや不満」及び「不満」の割合が高く、無回答が少なくなっています。一方で、「満足」及び「まあ満足」の合計については、すべての項目で全体（図表47）と比べて低くなっています。

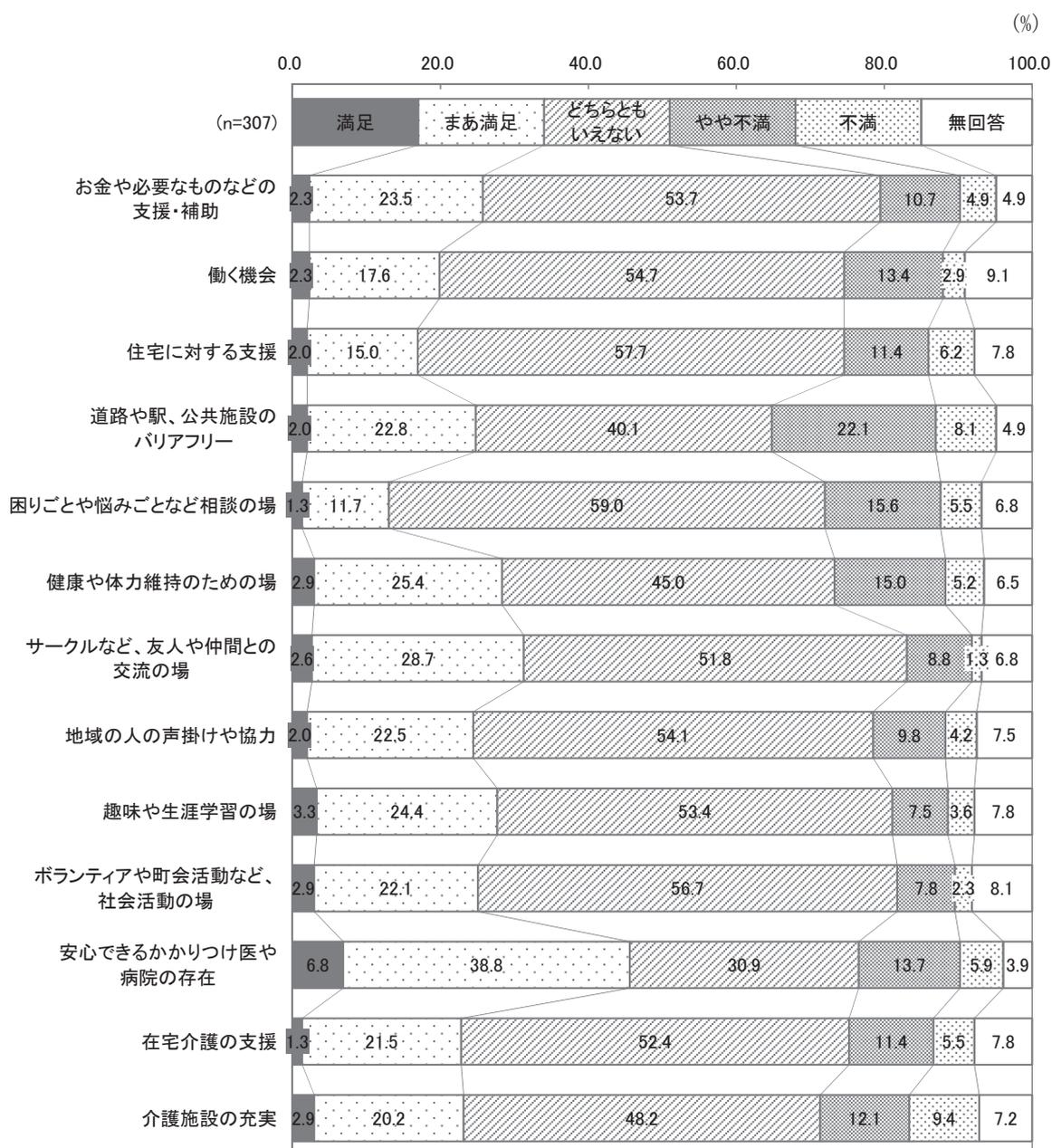
図表 49 高齢者に関することの満足度(60～69歳)



【介護経験者の満足度】

・介護経験者（図表 50）については、「お金や必要なものなどの支援・補助」及び「在宅介護の支援」の「満足」及び「まあ満足」が全体（図表 47）と比べて高くなっています。一方で、全体的に「不満」及び「やや不満」が高く、「困りごとや悩みごとなど相談の場」及び「安心できるかかりつけ医や病院の存在」については、全体（図表 47）と比べて、「不満」及び「やや不満」が高い結果でした。

図表 50 高齢者に関することの満足度(介護経験者)



6. 生活環境について

(1) 地域の生活環境

問 26 あなたは、住んでいる地域の生活環境について、どのように感じていますか。(項目ごとに○は1つ)

《本設問の集計方法とグラフの見方》

- ・地域の生活環境について、保健・衛生、安全、利便、快適の4分野23項目とそれらの総合評価からなる計24項目にわたって、「非常に良い」から「非常に悪い」までの5段階で評価を求めました。
- ・評価の結果をわかりやすく示すために、「非常に良い・やや良い・普通・やや悪い・非常に悪い」の回答数に、それぞれ「+2・+1・0・-1・-2」点を与え、その合計を全回答数（「わからない」「無回答」を除く）で除して評価点としました。
- ・したがって本設問の場合、+2に近いほど肯定的な評価、-2に近いほど否定的な評価とみることができます。

【全体の回答傾向】

- ・23項目のうちプラスの評価点となったものは13項目あり、評価点の高い順に「ごみの回収」「日用品・食料品等の買い物の便利さ」「通勤・通学の便利さ」「日当たりや風通しの良さ」となっています。
- ・一方、マイナスの評価点となったものは10項目で、評価点の低い順に「川の水のきれいさ」「騒音・振動(工場・車等)」「周りの道路の安全性」「夜道の明るさ」となっています。

① 保健・衛生

- ・保健・衛生に関する7項目は、プラス評価・マイナス評価が混在しています。「ごみの回収」は評価点が+0.74と23項目の中で最も高くなっており、一方、「ハチ、蚊(か)等の害虫対策」、「ばい煙・排気ガス」や「騒音・振動(工場・車等)」など、害虫対策や環境衛生に関する項目の評価が低くなっています。

② 安全

- ・安全に関しては、7項目中6項目がマイナス評価となっています。特に、「周りの道路の安全性」が-0.22、「夜道の明るさ」が-0.18と、低い評価でした。

③ 利便

- ・利便に関する5項目は、すべてプラス評価になっています。特に「日用品・食料品等の買い物の便利さ」が+0.69、「通勤・通学の便利さ」が+0.54と高い評価点となっています。

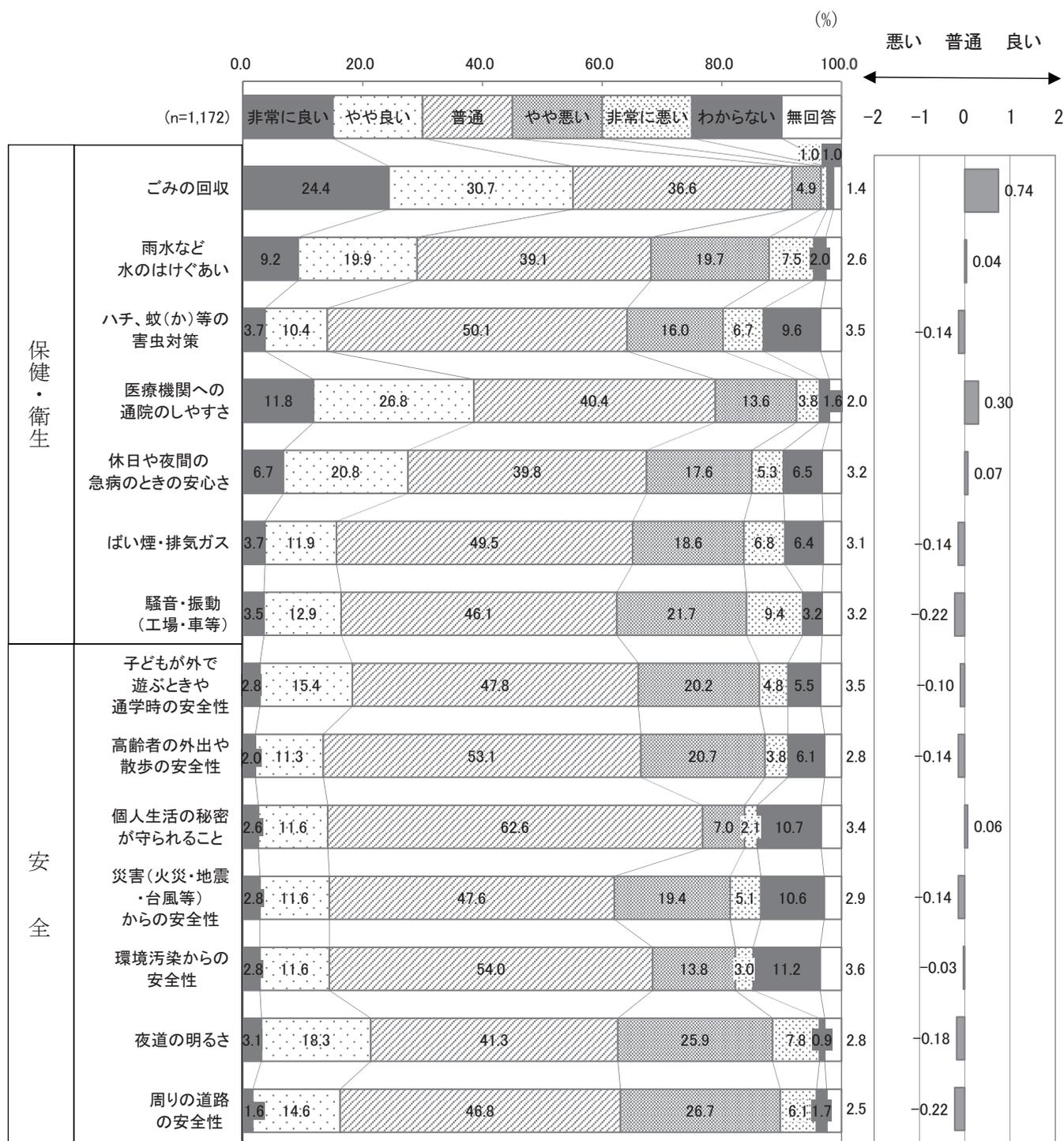
④ 快適

- ・快適に関する4項目は、「川の水のきれいさ」の-0.53を除き、プラス評価となっています。「日当たりや風通しの良さ」は、+0.52と全体でも4番目に高い評価となっています。

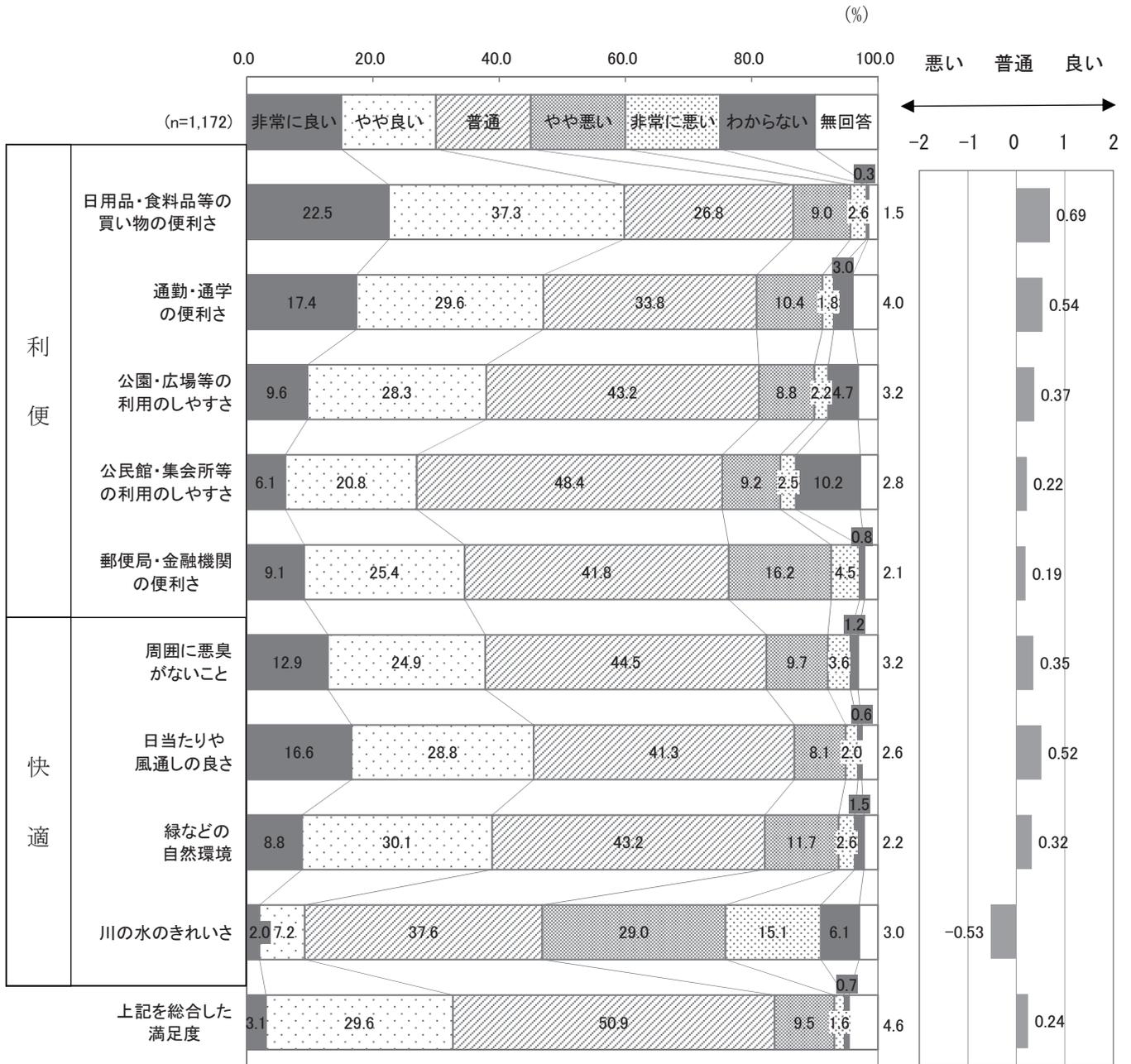
⑤ 総合

- ・①～④を総合した場合の評価点は+0.24で、地域の生活環境については総じてプラス評価となっています。

図表 51-1 地域の生活環境(全体・評価点)



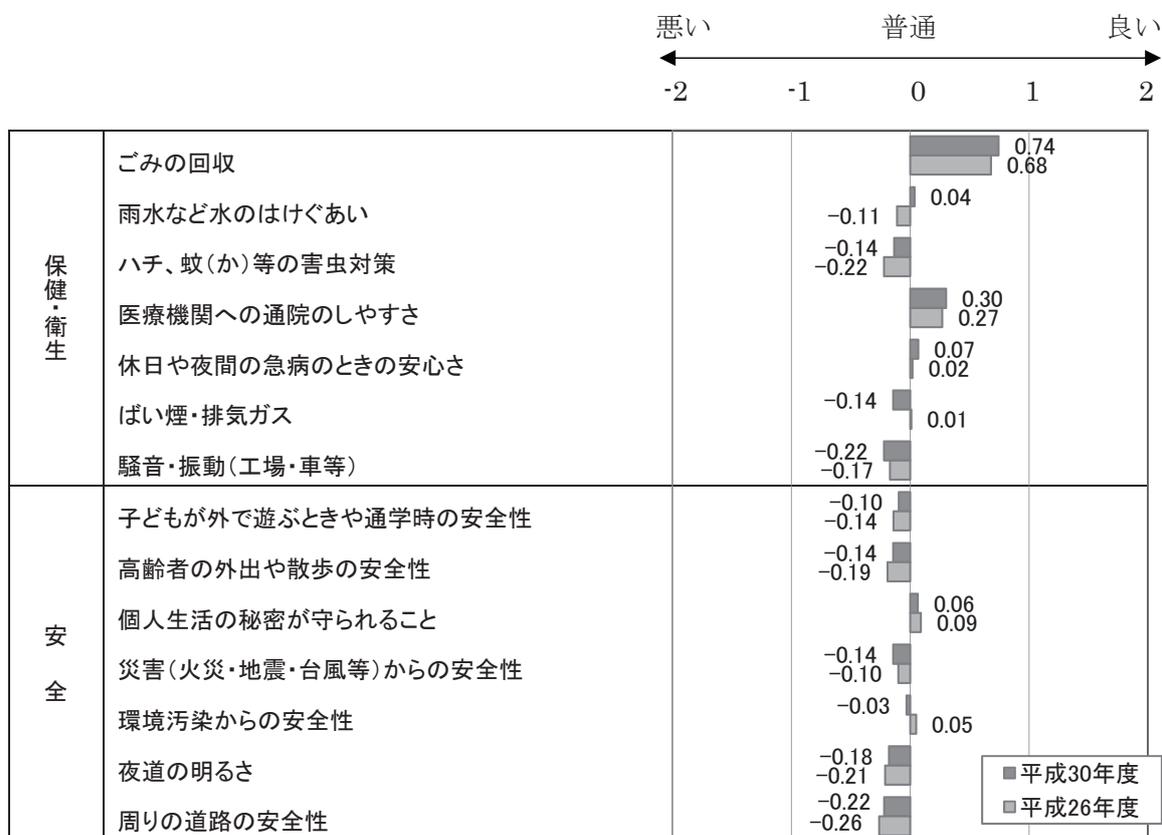
図表 51-2 地域の生活環境(全体・評価点)(つづき)



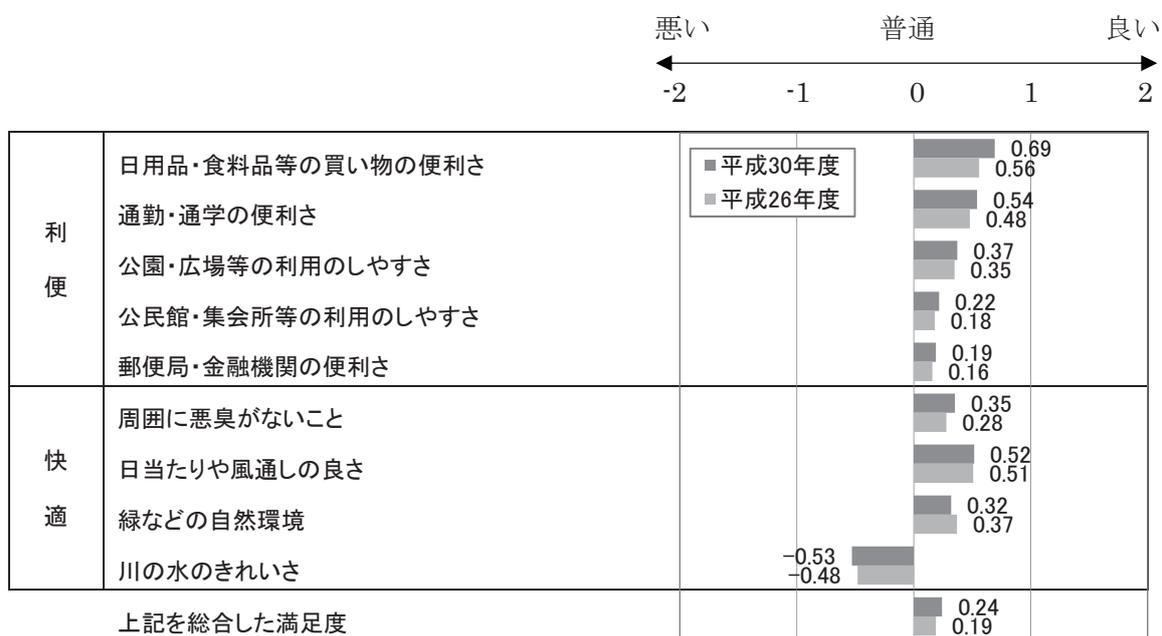
【平成 26 年度調査との比較】

- ・ 前回調査である平成 26 年度調査と比較すると、「総合評価」では、0.05 ポイントのプラスでした。
- ・ 4つの大きな項目で見ると、「利便」と「快適」の分野では、「緑などの自然環境」及び「川の水のきれいさ」（いずれも前回比-0.05）を除き、9項目中7項目で前回比プラスとなりました。
- ・ 一方、「保健・衛生」と「安全」の分野では、特に大きく上下した項目として、前回比プラスとなった項目では、「雨水など水のはけぐあい」（前回比+0.15）が最も高く、次いで、「ハチ、蚊（か）等の害虫対策」（前回比+0.08）でした。また、前回比マイナスとなった項目では、「ばい煙・排気ガス」（前回比-0.15）、「環境汚染からの安全性」（前回比-0.08）、「騒音・振動（工場・車等）」（前回比-0.05）でした。
- ・ 平成 30 年度調査においてマイナス評価で、かつ前回比がマイナスとなった項目は、「ばい煙・排気ガス」（評価点-0.14、前回比-0.15）、「騒音・振動（工場・車等）」（評価点-0.22、前回比-0.05）、「災害（火災・地震・台風等）からの安全性」（評価点-0.14、前回比-0.04）、「環境汚染からの安全性」（評価点-0.03、前回比-0.08）、「川の水のきれいさ」（評価点-0.53、前回比-0.05）の5項目でした。

図表 52-1 地域の生活環境(平成 26 年度調査との比較)



図表 52-2 地域の生活環境(平成 26 年度調査との比較)(つづき)



【属性別の回答傾向】

①平成 30 年度の評価点と、前回比がともにマイナスとなった 5 項目の傾向

- ・「ばい煙・排気ガス」(評価点-0.14、前回比-0.15)

平成 30 年度の評価点を属性別に見ると、年齢は 30 歳代で最も低い一方、16~19 歳及び 70 歳以上ではプラスとなっています。また、地区別で見ると、美女木地区 (-0.48) が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、16~19 歳のみプラスとなっています。また、地区別では、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、笹目地区、新曽地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「騒音・振動(工場・車等)」(評価点-0.22、前回比-0.05)

平成 30 年度の評価点を属性別に見ると、年齢は 30 歳代で最も低くなっています。また、地区別で見ると、美女木地区 (-0.63) が突出して低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、60 歳代以上で低い傾向があります。また、地区別では、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きく、次いで、美女木地区、笹目地区が前回比で大きくマイナスとなっています。

- ・「災害(火災・地震・台風等)からの安全性」(評価点-0.14、前回比-0.04)

平成 30 年度の評価点を見ると、年齢別では、30 歳代~60 歳代で低い傾向となっています。また、居住地区別には、新曽地区 (-0.21) が最も低く、次いで下戸田 2 地区 (-0.16) となっています。美女木地区は 0.01 と唯一のプラスでした。

前回比で見ると、年齢では 16~19 歳が -0.38 と突出してマイナスが大きくなっています。地区別にみると、下戸田 1 地区が最もマイナスが大きい結果でした。美女木地区は

0.14 と唯一のプラスでした。

- ・「環境汚染からの安全性」(評価点-0.03、前回比-0.08)

平成 30 年度の評価点で見ると、16~19 歳及び 20 歳代で他の年代より高い値となっています。居住地区別では、新曽地区と美女木地区 (-0.11) で最も低くなっています。

前回比で見ると、年齢別では、30 歳代以上で前回比マイナスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で前回比+0.01 と唯一プラスで、美女木地区が前回比-0.12 と最もマイナスが大きくなっています。

- ・「川の水のきれいさ」(評価点-0.53、前回比-0.05)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では 16~19 歳が最も低い結果であり、居住地区別では笹目地区 (-0.67) が最も低く、次いで上戸田 2 地区 (-0.63)、新曽地区 (-0.62) と続いています。

前回比で見ると、笹目地区が前回比-0.15 と最もマイナスが大きく、次いで新曽地区が-0.09 と続いています。

②前回比はプラスとなったものの、評価点はマイナスとなった 5 項目の傾向

- ・「ハチ、蚊(か)等の害虫対策」(評価点-0.14、前回比+0.08)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では 30 歳代が最も低くなっています。居住地区別では、新曽地区 (-0.40) が突出して低く、次いで上戸田 2 地区 (-0.21) が低い結果でした。

前回比で見ると、年齢別では 16~19 歳代 (+0.43) で大きくプラスとなっています。一方、30 歳代では-0.03 と唯一のマイナスとなっています。居住地区別では、上戸田 1 地区で+0.47 と突出して高くなっています。一方、上戸田 2 地区は前回比-0.04 と唯一のマイナスとなっています。

- ・「子どもが外で遊ぶ時や通学時の安全性」(評価点-0.10、前回比+0.04)

平成 30 年度の評価点で見ると、30 歳代~60 歳代でマイナスとなっています。居住地区別では、美女木地区 (-0.27) で最も低く、次いで新曽地区 (-0.18)、笹目地区 (-0.15) で低い値となっています。

前回比で見ると、年齢別では、16~19 歳で前回比+0.28 と大きくプラスとなっています。居住地区別では、下戸田 2 地区で前回比+0.12 と最も高く、次いで上戸田 1 地区 (+0.08) でした。居住期間別では、5 年未満で前回比-0.38 と大きくマイナスとなっている一方、5~10 年未満では前回比+0.28 と大きなプラスとなっています。

- ・「高齢者の外出や散歩の安全性」(評価点-0.14、前回比+0.05)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では、16~19 歳で最も高く (+0.37)、30 歳代~60 歳代ではマイナスとなっています。また、居住地区別は、美女木地区 (-0.22) が最も低く、次いで下戸田 1 地区と新曽地区 (-0.17) となっています。

前回比で見ると、年齢別では、前回比-0.08 の 60 歳代を除くと、すべての年代で前回比プラスとなっています。居住地区別では、前回比-0.15 の下戸田 1 地区を除くと、す

すべての地区で前回比プラスとなっています。

・「夜道の明るさ」(評価点-0.18、前回比+0.03)

平成 30 年度の評価点で見ると、性別では女性が-0.25 と男性の-0.08 より大幅に低くなっています。年齢別では 50 歳代が-0.33 と最も低くなっています。また、居住地区別では、下戸田 1 地区 (+0.04) が唯一のプラスとなっています。

前回比で見ると、16~19 歳及び 20 歳代で他の年代に比べ大きくプラスとなっています。居住地区別では、上戸田 2 地区 (-0.10) と笹目地区 (-0.09) のみマイナスとなっています。

・「周りの道路の安全性」(評価点-0.22、前回比+0.04)

平成 30 年度の評価点で見ると、年齢別では、30 歳代~60 歳代で大きくマイナスとなっています。居住地区別では、新曽地区が-0.31 と最も低く、次いで上戸田 2 地区が-0.28、美女木地区が-0.27 でした。

前回比で見ると、16~19 歳 (前回比+0.32) で突出してプラスが大きくなっており、次いで 40 歳代 (前回比+0.15)、20 歳代 (前回比+0.14) となっています。また、地区別で見ると、上戸田 1 地区 (前回比+0.19) や下戸田 2 地区 (前回比+0.15) でプラス幅が大きい一方、上戸田 2 地区 (前回比-0.12) ではマイナス幅が大きく、地区によって差が目立っています。

図表 53-1 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,172)	0.74	0.04	-0.14	0.30	0.07	-0.14	-0.22	-0.10	-0.14	0.06	-0.14	-0.03	-0.18	-0.22
性別	男性(507)	0.75	0.07	-0.09	0.28	0.07	-0.06	-0.13	-0.10	-0.13	0.05	-0.13	0.01	-0.08	-0.17
	女性(659)	0.74	0.01	-0.17	0.32	0.07	-0.21	-0.29	-0.09	-0.15	0.08	-0.15	-0.06	-0.25	-0.26
年齢別	16~19歳(32)	1.00	0.58	0.06	0.78	0.53	0.20	0.00	0.25	0.37	0.47	0.10	0.39	-0.10	0.22
	20~29歳(109)	0.76	0.09	-0.25	0.40	0.18	-0.16	-0.14	0.05	0.14	0.13	0.03	0.19	-0.10	-0.02
	30~39歳(182)	0.69	-0.14	-0.40	0.32	-0.05	-0.30	-0.37	-0.25	-0.23	0.07	-0.18	-0.12	-0.25	-0.36
	40~49歳(233)	0.60	-0.04	-0.12	0.28	0.05	-0.22	-0.22	-0.26	-0.23	0.08	-0.20	-0.05	-0.28	-0.27
	50~59歳(215)	0.61	-0.18	-0.11	0.16	-0.07	-0.22	-0.28	-0.12	-0.25	-0.05	-0.26	-0.12	-0.33	-0.40
	60~69歳(169)	0.62	0.07	-0.07	0.27	0.02	-0.10	-0.25	-0.12	-0.30	0.04	-0.19	-0.11	-0.20	-0.32
	70歳以上(226)	1.12	0.36	0.06	0.35	0.28	0.10	-0.06	0.17	0.07	0.07	-0.01	0.05	0.14	0.06
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.76	0.25	-0.05	0.41	0.08	-0.05	-0.02	0.00	-0.17	0.03	-0.15	0.01	0.04	-0.18
	下戸田2地区(214)	0.83	0.08	0.02	0.44	0.26	-0.14	-0.23	-0.01	-0.12	0.13	-0.16	-0.03	-0.10	-0.13
	上戸田1地区(125)	0.78	0.03	0.06	0.62	0.23	-0.02	-0.14	0.04	-0.04	0.06	-0.15	0.06	-0.17	-0.12
	上戸田2地区(171)	0.72	0.06	-0.21	0.68	0.32	-0.02	-0.06	-0.11	-0.12	0.13	-0.12	0.04	-0.17	-0.28
	新曽地区(251)	0.69	-0.30	-0.40	0.18	-0.08	-0.15	-0.21	-0.18	-0.17	0.05	-0.21	-0.11	-0.30	-0.31
	笹目地区(156)	0.67	0.15	-0.11	0.05	-0.08	-0.24	-0.39	-0.15	-0.15	0.02	-0.13	-0.02	-0.24	-0.22
	美女木地区(106)	0.80	0.28	-0.06	-0.42	-0.33	-0.48	-0.63	-0.27	-0.22	-0.01	0.01	-0.11	-0.27	-0.27
居住期間別	5年未満(22)	0.57	0.05	-0.24	0.18	-0.14	-0.15	-0.45	-0.43	-0.05	-0.20	-0.26	-0.16	-0.29	-0.29
	5~10年未満(81)	0.73	-0.30	-0.28	0.41	0.08	-0.19	-0.22	-0.09	-0.14	0.12	-0.14	-0.01	-0.14	-0.35
	10~20年未満(189)	0.68	-0.04	-0.21	0.43	0.26	-0.14	-0.16	-0.10	-0.05	0.19	-0.18	-0.01	-0.22	-0.15
	20年以上(872)	0.76	0.08	-0.10	0.27	0.03	-0.14	-0.23	-0.09	-0.16	0.04	-0.13	-0.03	-0.17	-0.22

図表 53-2 地域の生活環境【評価点】(全体・性別・年齢別・居住地区別・居住期間別)(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
	全体(1,172)	0.69	0.54	0.37	0.22	0.19	0.35	0.52	0.32	-0.53	0.24
性別	男性(507)	0.60	0.50	0.32	0.21	0.17	0.36	0.49	0.29	-0.51	0.24
	女性(659)	0.77	0.58	0.41	0.23	0.20	0.35	0.54	0.35	-0.54	0.25
年齢別	16~19歳(32)	1.16	1.09	0.75	0.69	0.69	0.58	0.66	0.50	-0.74	0.55
	20~29歳(109)	0.91	0.66	0.50	0.23	0.31	0.53	0.69	0.43	-0.54	0.40
	30~39歳(182)	0.87	0.54	0.50	0.16	0.11	0.22	0.51	0.37	-0.65	0.26
	40~49歳(233)	0.76	0.53	0.35	0.30	0.05	0.40	0.54	0.40	-0.57	0.31
	50~59歳(215)	0.57	0.53	0.34	0.09	0.02	0.21	0.48	0.29	-0.49	0.20
	60~69歳(169)	0.49	0.45	0.19	0.07	0.25	0.34	0.45	0.17	-0.55	0.12
	70歳以上(226)	0.59	0.49	0.32	0.34	0.41	0.46	0.50	0.26	-0.34	0.17
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.92	0.57	0.37	0.29	0.43	0.42	0.50	0.21	-0.53	0.25
	下戸田2地区(214)	0.83	0.67	0.50	0.27	0.30	0.49	0.54	0.35	-0.45	0.37
	上戸田1地区(125)	0.78	0.71	0.47	0.22	0.35	0.45	0.39	0.34	-0.35	0.32
	上戸田2地区(171)	0.92	0.88	0.43	0.32	0.32	0.40	0.48	0.38	-0.63	0.33
	新曽地区(251)	0.78	0.57	0.25	0.10	0.02	0.23	0.64	0.27	-0.62	0.17
	笹目地区(156)	0.07	0.18	0.26	0.16	-0.10	0.23	0.41	0.37	-0.67	0.10
	美女木地区(106)	0.34	-0.05	0.37	0.19	0.05	0.26	0.56	0.35	-0.30	0.13
居住期間別	5年未満(22)	0.27	0.19	0.29	0.05	-0.29	0.36	0.59	0.45	-0.40	0.05
	5~10年未満(81)	0.96	0.65	0.63	0.18	0.19	0.34	0.67	0.47	-0.33	0.51
	10~20年未満(189)	0.93	0.72	0.52	0.40	0.27	0.44	0.63	0.42	-0.62	0.35
	20年以上(872)	0.63	0.50	0.32	0.18	0.18	0.33	0.48	0.28	-0.53	0.20

図表 54-1 地域の生活環境【前回比】(平成30年度調査の値と平成26年度調査の値の差)

		保健・衛生							安全						
		ごみの回収	雨水など水のはけぐあい	ハチ、蚊(か)等の害虫対策	医療機関への通院のしやすさ	休日や夜間の急病のときの安心さ	ばい煙・排気ガス	騒音・振動(工場・車等)	子どもが外で遊ぶときや通学時の安全性	高齢者の外出や散歩の安全性	個人生活の秘密が守られること	災害(火災・地震・台風等)からの安全性	環境汚染からの安全性	夜道の明るさ	周りの道路の安全性
	全体(1,172)	0.06	0.15	0.08	0.03	0.05	-0.15	-0.05	0.04	0.05	-0.03	-0.04	-0.08	0.03	0.04
性別	男性(507)	0.10	0.16	0.10	0.06	0.05	-0.06	0.02	0.03	0.04	-0.06	-0.02	-0.08	0.06	0.05
	女性(659)	0.04	0.14	0.07	0.02	0.05	-0.23	-0.11	0.06	0.05	0.01	-0.05	-0.07	0.02	0.03
年齢別	16~19歳(32)	0.54	0.39	0.43	0.09	0.24	0.37	0.40	0.28	0.51	-0.05	-0.38	0.06	0.27	0.32
	20~29歳(109)	0.14	0.18	0.05	0.03	0.07	-0.25	0.05	0.05	0.17	-0.09	-0.03	0.07	0.19	0.14
	30~39歳(182)	0.06	0.01	-0.03	-0.01	-0.13	-0.19	-0.09	0.05	0.02	-0.03	-0.08	-0.18	-0.04	-0.01
	40~49歳(233)	0.02	0.25	0.15	0.09	0.09	-0.10	0.07	-0.01	0.05	-0.02	-0.04	-0.04	0.02	0.15
	50~59歳(215)	0.04	-0.01	0.18	0.06	0.09	-0.19	-0.07	0.11	0.04	0.01	-0.08	-0.11	0.00	-0.11
	60~69歳(169)	-0.16	0.13	0.01	-0.02	0.03	-0.25	-0.23	-0.11	-0.08	0.00	0.02	-0.12	-0.02	-0.13
	70歳以上(226)	0.19	0.21	0.01	0.06	0.15	-0.12	-0.19	0.07	0.05	-0.05	0.03	-0.06	0.09	0.10
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.03	0.13	0.00	0.03	0.00	-0.29	-0.21	-0.07	-0.15	-0.14	-0.20	-0.10	0.13	-0.03
	下戸田2地区(214)	0.18	0.11	0.05	0.06	0.27	-0.09	-0.07	0.12	0.08	0.06	-0.05	-0.03	0.06	0.15
	上戸田1地区(125)	0.15	0.38	0.47	0.18	0.21	0.04	0.07	0.08	0.11	-0.01	-0.06	0.01	0.09	0.19
	上戸田2地区(171)	0.06	0.03	-0.04	0.04	0.11	-0.05	0.03	0.03	0.08	-0.01	0.00	-0.07	-0.10	-0.12
	新曽地区(251)	0.04	0.24	0.11	0.02	-0.06	-0.21	0.00	0.06	0.06	0.00	-0.02	-0.11	0.10	0.07
	笹目地区(156)	-0.09	0.02	0.01	0.01	-0.11	-0.26	-0.10	0.06	0.03	-0.09	-0.06	-0.10	-0.09	-0.01
	美女木地区(106)	0.09	0.16	0.05	-0.02	-0.10	-0.20	-0.17	-0.05	0.12	-0.04	0.14	-0.12	0.04	-0.04
居住期間別	5年未満(22)	-0.02	0.19	0.14	-0.12	-0.23	-0.19	-0.23	-0.38	-0.01	-0.34	-0.13	-0.20	-0.03	-0.02
	5~10年未満(81)	0.04	-0.23	0.06	0.11	0.00	-0.11	0.06	0.28	0.10	0.04	-0.01	-0.03	0.10	0.01
	10~20年未満(189)	-0.02	0.22	0.02	0.09	0.14	-0.15	0.07	0.05	0.17	0.03	-0.10	-0.11	0.08	0.15
	20年以上(872)	0.07	0.11	0.03	0.05	0.08	-0.17	-0.15	0.01	0.04	-0.01	-0.03	-0.06	-0.02	-0.02

図表 54-2 地域の生活環境【前回比】(平成30年度調査の値と平成26年度調査の値の差)
(つづき)

		利便					快適				総合
		日用品・食料品等の買い物の利便さ	通勤・通学の利便さ	公園・広場等の利用のしやすさ	公民館・集会所等の利用のしやすさ	郵便局・金融機関の利便さ	周囲に悪臭がないこと	日当たりや風通しの良さ	緑などの自然環境	川の水のきれいさ	上記を総合した満足度
全体(1,172)		0.13	0.06	0.02	0.04	0.03	0.07	0.01	-0.05	-0.05	0.05
性別	男性(507)	0.06	0.06	-0.05	0.03	0.08	0.10	0.03	-0.05	-0.01	0.07
	女性(659)	0.19	0.07	0.08	0.05	-0.01	0.06	-0.01	-0.04	-0.07	0.04
年齢別	16~19歳(32)	0.36	0.25	-0.06	0.01	0.16	0.08	-0.08	-0.02	-0.02	0.07
	20~29歳(109)	0.02	0.09	0.09	-0.05	0.13	-0.01	0.08	-0.05	-0.10	0.0
	30~39歳(182)	0.31	0.02	0.01	-0.02	0.08	-0.07	-0.11	-0.16	-0.23	0.05
	40~49歳(233)	0.18	-0.02	-0.03	0.13	0.08	0.09	-0.04	-0.04	-0.09	0.09
	50~59歳(215)	0.19	0.13	0.07	0.04	-0.06	0.11	0.06	0.05	0.12	0.14
	60~69歳(169)	-	0.04	0.02	-0.05	-0.07	0.09	0.04	-0.06	-0.02	-0.03
	70歳以上(226)	0.07	0.17	0.09	0.10	-0.01	0.25	0.13	0.0	0.04	0.06
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.16	0.01	-0.01	0.07	0.16	-0.01	0.05	0.08	0.08	0.01
	下戸田2地区(214)	0.27	0.20	0.25	0.09	0.21	0.20	-0.03	-0.08	-0.04	0.18
	上戸田1地区(125)	0.19	0.18	-0.08	-0.03	0.14	0.14	-0.08	-0.19	-0.07	0.07
	上戸田2地区(171)	0.41	0.10	0.03	0.20	-0.04	0.0	-0.05	-0.01	0.02	0.07
	新曽地区(251)	0.15	0.06	0.02	-0.03	0.03	0.02	0.09	-0.08	-0.09	0.01
	笹目地区(156)	-0.25	0.05	-0.15	-0.09	-0.16	0.10	0.01	-0.04	-0.15	-0.03
	美女木地区(106)	-0.17	-0.24	-0.01	0.02	-0.22	0.09	0.03	-0.02	-0.05	0.02
居住期間別	5年未満(22)	-0.16	-0.24	-0.12	-0.06	-0.19	0.07	0.02	-0.14	0.01	-0.17
	5~10年未満(81)	0.35	0.03	0.21	-0.03	0.05	0.02	0.05	0.02	0.09	0.22
	10~20年未満(189)	0.28	0.18	0.10	0.17	0.22	0.12	0.04	-0.01	-0.06	0.11
	20年以上(872)	0.10	0.07	0.04	0.02	-0.10	0.09	0.05	0.01	-0.06	0.06

(2) 公共施設の利用状況

問 27 あなたは、以下の施設を利用していますか。利用していない場合は、理由を教えてください。(施設ごとに○は1つ)

市内の公共施設について、平成 30 年度調査では「東部連絡所」、「上戸田地域交流センター(あいパル)」、「新層福祉センター」、「東部福祉センター」、「西部福祉センター」及び「こどもの国」を加え、計 30 施設について、それぞれの利用状況を尋ねました。

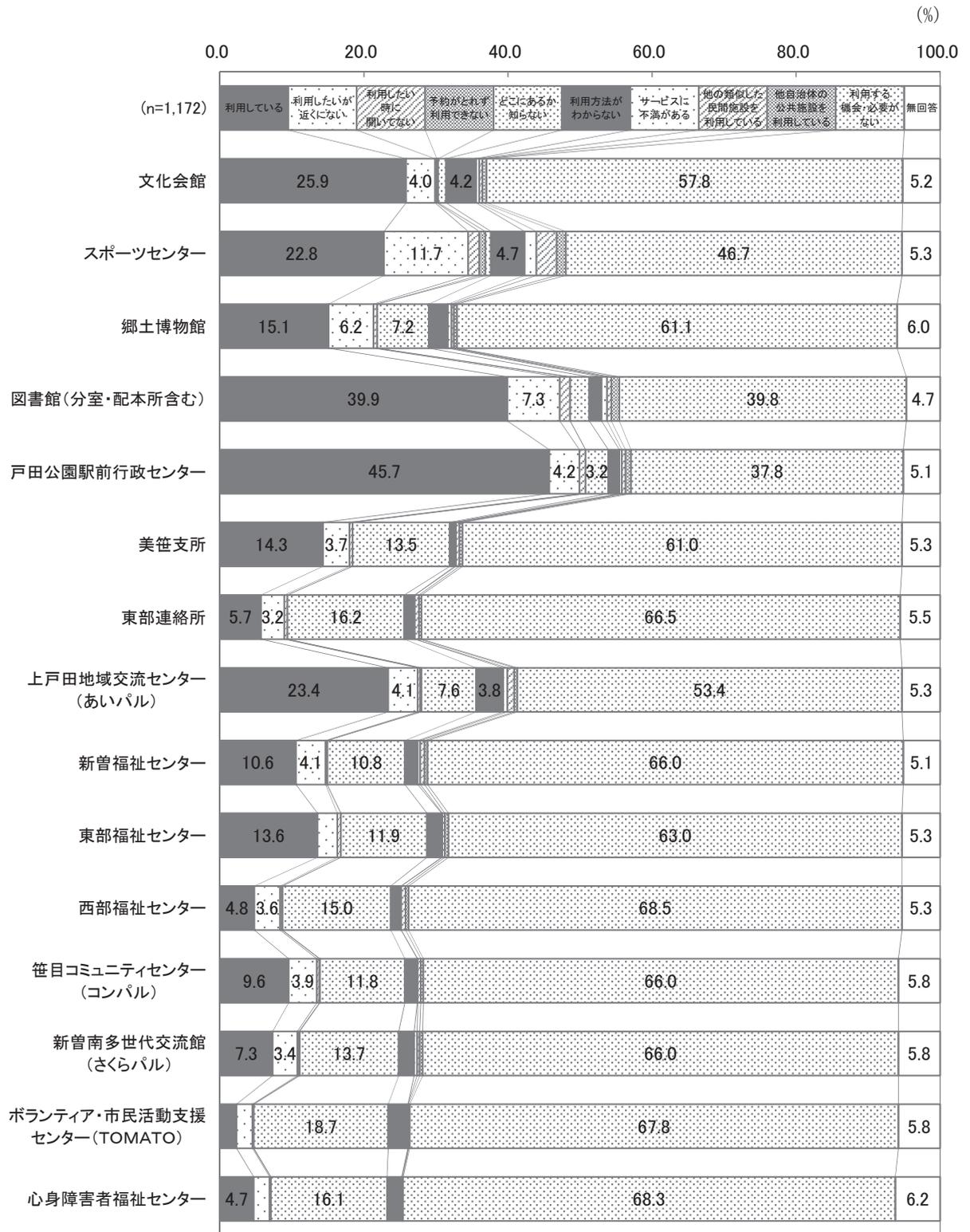
【全体の回答傾向】

- ・「利用している」の割合が高い施設は、順に「戸田公園駅前行政センター」(45.7%)、「図書館(分室・配本所含む)」(39.9%)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(38.9%)となっています。
- ・一方、「利用している」の割合が低い施設は、順に「戸田市ボランティア・市民活動支援センター(TOMATO)」(2.3%)、「教育センター」(2.8%)、「サッカー場」(3.7%)、「テニスコート」(3.7%)となっています。

【平成 26 年度調査との比較】

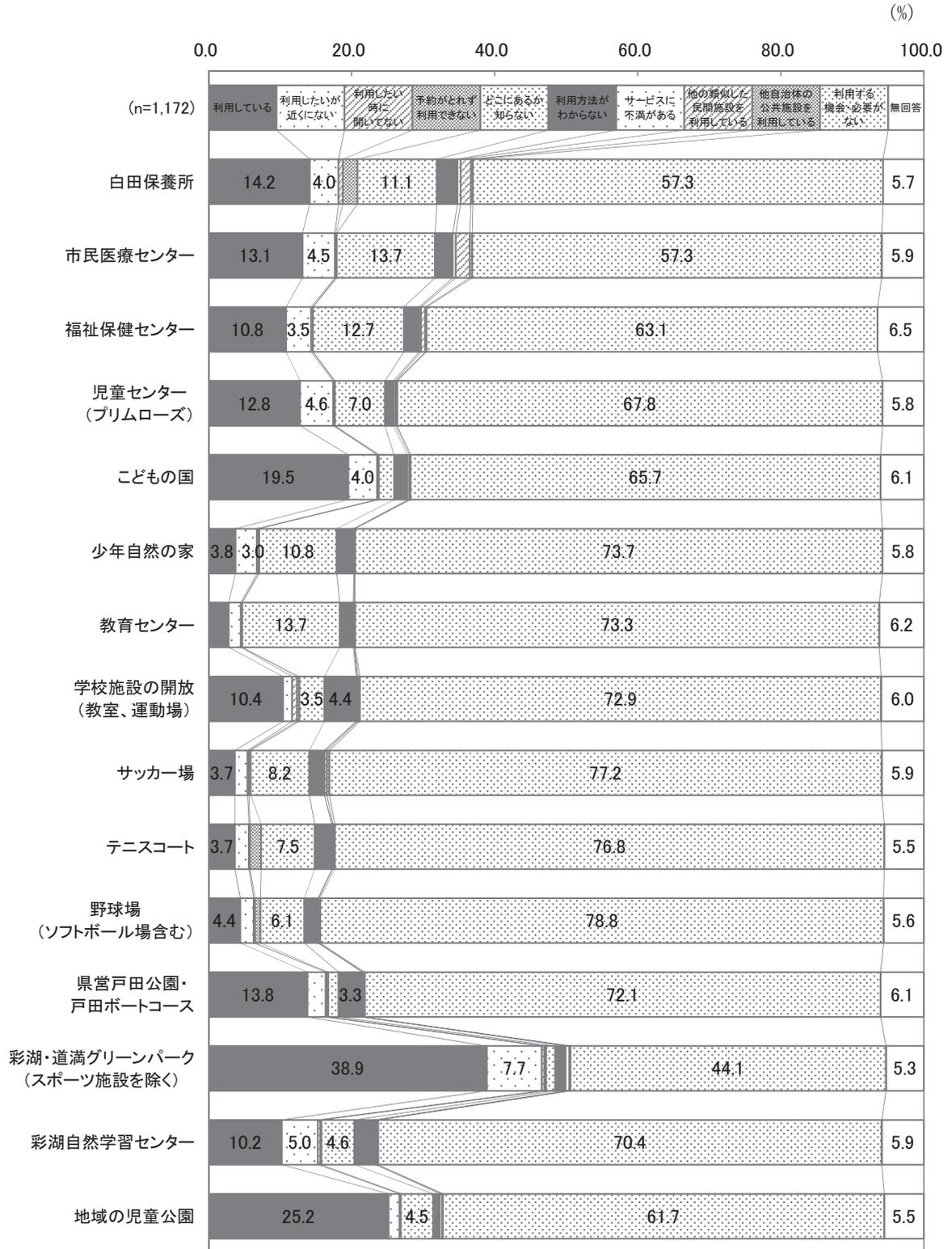
- ・平成 26 年度調査(前回調査)と比較すると、ほとんどの施設は「利用している」に大きな変化はありませんが、「戸田公園駅前行政センター」(前回比+8.5)、「新曽南多世代交流館(さくらパル)」(前回比+5.7)や「美笹支所」(前回比+2.8)では増加しています。
- ・一方、「利用している」が前回より最も減少したのは、「スポーツセンター」(前回比-7.7)で、次いで「文化会館」(前回比-5.6)、「県営戸田公園・戸田ボートコース」(前回比-3.4)、「図書館(分室・配本所含む)」(前回比-3.3)、「郷土博物館」(前回比-3.0)、「彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)」(前回比-3.0)となっています。

図表 55-1 公共施設の利用状況(全体)



(注) 3%未満は非表示

図表 55-2 公共施設の利用状況(全体)(つづき)



(注) 3%未満は非表示

図表 56-1 公共施設の利用状況(平成 26 年度調査との比較)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差
文化会館	25.9	31.5	-5.6	11.2	12.6	-1.4	57.8	52.5	5.3	5.2	3.6	1.6
スポーツセンター	22.8	30.5	-7.7	25.3	24.4	0.9	46.7	41.0	5.7	5.3	4.2	1.1
郷土博物館	15.1	18.1	-3.0	17.8	20.8	-3.0	61.1	55.7	5.4	6.0	5.3	0.7
図書館(分室・配本所含む)	39.9	43.2	-3.3	15.5	19.2	-3.7	39.8	32.4	7.4	4.7	5.1	-0.4
戸田公園駅前行政センター	45.7	37.2	8.5	11.3	14.5	-3.2	37.8	44.0	-6.2	5.1	4.3	0.8
美笹支所	14.3	11.5	2.8	19.4	22.5	-3.1	61.0	61.0	0.0	5.3	5.0	0.3
東部連絡所	5.7	-	-	22.3	-	-	66.5	-	-	5.5	-	-
上戸田地域交流センター (あいパル)	23.4	-	-	17.9	-	-	53.4	-	-	5.3	-	-
新曽福祉センター	10.6	-	-	18.3	-	-	66.0	-	-	5.1	-	-
東部福祉センター	13.6	-	-	18.2	-	-	63.0	-	-	5.3	-	-
西部福祉センター	4.8	-	-	21.4	-	-	68.5	-	-	5.3	-	-
笹目コミュニティセンター (コンパル)	9.6	9.6	0.0	18.7	22.5	-3.8	66.0	63.5	2.5	5.8	4.6	1.2
新曽南多世代交流館 (さくらパル)	7.3	1.6	5.7	20.8	28.1	-7.3	66.0	65.2	0.8	5.8	5.2	0.6
ボランティア・市民活動支援 センター(TOMATO)	2.3	2.1	0.2	24.1	31.1	-7.0	67.8	61.9	5.9	5.8	4.9	0.9
心身障害者福祉センター	4.7	4.7	0.0	20.7	26.8	-6.1	68.3	63.4	4.9	6.2	5.1	1.1
白田保養所	14.2	13.8	0.4	22.8	26.6	-3.8	57.3	55.0	2.3	5.7	4.6	1.1
市民医療センター	13.1	15.6	-2.5	23.7	28.4	-4.7	57.3	51.2	6.1	5.9	4.9	1.0
福祉保健センター	10.8	12.1	-1.3	19.6	25.6	-6.0	63.1	57.2	5.9	6.5	5.2	1.3

(注) 表中の「利用していない」は「利用したいが近くにない」、「利用したい時に開いていない」、「予約がとれず利用できない」、「どこにあるか知らない」、「利用方法がわからない」、「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の合計。「サービスに不満がある」、「他の類似した民間施設を利用している」及び「他自治体の公共施設を利用している」の選択肢は今回調査より新たに追加された。

図表 56-2 公共施設の利用状況(平成 26 年度調査との比較)(つづき)

施設名	利用している			利用していない			利用する機会・必要がない			無回答		
	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差	H30	H26	差
児童センター (プリムローズ)	12.8	15.5	-2.7	13.6	19.4	-5.8	67.8	60.2	7.6	5.8	4.9	0.9
こどもの国	19.5	-	-	8.7	-	-	65.7	-	-	6.1	-	-
少年自然の家	3.8	2.2	1.6	16.7	24.4	-7.7	73.7	68.4	5.3	5.8	5.0	0.8
教育センター	2.8	2.2	0.6	17.7	25.7	-8.0	73.3	66.9	6.4	6.2	5.2	1.0
学校施設の開放 (教室、運動場)	10.4	11.3	-0.9	10.8	17.7	-6.9	72.9	65.4	7.5	6.0	5.7	0.3
サッカー場	3.7	2.6	1.1	13.2	17.4	-4.2	77.2	75.1	2.1	5.9	5.0	0.9
テニスコート	3.7	4.4	-0.7	14.0	19.2	-5.2	76.8	71.5	5.3	5.5	5.0	0.5
野球場 (ソフトボール場含む)	4.4	3.1	1.3	11.2	14.9	-3.7	78.8	76.3	2.5	5.6	5.6	0.0
県営戸田公園・ 戸田ボートコース	13.8	17.2	-3.4	8.0	10.2	-2.2	72.1	66.8	5.3	6.1	5.7	0.4
彩湖・道満グリーンパーク (スポーツ施設を除く)	38.9	41.9	-3.0	11.7	14.1	-2.4	44.1	38.7	5.4	5.3	5.3	0.0
彩湖自然学習センター	10.2	10.4	-0.2	13.5	18.4	-4.9	70.4	65.8	4.6	5.9	5.5	0.4
地域の児童公園	25.2	27.2	-2.0	7.6	10.6	-3.0	61.7	57.1	4.6	5.5	5.1	0.4

【属性別の回答傾向】

・性別にみると、男性は女性と比べて「スポーツセンター」及び「彩湖・道満グリーンパーク（スポーツ施設を除く）」など屋外・スポーツ施設の利用頻度が高く、一方、女性は「上戸田地域交流センター」、「こどもの国」及び「地域の児童公園」など文化施設や福祉関連施設、子育て関連施設の利用頻度が高くなっています。

図表 57-1 公共施設の利用状況「利用している」の割合(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		文化会館	スポーツセンター	郷土博物館	図書館（分室・配本所含む）	戸田公園駅前行政センター	美笹支所	東部連絡所	上戸田地域交流センター（あいパル）	新曽福祉センター	東部福祉センター	西部福祉センター	笹目コミュニティセンター（コンパル）	新曽南多世代交流館（さくらパル）	ボランティア・市民活動支援センター（TOMATO）	心身障害者福祉センター
	全体 (1,172)	25.9	22.8	15.1	39.9	45.7	14.3	5.7	23.4	10.6	13.6	4.8	9.6	7.3	2.3	4.7
性別	男性 (507)	25.2	26.2	17.4	37.9	42.8	16.6	6.3	20.9	9.1	11.8	5.1	10.5	5.5	1.8	4.3
	女性 (659)	26.6	20.3	13.5	41.9	48.4	12.6	5.3	25.3	11.8	14.9	4.6	9.0	8.8	2.7	5.0
年齢別	16～19 歳 (32)	31.3	65.6	28.1	59.4	31.3	9.4	0.0	31.3	9.4	3.1	6.3	12.5	3.1	0.0	6.3
	20～29 歳 (109)	20.2	27.5	14.7	45.9	45.0	10.1	1.8	11.9	6.4	5.5	0.9	4.6	2.8	2.8	0.9
	30～39 歳 (182)	18.7	22.0	13.2	44.5	48.4	9.9	2.2	36.8	8.8	7.7	2.7	5.5	8.8	2.2	4.4
	40～49 歳 (233)	30.9	28.8	19.3	51.1	57.5	13.3	4.3	29.2	11.6	14.2	3.9	9.4	12.4	0.9	6.9
	50～59 歳 (215)	28.4	24.7	15.3	40.9	58.6	11.6	5.1	21.4	11.6	12.6	4.7	9.3	4.7	2.3	4.2
	60～69 歳 (169)	26.6	21.3	15.4	36.1	40.2	20.7	11.8	18.9	10.1	20.7	7.1	14.8	7.7	3.6	5.3
	70 歳以上 (226)	26.1	8.8	10.6	21.7	26.1	19.5	8.8	15.9	12.8	18.6	7.5	11.5	6.2	3.1	4.4
居住地区別	下戸田 1 地区 (144)	22.9	14.6	11.8	34.0	29.9	0.7	14.6	27.1	5.6	29.2	1.4	4.2	3.5	2.1	4.9
	下戸田 2 地区 (214)	22.4	18.7	7.0	36.9	59.8	0.5	15.0	28.5	4.7	34.6	0.0	2.8	2.8	3.3	10.7
	上戸田 1 地区 (125)	41.6	29.6	20.8	49.6	40.8	0.0	0.8	45.6	8.8	4.8	0.0	0.8	4.8	2.4	0.0
	上戸田 2 地区 (171)	19.3	17.5	10.5	36.8	79.5	2.3	2.3	32.2	7.0	6.4	1.2	2.9	14.0	1.8	7.0
	新曽地区 (251)	29.1	32.3	25.1	51.0	44.6	4.8	2.4	15.9	23.5	6.4	2.8	8.4	12.7	2.0	4.4
	笹目地区 (156)	26.3	24.4	19.2	41.7	32.1	51.9	0.6	10.3	10.3	3.2	16.0	35.3	6.4	1.3	1.3
	美女木地区 (106)	20.8	18.9	6.6	19.8	15.1	65.1	1.9	4.7	7.5	3.8	18.9	17.0	2.8	3.8	0.0

- ・年齢別にみると、30歳代～70歳以上での利用頻度1位は「戸田公園駅前行政センター」
となっています。

図表 57-2 公共施設の利用状況(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		白田保養所	市民医療センター	福祉保健センター	児童センター(プリムローズ)	こどもの国	少年自然の家	教育センター	学校施設の開放(教室、運動場)	サッカー場	テニスコート	野球場(ソフトボール場含む)	県営戸田公園・戸田ボートコース	彩湖・道満グリーンパーク(スポーツ施設を除く)	彩湖自然学習センター	地域の児童公園
全体(1,172)		14.2	13.1	10.8	12.8	19.5	3.8	2.8	10.4	3.7	3.7	4.4	13.8	38.9	10.2	25.2
性別	男性(507)	12.8	13.6	8.9	13.0	18.1	3.7	3.0	11.0	4.5	2.8	8.3	17.8	43.6	11.4	22.3
	女性(659)	15.3	12.9	12.4	12.7	20.8	3.8	2.7	10.0	3.0	4.4	1.5	10.9	35.5	9.4	27.6
年齢別	16～19歳(32)	6.3	6.3	3.1	18.8	25.0	12.5	6.3	18.8	12.5	9.4	6.3	18.8	53.1	21.9	31.3
	20～29歳(109)	5.5	11.0	9.2	11.0	14.7	1.8	0.0	7.3	3.7	4.6	3.7	8.3	33.0	8.3	13.8
	30～39歳(182)	6.0	11.5	20.3	24.7	43.4	3.3	2.2	14.8	6.6	1.1	3.8	15.9	48.4	8.8	39.0
	40～49歳(233)	11.2	17.6	10.3	18.0	28.3	8.2	3.9	19.7	6.4	5.6	4.7	17.6	57.1	16.7	41.2
	50～59歳(215)	14.0	9.3	9.8	11.2	11.2	2.8	4.7	7.9	1.9	6.0	6.5	17.2	36.3	8.4	17.2
	60～69歳(169)	20.7	17.8	7.7	8.9	14.8	2.4	2.4	5.3	1.8	3.6	3.0	14.8	35.5	11.2	26.6
	70歳以上(226)	24.8	11.9	9.3	2.7	4.9	1.3	1.8	4.0	0.4	0.4	4.0	6.2	18.6	4.9	8.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	12.5	3.5	5.6	8.3	16.7	2.1	4.2	9.7	0.7	1.4	3.5	6.9	22.9	4.9	19.4
	下戸田2地区(214)	12.6	4.2	10.3	4.2	28.5	2.8	1.4	7.5	4.7	4.2	2.8	21.0	36.4	7.0	23.8
	上戸田1地区(125)	15.2	4.8	15.2	10.4	23.2	2.4	3.2	12.8	2.4	2.4	6.4	10.4	36.0	8.0	25.6
	上戸田2地区(171)	15.2	5.8	9.4	10.5	26.3	4.1	2.9	5.8	2.9	3.5	3.5	25.1	33.3	8.8	25.7
	新曽地区(251)	15.5	10.4	10.4	17.1	17.5	4.8	3.6	13.9	4.8	5.2	2.8	11.2	39.0	11.2	23.1
	笹目地区(156)	16.0	34.0	12.2	23.7	7.7	5.1	2.6	7.7	3.8	2.6	5.8	8.3	50.6	15.4	29.5
	美女木地区(106)	11.3	42.5	16.0	17.0	13.2	4.7	1.9	17.9	5.7	5.7	10.4	9.4	61.3	19.8	33.0

(3) 駅周辺のにぎわいや魅力

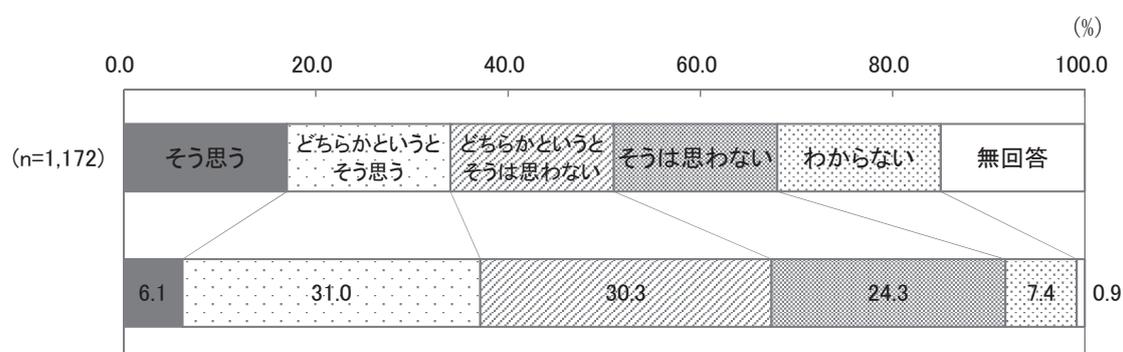
問 28 あなたは、市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思いますか。

(○は1つ)

【全体の回答傾向】

・市内の駅周辺について、にぎわいや魅力があると思うかについては、「そう思う」(6.1%)、「どちらかというと思う」(31.0%)を合わせると37.1%となっています。「どちらかというと思う」(30.3%)と「そうは思わない」(24.3%)を合わせると54.6%となり、否定的な意見が半数を超えています。

図表 58 駅周辺のにぎわいや魅力があると思うか(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、「そうは思わない」では男性(28.8%)が女性(20.8%)より多くなっています。
- ・年齢別にみると「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせた肯定的な意見は、16~19歳が75.0%と突出して高くなっています。
- ・地区別にみると肯定的な意見が最も高いのは新曽地区の43.0%で、最も低いのは美女木地区の32.1%でした。

図表 59 駅周辺ににぎわいや魅力があると思うか(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そうは思わない	そうは思わない	わからない	無回答
	全体(1,172)	6.1	31.0	30.3	24.3	7.4	0.9
性別	男性(507)	6.1	29.8	27.4	28.8	7.5	0.4
	女性(659)	6.2	32.2	32.8	20.8	7.1	0.9
年齢別	16～19歳(32)	12.5	62.5	15.6	6.3	3.1	0.0
	20～29歳(109)	11.0	41.3	25.7	16.5	5.5	0.0
	30～39歳(182)	9.9	37.4	23.1	24.7	4.9	0.0
	40～49歳(233)	4.3	30.9	33.9	26.2	4.7	0.0
	50～59歳(215)	1.4	25.1	38.6	28.8	6.0	0.0
	60～69歳(169)	3.0	27.8	32.5	28.4	7.1	1.2
	70歳以上(226)	8.8	24.8	27.9	20.4	15.0	3.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	5.6	28.5	31.3	23.6	10.4	0.7
	下戸田2地区(214)	5.6	27.1	28.0	29.4	8.9	0.9
	上戸田1地区(125)	8.0	32.0	32.0	20.0	7.2	0.8
	上戸田2地区(171)	8.2	32.2	31.0	24.6	4.1	0.0
	新曽地区(251)	6.8	36.3	29.9	21.5	4.8	0.8
	笹目地区(156)	3.8	30.8	31.4	25.0	7.1	1.9
	美女木地区(106)	4.7	27.4	27.4	26.4	13.2	0.9

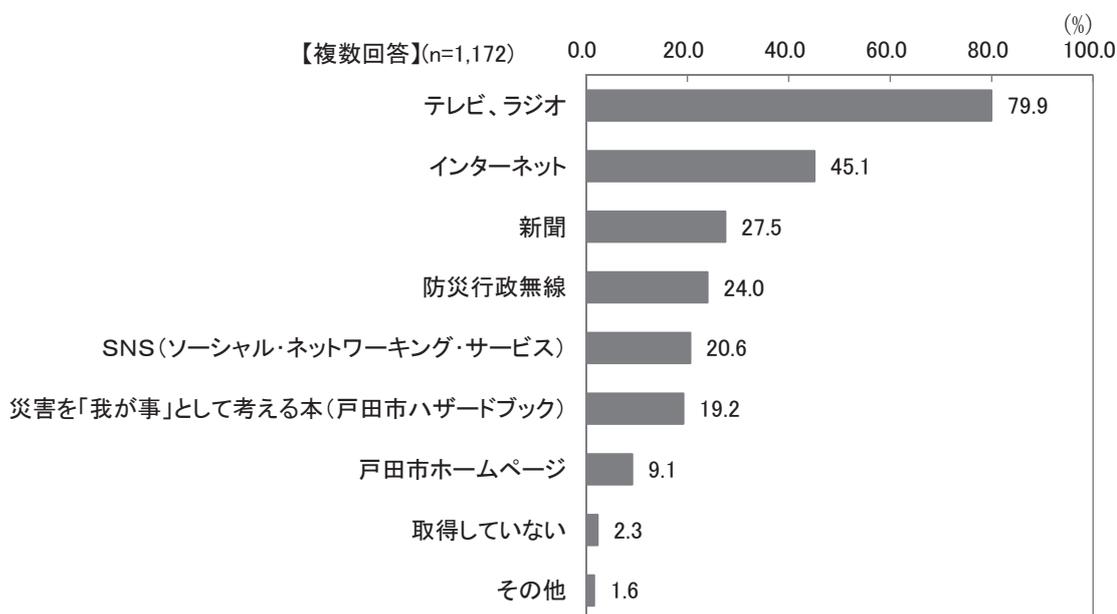
(4) 防災に関する情報の取得方法

問 29 あなたは、普段（平常時）はどのような手段で防災に関する情報を取得していますか。あてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

【全体の回答傾向】

・防災に関する情報の取得方法については、「テレビ、ラジオ」が 79.9%と突出して多く、次いで「インターネット」（45.1%）、「新聞」（27.5%）となっています。

図表 60 防災に関する情報の取得方法(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性では「インターネット」が高い一方、女性では「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」や「災害を「我が事」として考える本（戸田市ハザードブック）」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、「新聞」や「災害を「我が事」として考える本（戸田市ハザードブック）」では年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、反対に「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」では年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、新曽地区では「戸田市ホームページ」や「インターネット」が他地区と比べて高く、美女木地区では「テレビ・ラジオ」が高くなっています。

図表 61 防災に関する情報の取得方法(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		テレビ、ラジオ	新聞	戸田市ホームページ	インターネット	SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)	防災行政無線	災害を「我が事」として考える本(戸田市ハザードブック)	取得していない	その他
	全体(1,172)	79.9	27.5	9.1	45.1	20.6	24.0	19.2	2.3	1.6
性別	男性(507)	80.7	27.6	7.7	50.1	17.9	22.5	14.4	2.0	1.8
	女性(659)	79.5	27.5	10.3	41.6	22.8	25.2	23.1	2.6	1.5
年齢別	16~19歳(32)	81.3	6.3	0.0	50.0	46.9	21.9	9.4	3.1	0.0
	20~29歳(109)	68.8	11.0	5.5	59.6	56.9	18.3	8.3	5.5	2.8
	30~39歳(182)	72.0	9.9	8.8	66.5	30.2	20.9	16.5	2.7	2.2
	40~49歳(233)	76.4	20.2	12.0	63.9	24.5	24.0	21.5	3.9	2.1
	50~59歳(215)	77.7	24.7	9.3	53.5	15.8	23.7	14.9	1.9	2.3
	60~69歳(169)	89.9	44.4	8.3	27.8	7.7	27.8	25.4	0.6	0.6
	70歳以上(226)	90.3	50.4	9.7	6.2	1.8	26.5	25.2	0.4	0.4
居住地区別	下戸田1地区(144)	80.6	25.7	8.3	45.8	16.7	22.2	18.8	3.5	2.1
	下戸田2地区(214)	80.8	27.1	7.0	45.3	19.6	21.0	21.0	2.3	1.4
	上戸田1地区(125)	80.0	30.4	8.8	43.2	24.0	19.2	12.8	2.4	3.2
	上戸田2地区(171)	78.9	32.2	8.2	44.4	19.9	28.7	18.1	1.8	1.8
	新曽地区(251)	74.9	25.9	12.0	51.0	22.7	21.1	19.1	2.4	2.0
	笹目地区(156)	82.7	29.5	9.6	39.7	22.4	28.2	21.8	1.9	0.0
	美女木地区(106)	86.8	21.7	9.4	40.6	16.0	31.1	22.6	1.9	0.9

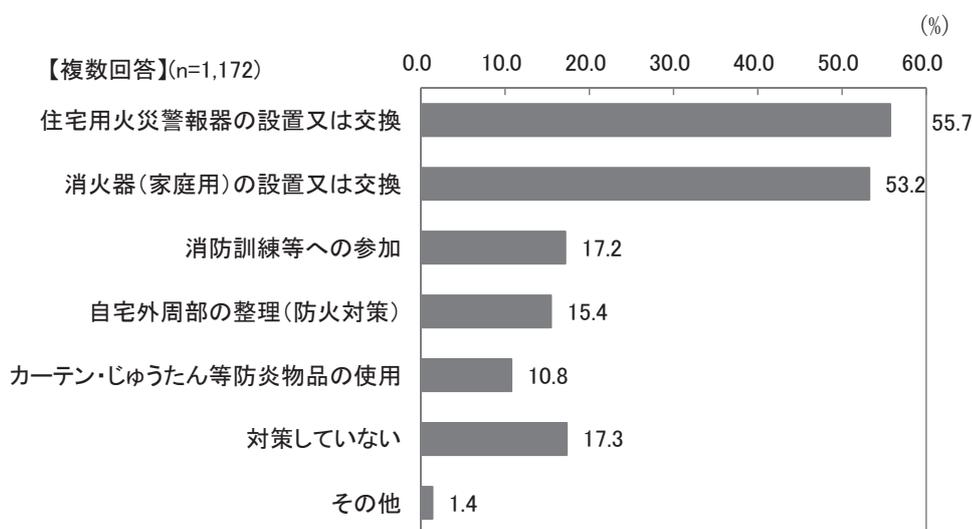
(5) 家庭での消防対策

問 30 あなたは、家庭でどのような消防対策をとっていますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・家庭での消防対策については、「住宅用火災警報器の設置又は交換」(55.7%)と「消火器(家庭用)の設置又は交換」(53.2%)が突出して高くなっています。一方、「対策していない」は17.3%となっています。

図表 62 家庭での消防対策(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性では「カーテン・じゅうたん等防災物品の使用」、女性では「自宅外周部の整理(防火対策)」が全体と比べて高くなっています。
- ・年齢別にみると、「自宅外周部の整理(防火対策)」では年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向があり、反対に「対策していない」では年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、下戸田2地区では「消火器(家庭用)の設置又は交換」が他地区と比べて高く、美女木地区では「消防訓練等への参加」が高くなっています。

図表 63 家庭での消防対策(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		消火器(家庭用)の設置 又は交換	住宅用火災警報器の設 置又は交換	消防訓練等への参加	自宅外周部の整理(防 火対策)	カーテン・じゅうたん 等防災物品の使用	対策していない	その他
全体(1,172)		53.2	55.7	17.2	15.4	10.8	17.3	1.4
性別	男性(507)	55.0	56.6	17.8	12.4	14.0	16.8	2.4
	女性(659)	51.9	55.1	16.8	17.8	8.3	17.8	0.6
年齢別	16~19歳(32)	43.8	50.0	12.5	6.3	3.1	21.9	0.0
	20~29歳(109)	46.8	47.7	7.3	8.3	7.3	34.9	0.0
	30~39歳(182)	46.2	56.6	11.5	8.2	10.4	25.3	0.5
	40~49歳(233)	51.5	62.7	17.6	12.0	14.6	15.5	1.7
	50~59歳(215)	58.1	55.8	14.4	17.2	13.5	14.0	1.4
	60~69歳(169)	54.4	55.0	20.7	23.1	10.7	13.6	1.8
	70歳以上(226)	58.8	52.7	26.5	21.7	7.5	9.7	2.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	47.2	50.7	16.7	16.0	10.4	19.4	2.1
	下戸田2地区(214)	65.0	60.7	16.8	13.1	12.6	12.6	1.9
	上戸田1地区(125)	47.2	54.4	16.8	17.6	14.4	20.8	0.8
	上戸田2地区(171)	61.4	56.1	19.3	14.0	9.4	15.8	0.6
	新曽地区(251)	49.0	55.4	14.7	13.5	10.8	20.3	1.2
	笹目地区(156)	50.6	51.9	15.4	20.5	9.0	18.6	1.3
	美女木地区(106)	47.2	59.4	23.6	17.0	7.5	12.3	1.9

7. 地域コミュニティについて

(1) 団体等の活動への参加

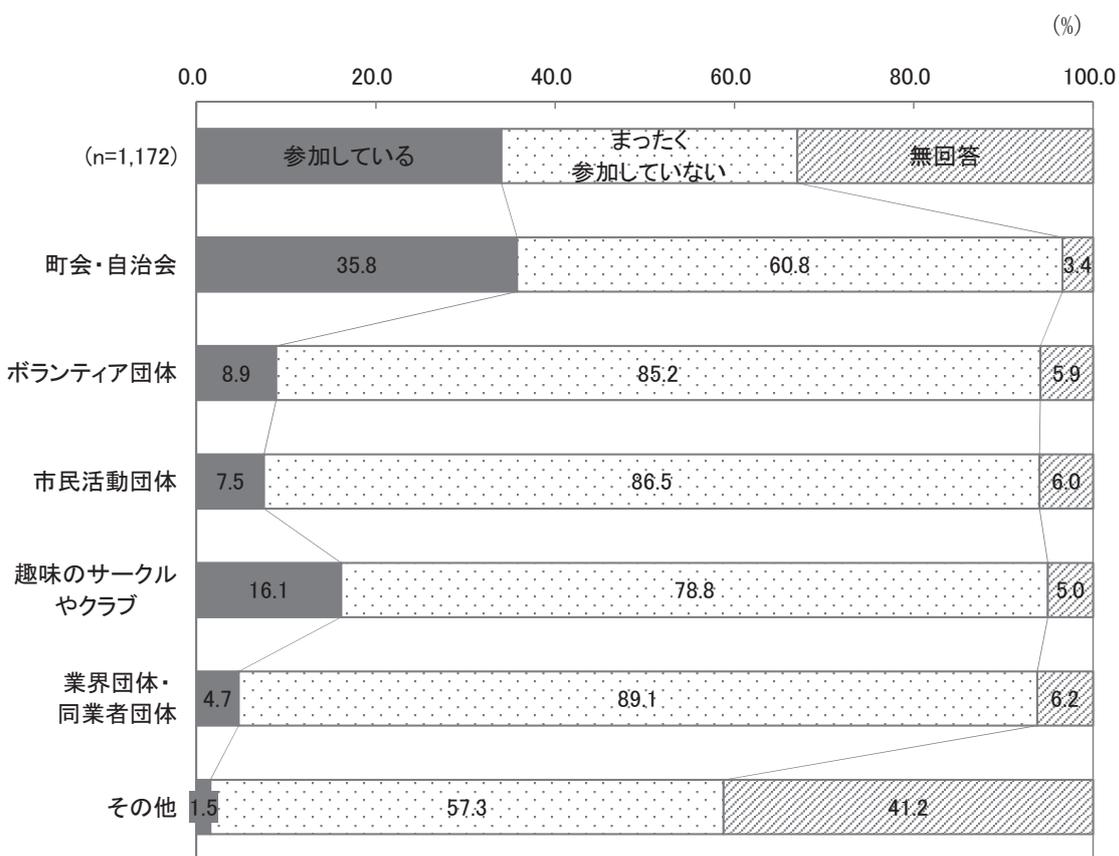
問 31 あなたは、以下の団体等の活動に、どの程度参加していますか。

(活動内容ごとに○は1つずつ)

【全体の回答傾向】

- ・地域の団体等の活動への参加状況について、参加している割合をみると、「町会・自治会」が35.8%と最も高く、次いで「趣味のサークルやクラブ」が16.1%となっています。

図表 64 団体等の活動への参加頻度(全体)



(注) 参加している = 「まったく参加していない」及び「無回答」以外の合計

【属性別の回答傾向】

①町会・自治会への参加

- ・性別にみると、男性では「まったく参加していない」が、女性では「年に数回」が全体と比べて高くなっています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- ・地区別にみると、「まったく参加していない」が新曽地区の 68.9%で最も高く、美女木地区の 42.5%で最も低くなっています。

図表 65 団体等の活動への参加頻度【町会・自治会】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体 (1,172)	0.2	2.0	5.8	16.4	11.3	60.8	3.4
性別	男性 (507)	0.2	1.6	7.7	13.2	11.0	63.1	3.2
	女性 (659)	0.2	2.4	4.1	18.8	11.5	59.6	3.3
年齢別	16〜19歳 (32)	0.0	0.0	0.0	12.5	3.1	84.4	0.0
	20〜29歳 (109)	0.0	0.0	0.9	2.8	7.3	89.0	0.0
	30〜39歳 (182)	0.0	0.5	3.3	11.0	7.1	77.5	0.5
	40〜49歳 (233)	0.0	0.0	4.7	17.2	12.9	64.4	0.9
	50〜59歳 (215)	0.0	1.4	4.7	14.4	13.5	65.1	0.9
	60〜69歳 (169)	0.0	2.4	9.5	23.7	19.5	42.6	2.4
	70歳以上 (226)	0.9	7.1	9.7	23.9	7.5	37.6	13.3
居住地区別	下戸田1地区 (144)	0.7	2.8	6.3	20.1	9.0	57.6	3.5
	下戸田2地区 (214)	0.5	0.9	4.7	11.2	11.7	67.3	3.7
	上戸田1地区 (125)	0.0	2.4	4.8	17.6	11.2	63.2	0.8
	上戸田2地区 (171)	0.0	1.2	4.1	15.8	9.9	64.9	4.1
	新曽地区 (251)	0.0	1.6	4.8	11.6	10.0	68.9	3.2
	笹目地区 (156)	0.0	1.9	9.0	23.7	14.1	48.1	3.2
	美女木地区 (106)	0.0	5.7	9.4	21.7	16.0	42.5	4.7

【属性別の回答傾向】

②ボランティア団体

- ・年齢別にみると、40歳代以下では「まったく参加していない」が9割を超えています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区で「まったく参加していない」(90.7%)が最も高くなっています。また、美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高く、「月に1回程度」(5.7%)や「年に数回」(8.5%)が高くなっています。

図表 66 団体等の活動への参加頻度【ボランティア団体】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
全体 (1,172)		0.3	1.1	2.3	3.4	1.8	85.2	5.9
性別	男性 (507)	0.6	0.8	1.6	4.3	2.6	84.0	6.1
	女性 (659)	0.0	1.4	2.9	2.7	1.2	86.8	5.0
年齢別	16〜19歳 (32)	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	93.8	0.0
	20〜29歳 (109)	0.9	0.9	0.0	2.8	0.9	94.5	0.0
	30〜39歳 (182)	0.0	1.1	0.0	0.5	1.6	96.2	0.5
	40〜49歳 (233)	0.0	0.4	1.7	3.0	1.3	93.1	0.4
	50〜59歳 (215)	0.5	1.9	3.3	2.8	2.8	86.5	2.3
	60〜69歳 (169)	0.6	1.2	2.4	7.1	1.8	84.0	3.0
	70歳以上 (226)	0.0	1.3	5.3	4.0	2.2	63.3	23.9
居住地区別	下戸田1地区 (144)	0.0	1.4	2.8	3.5	2.8	81.3	8.3
	下戸田2地区 (214)	0.5	0.9	0.9	1.4	0.5	90.7	5.1
	上戸田1地区 (125)	0.0	0.0	2.4	3.2	1.6	90.4	2.4
	上戸田2地区 (171)	0.6	0.6	2.9	1.8	1.8	86.0	6.4
	新曽地区 (251)	0.0	2.0	0.4	3.6	1.2	87.3	5.6
	笹目地区 (156)	0.0	1.3	3.8	3.8	2.6	81.4	7.1
	美女木地区 (106)	0.9	0.9	5.7	8.5	3.8	74.5	5.7

【属性別の回答傾向】

③市民活動団体

- ・年齢別にみると、ボランティア団体と同様に、40歳代以下では「まったく参加していない」が9割を超えています。
- ・居住地区別でもボランティア団体と同様の傾向があり、下戸田2地区で「まったく参加していない」(89.3%)が最も高くなっています。また、美女木地区は、参加頻度が他の地区に比べ高く、「月に1回程度」(3.8%)や「年に数回」(4.7%)に加え「週に2～3回」(1.9%)が高くなっています。

図表 67 団体等の活動への参加頻度【市民活動団体】(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,172)	0.1	0.5	1.6	2.6	2.6	86.5	6.0
性別	男性(507)	0.2	0.4	1.8	3.0	3.0	85.4	6.3
	女性(659)	0.0	0.6	1.4	2.4	2.4	88.2	5.0
年齢別	16～19歳(32)	0.0	0.0	0.0	3.1	3.1	93.8	0.0
	20～29歳(109)	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	98.2	0.0
	30～39歳(182)	0.0	0.0	0.0	1.1	1.1	97.3	0.5
	40～49歳(233)	0.0	0.0	0.9	0.9	1.7	95.7	0.9
	50～59歳(215)	0.0	1.4	1.4	2.8	3.3	89.8	1.4
	60～69歳(169)	0.6	1.8	3.0	4.7	2.4	84.6	3.0
	70歳以上(226)	0.0	0.0	3.5	4.4	5.8	61.5	24.8
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.0	0.0	2.8	2.1	3.5	84.7	6.9
	下戸田2地区(214)	0.0	0.5	0.9	0.9	3.3	89.3	5.1
	上戸田1地区(125)	0.0	0.0	2.4	2.4	1.6	88.8	4.8
	上戸田2地区(171)	0.0	0.6	0.6	4.1	0.0	88.9	5.8
	新曽地区(251)	0.0	0.4	1.2	3.2	2.0	87.6	5.6
	笹目地区(156)	0.0	0.6	1.3	1.9	5.1	84.0	7.1
	美女木地区(106)	0.9	1.9	3.8	4.7	3.8	78.3	6.6

【属性別の回答傾向】

④趣味のサークルやクラブ

- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。また、「週に2～3回」は70歳以上（11.9%）や16～19歳（9.4%）で高くなっています。
- ・地区別にみると、他の活動と同様に下戸田2地区で「まったく参加していない」が83.2%と最も高くなっています。

図表 68 団体等の活動への参加頻度【趣味のサークルやクラブ】

（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2～3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体(1,172)	0.6	6.5	5.9	2.1	1.0	78.8	5.0
性別	男性(507)	0.6	4.9	5.3	2.2	1.2	80.9	4.9
	女性(659)	0.6	7.6	6.4	2.1	0.9	77.8	4.6
年齢別	16～19歳(32)	3.1	9.4	0.0	3.1	0.0	84.4	0.0
	20～29歳(109)	0.0	1.8	3.7	2.8	0.0	91.7	0.0
	30～39歳(182)	0.5	3.3	3.8	2.2	0.0	89.6	0.5
	40～49歳(233)	0.0	3.0	6.0	1.3	1.7	87.6	0.4
	50～59歳(215)	0.5	7.4	7.0	1.9	0.0	82.3	0.9
	60～69歳(169)	1.2	8.3	9.5	1.8	1.8	75.1	2.4
	70歳以上(226)	0.9	11.9	5.8	3.1	2.2	54.4	21.7
居住地区別	下戸田1地区(144)	0.7	7.6	6.3	2.1	0.7	76.4	6.3
	下戸田2地区(214)	0.0	4.2	4.7	2.3	0.5	83.2	5.1
	上戸田1地区(125)	0.8	8.0	6.4	2.4	1.6	77.6	3.2
	上戸田2地区(171)	0.0	7.0	6.4	0.6	1.2	78.9	5.8
	新曽地区(251)	1.2	6.0	5.2	3.2	1.2	80.1	3.2
	笹目地区(156)	0.6	8.3	7.1	1.3	0.6	75.6	6.4
	美女木地区(106)	0.9	4.7	6.6	2.8	1.9	77.4	5.7

【属性別の回答傾向】

⑤ 業界団体・同業者団体

- ・性別にみると、「まったく参加していない」は男性（85.6%）が女性（92.6%）より低くなっています。
- ・年齢別にみると、「まったく参加していない」は60歳代と70歳以上で他の年代に比べ低くなっています。

図表 69 団体等の活動への参加頻度【業界団体・同業者団体】

（全体・性別・年齢別・居住地区別）

		ほぼ毎日	週に2〜3回	月に1回程度	年に数回	年に1回程度	まったく参加していない	無回答
	全体 (1,172)	0.3	0.1	1.5	2.0	0.9	89.1	6.2
性別	男性 (507)	0.4	0.2	2.4	3.7	1.2	85.6	6.5
	女性 (659)	0.2	0.0	0.6	0.6	0.8	92.6	5.3
年齢別	16〜19歳 (32)	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	96.9	0.0
	20〜29歳 (109)	0.9	0.0	0.0	0.9	0.9	97.2	0.0
	30〜39歳 (182)	0.5	0.0	0.0	1.1	0.0	97.8	0.5
	40〜49歳 (233)	0.0	0.0	1.7	2.1	0.4	95.3	0.4
	50〜59歳 (215)	0.0	0.0	1.4	2.3	0.9	94.0	1.4
	60〜69歳 (169)	0.6	0.0	3.0	3.0	1.2	88.8	3.6
	70歳以上 (226)	0.0	0.4	1.8	1.8	2.2	67.7	26.1
居住地区別	下戸田1地区 (144)	0.0	0.0	1.4	2.8	1.4	88.2	6.3
	下戸田2地区 (214)	0.0	0.0	0.9	1.9	0.5	91.1	5.6
	上戸田1地区 (125)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.0	92.8	4.0
	上戸田2地区 (171)	0.0	0.0	1.8	2.3	0.6	88.9	6.4
	新曽地区 (251)	0.4	0.0	1.2	1.2	0.8	90.4	6.0
	笹目地区 (156)	0.0	0.0	2.6	2.6	0.6	85.9	8.3
	美女木地区 (106)	0.9	0.0	1.9	2.8	3.8	84.0	6.6

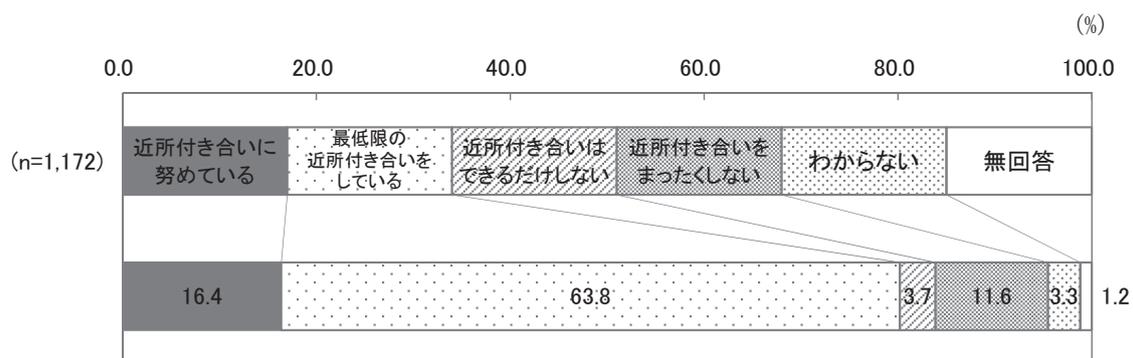
(2) 近所付き合いの程度

問 32 あなたは、どの程度近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの程度については、「最低限の近所付き合いをしている」が63.8%と最も高く、次いで「近所付き合いに努めている」(16.4%)となっています。「近所付き合いをまったくしない」は11.6%となっています。

図表 70 近所付き合いの程度(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、男性に比べて女性は「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」が多く、反対に女性に比べて男性は「近所付き合いをまったくしない」が多くなっています。
- 年齢別にみると、30歳代と40歳代で「近所付き合いに努めている」が他の年代に比べて低くなっています。
- 居住地区別にみると、美女木地区で「近所付き合いに努めている」(24.5%)が最も高くなっています。一方、上戸田2地区で「近所付き合いをまったくしない」(15.2%)が最も高くなっています。

図表 71 近所付き合いの程度(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		近所付き合いに努めている	最低限の近所付き合いをしている	近所付き合いはできるだけだけしない	近所付き合いをまったくしない	わからない	無回答
	全体(1,172)	16.4	63.8	3.7	11.6	3.3	1.2
性別	男性(507)	15.2	61.9	3.9	12.8	5.5	0.6
	女性(659)	17.3	65.6	3.3	10.8	1.7	1.4
年齢別	16～19歳(32)	12.5	71.9	3.1	3.1	9.4	0.0
	20～29歳(109)	15.6	52.3	4.6	22.0	5.5	0.0
	30～39歳(182)	9.9	59.9	6.6	20.3	2.7	0.5
	40～49歳(233)	9.4	70.4	2.1	14.2	3.4	0.4
	50～59歳(215)	11.6	69.8	3.7	10.7	3.7	0.5
	60～69歳(169)	17.2	68.0	3.6	6.5	3.6	1.2
	70歳以上(226)	33.6	56.2	1.8	3.1	1.3	4.0
居住地区別	下戸田1地区(144)	18.1	69.4	1.4	6.3	4.2	0.7
	下戸田2地区(214)	12.1	65.9	4.2	13.1	3.7	0.9
	上戸田1地区(125)	13.6	68.8	2.4	10.4	4.8	0.0
	上戸田2地区(171)	15.2	62.6	3.5	15.2	2.3	1.2
	新曽地区(251)	16.7	61.4	3.6	11.6	3.2	3.6
	笹目地区(156)	18.6	64.7	3.8	10.9	1.9	0.0
	美女木地区(106)	24.5	52.8	7.5	12.3	2.8	0.0

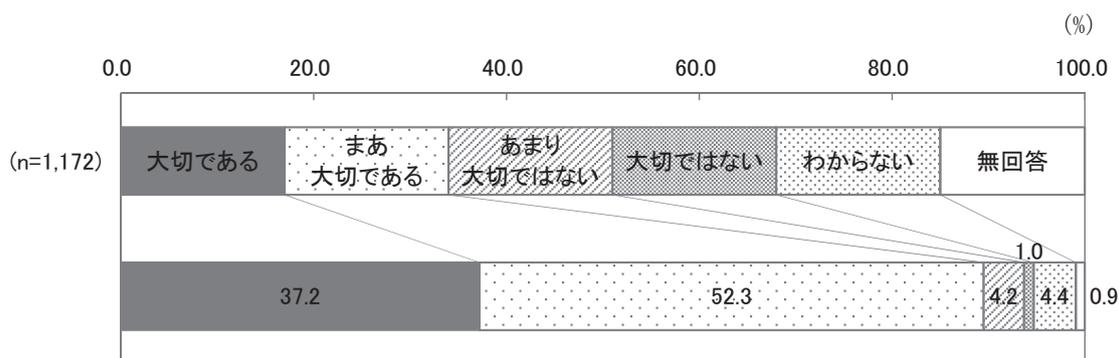
(3) 近所付き合いは大切か

問 33 あなたは、近所付き合いは大切だと思いますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・近所付き合いの大切さについては、「大切である」(37.2%)と「まあ大切である」(52.3%)を合わせ、9割近くが大切だと思っています。

図表 72 近所付き合いは大切か(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、すべての年代において、大切である割合（「大切である」と「まあ大切である」の合計）が約8割を超えています。特に70歳以上は「大切である」が56.6%と他の年代と比べて突出して高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区や新曽地区、笹目地区で90%を超える人が大切である（「大切である」と「まあ大切である」の割合の合計）と感じています。

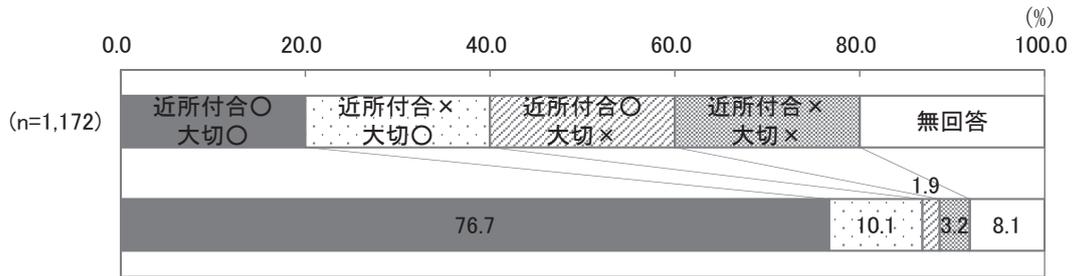
図表 73 近所付き合いは大切か(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		大切である	まあ大切である	あまり大切ではない	大切ではない	わからない	無回答
全体(1,172)		37.2	52.3	4.2	1.0	4.4	0.9
性別	男性(507)	35.9	53.1	4.7	1.4	4.1	0.8
	女性(659)	38.1	52.0	3.8	0.8	4.6	0.8
年齢別	16～19歳(32)	43.8	46.9	3.1	0.0	6.3	0.0
	20～29歳(109)	33.0	45.9	8.3	2.8	10.1	0.0
	30～39歳(182)	28.0	58.8	4.9	2.2	6.0	0.0
	40～49歳(233)	31.8	62.2	2.1	0.9	3.0	0.0
	50～59歳(215)	33.0	57.2	4.2	0.9	4.7	0.0
	60～69歳(169)	34.9	52.1	5.9	0.0	5.3	1.8
	70歳以上(226)	56.6	36.3	2.7	0.4	0.4	3.5
居住地区別	下戸田1地区(144)	33.3	56.3	4.9	0.0	3.5	2.1
	下戸田2地区(214)	35.5	54.7	3.7	1.4	3.7	0.9
	上戸田1地区(125)	34.4	53.6	6.4	0.0	4.8	0.8
	上戸田2地区(171)	36.3	51.5	5.3	1.8	4.7	0.6
	新曽地区(251)	41.8	48.2	2.8	1.6	4.4	1.2
	笹目地区(156)	33.3	57.7	3.8	0.0	4.5	0.6
	美女木地区(106)	47.2	42.5	3.8	1.9	4.7	0.0

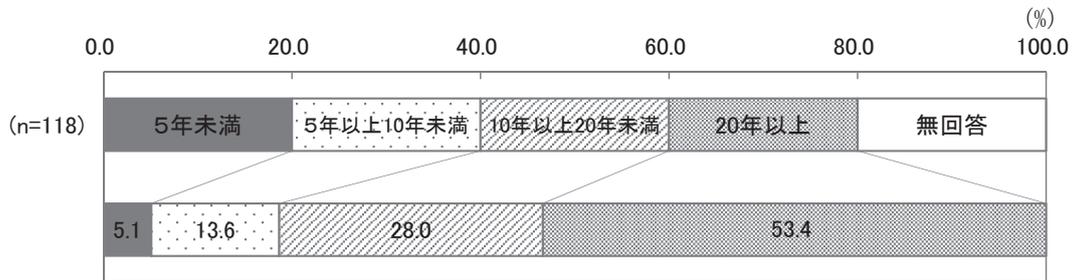
【近所付き合いに関する行動と意識について】

- ・近所付き合いについて、問 32 で行動を、問 33 では意識について回答を得ました。各標本の回答を、行動と意識の回答によって 4 つに分けて分析しました。行動については、「近所付き合いに努めている」及び「最低限の近所付き合いをしている」と回答した場合は○（行動している）、「近所付き合いはできるだけしない」及び「近所付き合いをまったくしない」の場合は×（行動していない）としました。また、意識については、「大切である」及び「まあ大切である」と回答した場合は○（大切だと思っている）、「あまり大切ではない」及び「大切ではない」の場合は×（大切だと思っていない）としました。行動と意識の○、×の組み合わせにより、4 つの区分に分けて集計しました。
- ・近所付き合いに関する行動と意識に関する全体（n=1,172）では、「近所付合○大切○」が 76.7%とほとんどを占めており、次いで、「近所付合×大切○」が 10.1%でした。
- ・「近所付合×大切○」の層（n=118）に着目すると、居住期間では、「20 年以上」が 53.4%と最も高い割合で、次いで「10 年以上 20 年未満」が 28.0%でした。
- ・また、子どもの人数で見ると、子どもがいない(0 人)の割合が 47.5%であり、全体(26.3%。図表 12) より高くなっています。
- ・さらにもう一つの特徴として、住宅の種類で見ると、「近所付合×大切○」の層（n=118）では、「借家（民間アパート・マンション）」の割合が 39.8%と最も高く、全体（16.2%。図表 7）と比べて高くなっています。また、「持ち家（戸建て）」は 25.4%と全体（50.4%。図表 7）と比べて低い割合となっています。

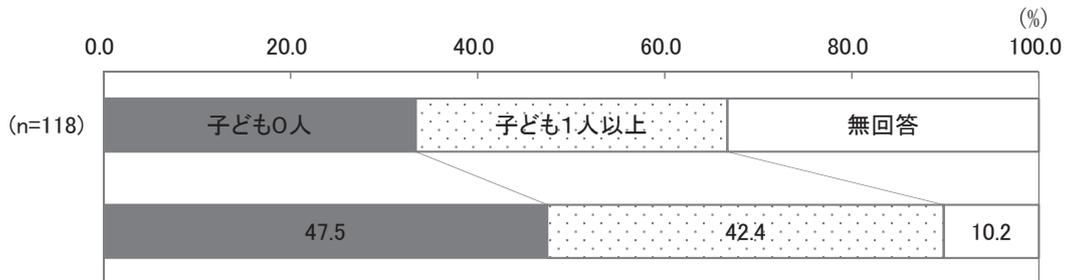
図表 74 近所付き合いに関する行動と意識について(全体)



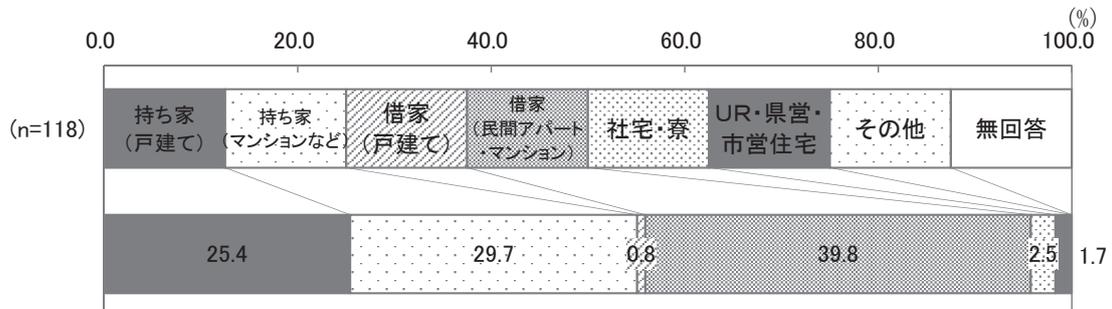
図表 75 「近所付合×大切○」の居住期間



図表 76 「近所付合×大切○」の子どもの人数



図表 77 「近所付合×大切○」の住宅の種類



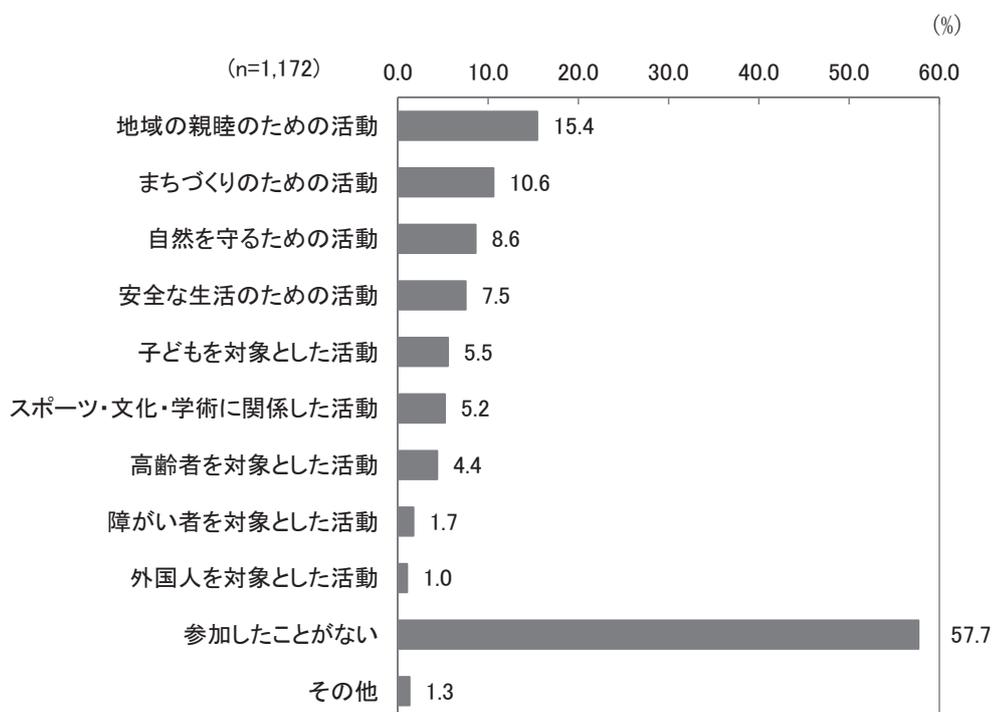
(4) 地域活動やボランティア活動への参加

問 34 あなたは、ここ1年間で以下の地域活動やボランティア活動に参加しましたか。
参加したものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・地域活動やボランティア活動への参加状況について、「参加したことがない」が57.7%と最も高くなっています。
- ・活動に参加した人では、地域住民による祭りや運動会などの「地域の親睦のための活動」が15.4%と最も高く、次いで道路や公園等の清掃、まちに花を植える活動などの「まちづくりのための活動」が10.6%と高くなっています。

図表 78 地域活動やボランティア活動への参加(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別にみると、女性は男性に比べ、「地域の親睦のための活動」及び「子どもを対象とした活動」が高くなっています。一方、男性は女性に比べ「まちづくりのための活動」及び「スポーツ・文化・学術に関係した活動」が高くなっています。
- 年齢別にみると、70歳以上は他の年齢に比べ「地域の親睦のための活動」(24.8%)、「自然を守るための活動」(14.6%)及び「高齢者を対象とした活動」(11.5%)が最も高くなっています。また、40歳代は、他の年代に比べ「子どもを対象とした活動」(10.7%)が最も高くなっています。
- 居住地区別にみると、美女木地区は他の地区に比べ、「まちづくりのための活動」(28.3%)、「地域の親睦のための活動」(34.0%)、「自然を守るための活動」(16.0%)及び「安全な生活のための活動」(15.1%)が最も高くなっています。また、「参加したことがない」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 79 地域活動やボランティア活動への参加(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		まちづくりのための活動	地域の親睦のための活動	自然を守るための活動	安全な生活のための活動	スポーツ・文化・学術に関係した活動	高齢者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	障がい者を対象とした活動	外国人を対象とした活動	参加したことがない	その他
	全体(1,172)	10.6	15.4	8.6	7.5	5.2	4.4	5.5	1.7	1.0	57.7	1.3
性別	男性(507)	11.8	14.6	8.5	7.7	6.5	3.4	2.6	1.6	0.6	60.0	0.8
	女性(659)	9.6	16.1	8.8	7.3	4.2	5.0	7.9	1.8	1.4	56.3	1.7
年齢別	16～19歳(32)	12.5	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	3.1	0.0	3.1	71.9	0.0
	20～29歳(109)	0.9	4.6	5.5	0.0	2.8	1.8	2.8	2.8	3.7	76.1	0.0
	30～39歳(182)	4.4	16.5	3.3	5.5	3.3	1.1	6.6	1.6	0.0	65.4	0.5
	40～49歳(233)	7.3	13.7	7.3	10.7	3.4	2.6	10.7	0.0	1.7	60.1	0.9
	50～59歳(215)	6.5	12.1	7.0	5.6	8.4	3.3	6.0	2.3	0.0	62.3	2.8
	60～69歳(169)	20.1	17.2	12.4	8.9	5.9	4.1	1.8	2.4	0.6	52.7	1.8
	70歳以上(226)	19.9	24.8	14.6	11.1	6.2	11.5	3.1	2.2	0.9	38.5	1.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.1	13.2	6.3	5.6	5.6	6.9	5.6	2.1	1.4	59.7	0.7
	下戸田2地区(214)	5.6	10.3	6.5	6.1	2.3	2.8	4.7	1.9	1.4	64.5	2.3
	上戸田1地区(125)	8.8	12.8	8.8	6.4	6.4	5.6	4.8	0.0	0.0	63.2	0.8
	上戸田2地区(171)	8.2	14.6	9.4	7.0	7.0	3.5	6.4	2.3	0.6	56.1	1.2
	新曽地区(251)	7.2	11.6	6.8	6.4	5.6	3.6	6.4	1.6	1.6	61.0	1.2
	笹目地区(156)	14.1	21.8	10.9	9.6	5.8	3.8	4.5	1.3	0.0	50.6	0.6
	美女木地区(106)	28.3	34.0	16.0	15.1	4.7	6.6	6.6	2.8	1.9	40.6	1.9

8. 市政への参加について

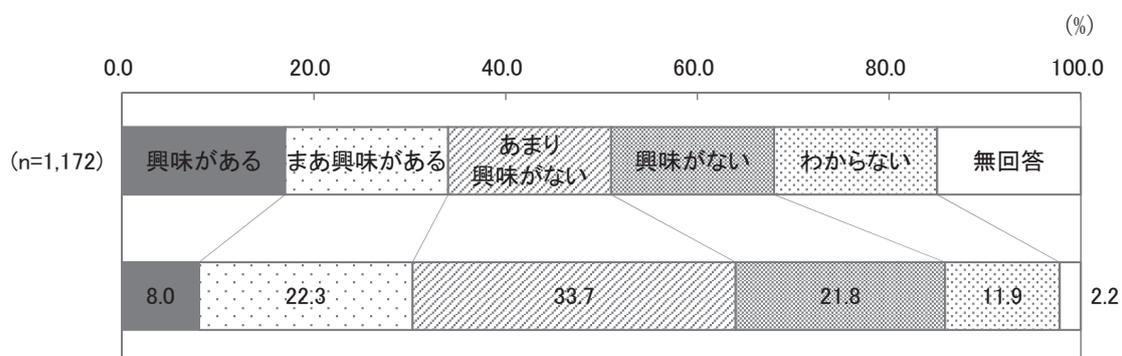
(1) 市政への参加の興味

問 35 あなたは、市政への参加（市の会議への参加やイベントの企画運営など）に興味がありますか。（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- ・ 市政参加への興味は、「興味がある」（8.0%）と「まあ興味がある」（22.3%）を合わせて30.3%となっています。一方、「あまり興味がない」（33.7%）と「興味がない」（21.8%）を合わせて55.5%となっています。

図表 80 市政への参加の興味(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・年齢別にみると、70歳以上は「興味がある」と「まあ興味がある」を合わせると41.6%と割合が最も高くなっています。
- ・居住地区別にみると、下戸田2地区と笹目地区で「あまり興味が無い」と「興味が無い」を合わせると60%を超えています。

図表 81 市政への参加の興味(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		興味がある	まあ興味がある	あまり興味がない	興味がない	わからない	無回答
	全体(1,172)	8.0	22.3	33.7	21.8	11.9	2.2
性別	男性(507)	9.3	23.7	30.6	23.5	10.7	2.4
	女性(659)	7.0	21.4	36.3	20.6	12.7	2.0
年齢別	16～19歳(32)	6.3	18.8	31.3	25.0	18.8	0.0
	20～29歳(109)	10.1	19.3	26.6	31.2	12.8	0.0
	30～39歳(182)	7.1	21.4	31.9	29.7	9.3	0.5
	40～49歳(233)	6.0	22.3	36.5	26.2	9.0	0.0
	50～59歳(215)	5.6	19.5	38.6	22.8	13.5	0.0
	60～69歳(169)	4.7	23.7	40.8	18.3	11.2	1.2
	70歳以上(226)	14.6	27.0	26.5	8.0	13.7	10.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.1	22.9	33.3	19.4	9.0	4.2
	下戸田2地区(214)	6.1	15.9	39.3	24.3	13.1	1.4
	上戸田1地区(125)	8.8	22.4	43.2	14.4	9.6	1.6
	上戸田2地区(171)	8.2	22.2	31.0	22.8	11.1	4.7
	新曽地区(251)	7.6	27.9	27.1	22.3	13.5	1.6
	笹目地区(156)	9.0	17.3	34.6	25.6	12.2	1.3
	美女木地区(106)	6.6	28.3	30.2	19.8	14.2	0.9

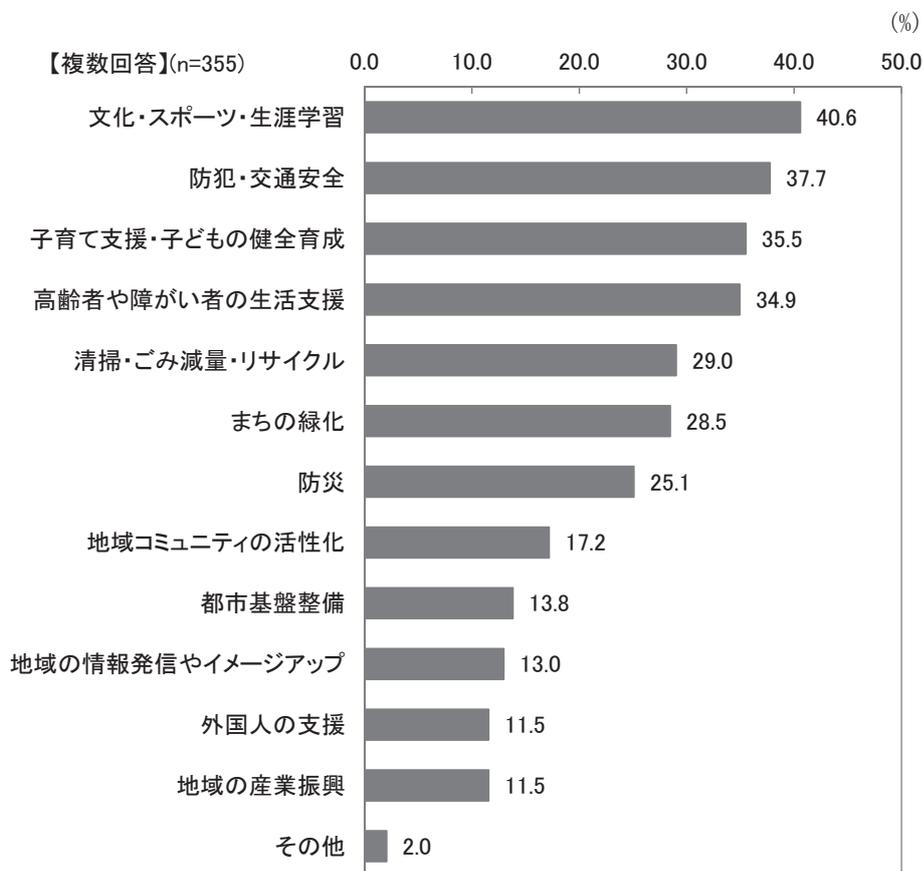
(2) 参加に興味のある市政の分野

問 36 以下の項目のうち、あなたが市政に参加するとしたら、どの分野に興味がありますか。あてはまるものをすべて選んでください。(〇はいくつでも)

【全体の回答傾向】

- ・参加に興味のある市政の分野については、問 35 で市政参加に「興味がある」及び「まあ興味がある」と回答した層 (n=355) に絞り、集計を行いました。
- ・結果は、「文化・スポーツ・生涯学習」(40.6%) が最も高く、次いで、「防犯・交通安全」が 37.7%、「子育て支援・子どもの健全育成」が 35.5%と高くなっています。

図表 82 参加に興味のある市政の分野(市政参加への興味がある層)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、男性は女性に比べ、「防犯・交通安全」や「都市基盤整備」で高く、女性は男性に比べ、「高齢者や障がい者の生活支援」や「子育て支援・子どもの健全育成」で高くなっています。
- ・年齢別にみると、他の年齢に比べ、10歳代は「地域の産業振興」が、20歳代は「まちなみ緑化」が、30歳代は「子育て支援・子どもの健全育成」が、60歳代は「防犯・交通安全」が、70歳以上は「高齢者や障がい者の生活支援」が高くなっています。

図表 83 参加に興味のある市政の分野(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		健全育成 子育て支援・子どもの	高齢者や障がい者の 生活支援	外国人の支援	防災	防犯・交通安全	清掃・ごみ減量・リサイクル	まちなみ緑化	文化・スポーツ・生涯学習	地域の産業振興	都市基盤整備	地域の情報発信やイメージアップ	地域コミュニティの活性化	その他
	全体 (355)	35.5	34.9	11.5	25.1	37.7	29.0	28.5	40.6	11.5	13.8	13.0	17.2	1.4
性別	男性 (167)	30.5	29.3	10.8	28.7	44.3	26.3	29.3	44.9	13.2	19.8	15.6	21.0	0.0
	女性 (187)	40.1	39.6	12.3	21.9	32.1	31.6	27.8	36.9	10.2	8.6	10.7	13.9	2.7
年齢別	16～19歳 (8)	25.0	12.5	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	37.5	37.5	25.0	25.0	0.0	0.0
	20～29歳 (32)	43.8	21.9	28.1	28.1	37.5	31.3	40.6	56.3	25.0	21.9	15.6	15.6	3.1
	30～39歳 (52)	67.3	15.4	11.5	21.2	36.5	28.8	25.0	28.8	11.5	7.7	21.2	7.7	3.8
	40～49歳 (66)	51.5	33.3	13.6	19.7	27.3	19.7	24.2	34.8	10.6	13.6	13.6	15.2	0.0
	50～59歳 (54)	31.5	35.2	13.0	25.9	33.3	20.4	24.1	55.6	5.6	18.5	14.8	22.2	0.0
	60～69歳 (48)	25.0	35.4	8.3	39.6	52.1	35.4	33.3	47.9	18.8	12.5	8.3	27.1	0.0
	70歳以上 (94)	12.8	52.1	4.3	24.5	42.6	37.2	29.8	34.0	5.3	11.7	7.4	18.1	2.1
居住地区別	下戸田1地区 (49)	28.6	40.8	12.2	36.7	57.1	36.7	26.5	49.0	16.3	16.3	10.2	12.2	0.0
	下戸田2地区 (47)	36.2	34.0	8.5	29.8	42.6	27.7	21.3	42.6	10.6	14.9	14.9	27.7	2.1
	上戸田1地区 (39)	38.5	28.2	7.7	15.4	30.8	28.2	25.6	38.5	5.1	12.8	10.3	15.4	2.6
	上戸田2地区 (52)	40.4	28.8	15.4	23.1	26.9	26.9	36.5	46.2	15.4	11.5	11.5	11.5	0.0
	新曽地区 (89)	40.4	36.0	12.4	21.3	31.5	25.8	31.5	40.4	10.1	16.9	13.5	19.1	2.2
	笹目地区 (41)	24.4	46.3	7.3	24.4	39.0	31.7	26.8	29.3	14.6	14.6	19.5	26.8	0.0
	美女木地区 (37)	32.4	27.0	16.2	24.3	40.5	27.0	24.3	35.1	5.4	5.4	10.8	5.4	2.7

9. 保養事業について

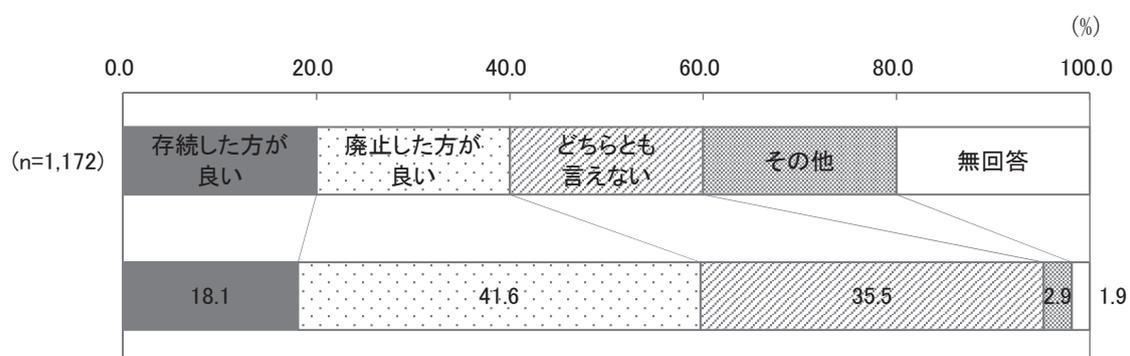
(1) 白田保養所のあり方について

問 37 白田保養所のあり方について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・白田保養所のあり方については、「廃止した方が良い」(41.6%)が「存続した方が良い」(18.1%)を23.5%上回っています。「どちらとも言えない」も35.5%と多くなっています。

図表 84 白田保養所のあり方(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性より男性の方が「存続した方が良い」の割合が高くなっています。
- ・年齢別にみると、70歳以上で「存続した方が良い」が24.3%と他の年代に比べ高くなっています。一方、30歳代～50歳代で「廃止した方が良い」が高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「存続した方が良い」が最も高いのは上戸田1地区、「廃止した方が良い」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 85 白田保養所のあり方(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		存続した方が良い	廃止した方が良い	どちらとも言えない	その他	無回答
全体(1,172)		18.1	41.6	35.5	2.9	1.9
性別	男性(507)	22.7	41.4	31.8	3.0	1.2
	女性(659)	14.6	42.2	38.2	2.9	2.1
年齢別	16～19歳(32)	9.4	31.3	59.4	0.0	0.0
	20～29歳(109)	19.3	38.5	37.6	4.6	0.0
	30～39歳(182)	15.9	47.8	29.7	4.4	2.2
	40～49歳(233)	17.2	50.6	29.6	2.6	0.0
	50～59歳(215)	16.7	48.8	31.6	1.9	0.9
	60～69歳(169)	15.4	41.4	37.9	2.4	3.0
	70歳以上(226)	24.3	24.3	43.8	3.1	4.4
居住地区別	下戸田1地区(144)	16.7	39.6	37.5	4.2	2.1
	下戸田2地区(214)	15.0	50.0	29.9	2.8	2.3
	上戸田1地区(125)	25.6	33.6	35.2	3.2	2.4
	上戸田2地区(171)	21.6	38.0	35.1	4.1	1.2
	新曽地区(251)	15.9	45.0	35.1	2.4	1.6
	笹目地区(156)	19.9	37.2	41.0	0.0	1.9
	美女木地区(106)	15.1	40.6	37.7	4.7	1.9

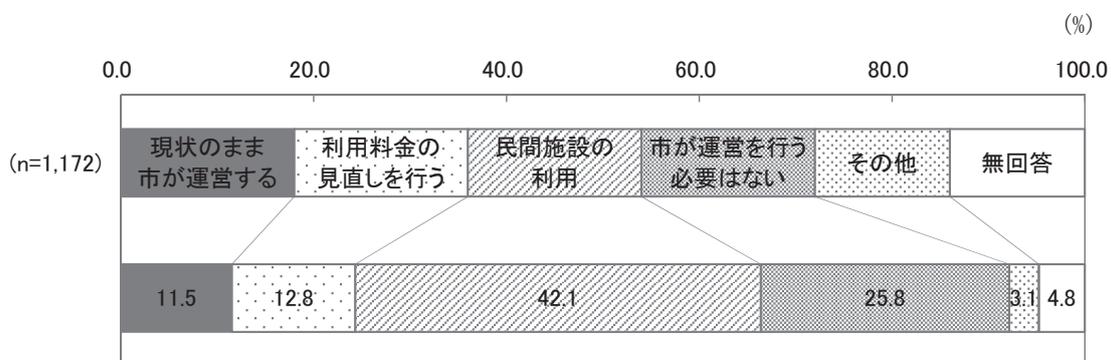
(2) 今後の保養所に係る事業について

問 38 今後の保養所に係る事業について、あなたの考えに近いものを選んでください。
 (○は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・今後の保養所に係る事業については、「保養所の代わりに市が契約した民間施設の利用料金の一部を助成又は優待利用できるようにする」が 42.1%と最も多く、次いで「市が保養事業の運営を行う必要はない」(25.8%) となっています。

図表 86 今後の保養所に係る事業(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別にみると、女性より男性の方が「現状のまま市が運営する」が高くなっている一方、男性より女性の方が「民間施設の利用」が高くなっています。
- ・年齢別にみると、20歳代で「現状のまま市が運営する」が21.1%と他の年代に比べ高くなっています。一方、30歳代で「市が運営を行う必要はない」34.6%と他の年代に比べ高くなっています。
- ・居住地区別にみると、「民間施設の利用」が最も高いのは美女木地区、「市が運営を行う必要はない」が最も高いのは下戸田2地区でした。

図表 87 今後の保養所に係る事業(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		現状のまま市が運営する	利用料金の見直しを行う	民間施設の利用	市が運営を行う必要はない	その他	無回答
全体(1,172)		11.5	12.8	42.1	25.8	3.1	4.8
性別	男性(507)	14.6	15.0	37.7	26.6	2.2	3.9
	女性(659)	9.1	11.2	45.5	25.3	3.8	5.0
年齢別	16～19歳(32)	15.6	25.0	21.9	18.8	9.4	9.4
	20～29歳(109)	21.1	19.3	26.6	23.9	8.3	0.9
	30～39歳(182)	9.3	9.3	40.1	34.6	1.6	4.9
	40～49歳(233)	8.2	11.6	44.6	32.6	2.1	0.9
	50～59歳(215)	10.2	9.8	49.8	25.6	2.3	2.3
	60～69歳(169)	10.7	11.8	50.3	18.9	2.4	5.9
	70歳以上(226)	12.8	15.9	37.6	19.5	3.1	11.1
居住地区別	下戸田1地区(144)	11.8	16.7	38.9	27.1	1.4	4.2
	下戸田2地区(214)	10.7	13.6	37.4	30.4	1.9	6.1
	上戸田1地区(125)	15.2	11.2	45.6	17.6	5.6	4.8
	上戸田2地区(171)	12.3	11.7	38.6	28.1	4.1	5.3
	新曽地区(251)	11.6	8.8	45.0	29.1	2.4	3.2
	笹目地区(156)	9.6	14.7	43.6	23.1	3.8	5.1
	美女木地区(106)	10.4	16.0	49.1	16.0	3.8	4.7

10. 戸田市の取り組みについて

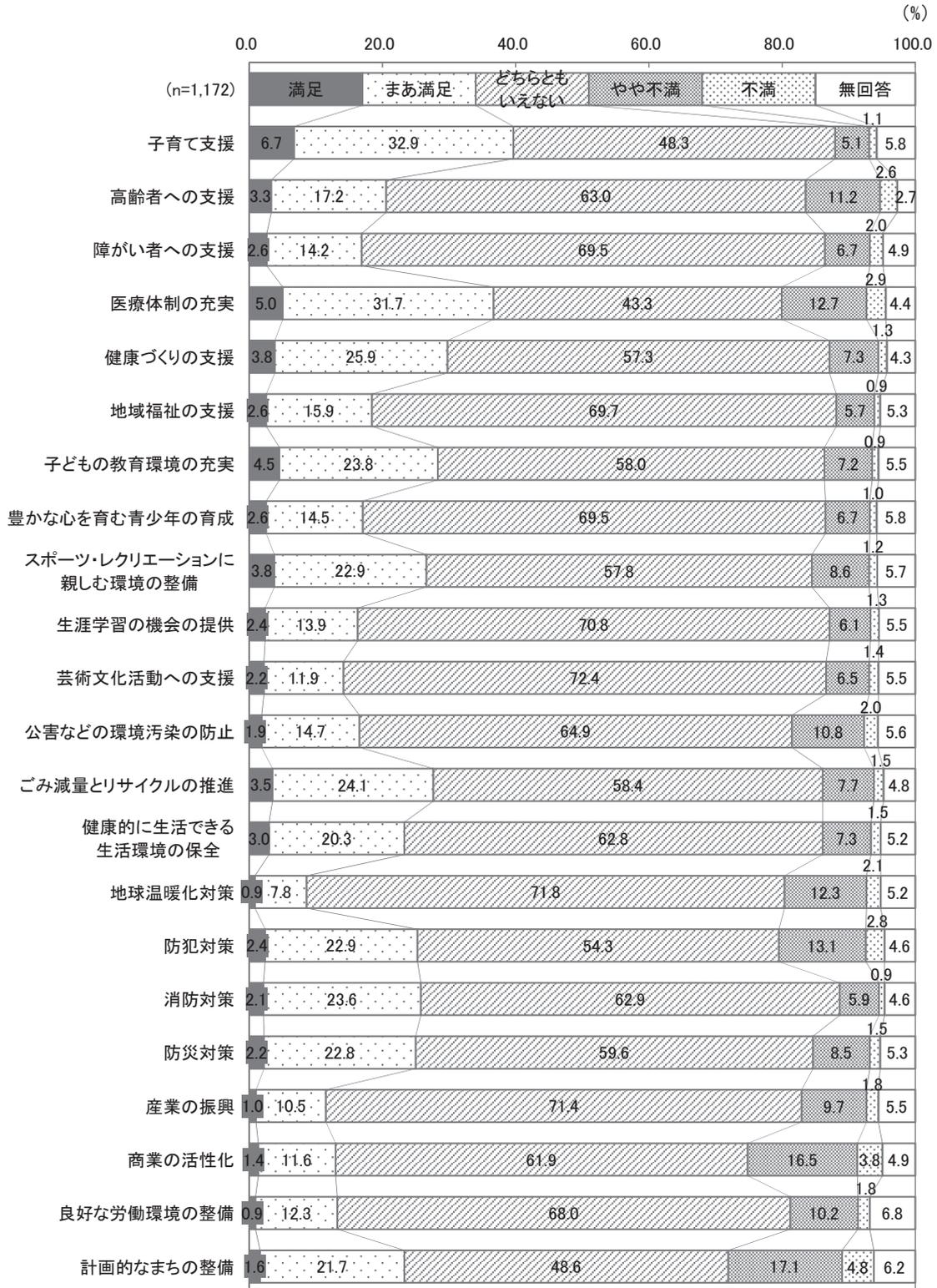
(1) 戸田市の取り組みへの満足度

問 39 次に示す取り組みについて、あなたは、どの程度満足していますか。項目ごとに、「1～5」の中から1つずつ選んで○をつけてください。(項目ごとに○は1つずつ)

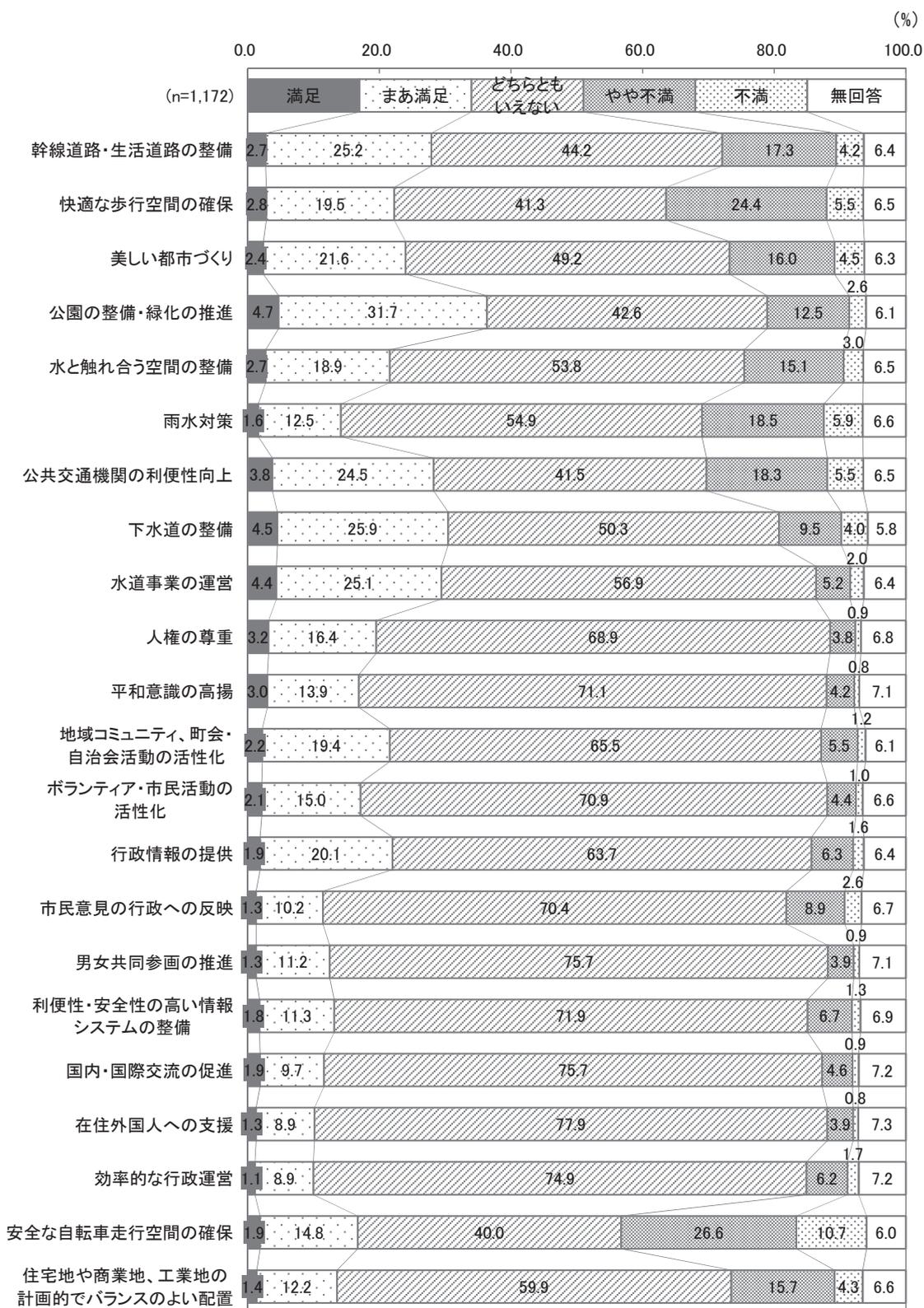
【全体の回答傾向】

- ・「満足」と「まあ満足」を合わせた満足度が最も高いのは、「子育て支援」(39.6%)であり、次いで「医療体制の充実」(36.7%)、「公園の整備・緑化の推進」(36.4%)でした。
- ・一方、「不満」と「やや不満」を合わせたものが最も高いのは、「安全な自転車走行空間の確保」(37.3%)であり、次いで「快適な歩行空間の確保」(29.9%)、「雨水対策」(24.4%)となっています。

図表 88-1 戸田市の取り組みへの満足度(全体)



図表 88-2 戸田市の取り組みへの満足度(全体)(つづき)



(2) 今後重要だと思う取り組み

問 40 あなたは次に示す項目のうち、戸田市のまちづくりにとって、今後何が重要であると思いますか。今後重要であると思うものを5つまで選んでください。(〇は5つ)

【本設問の留意点】

- ・本設問に回答する際の意識として、「現状に不満があり、今後推進してほしい重要な分野」という意識と、「現状取組が進んでいるものの、今後より一層推進してほしい重要な分野」という意識があります。したがって、本設問の結果が一概に各分野の進捗状況を示すものではないことに留意が必要です。

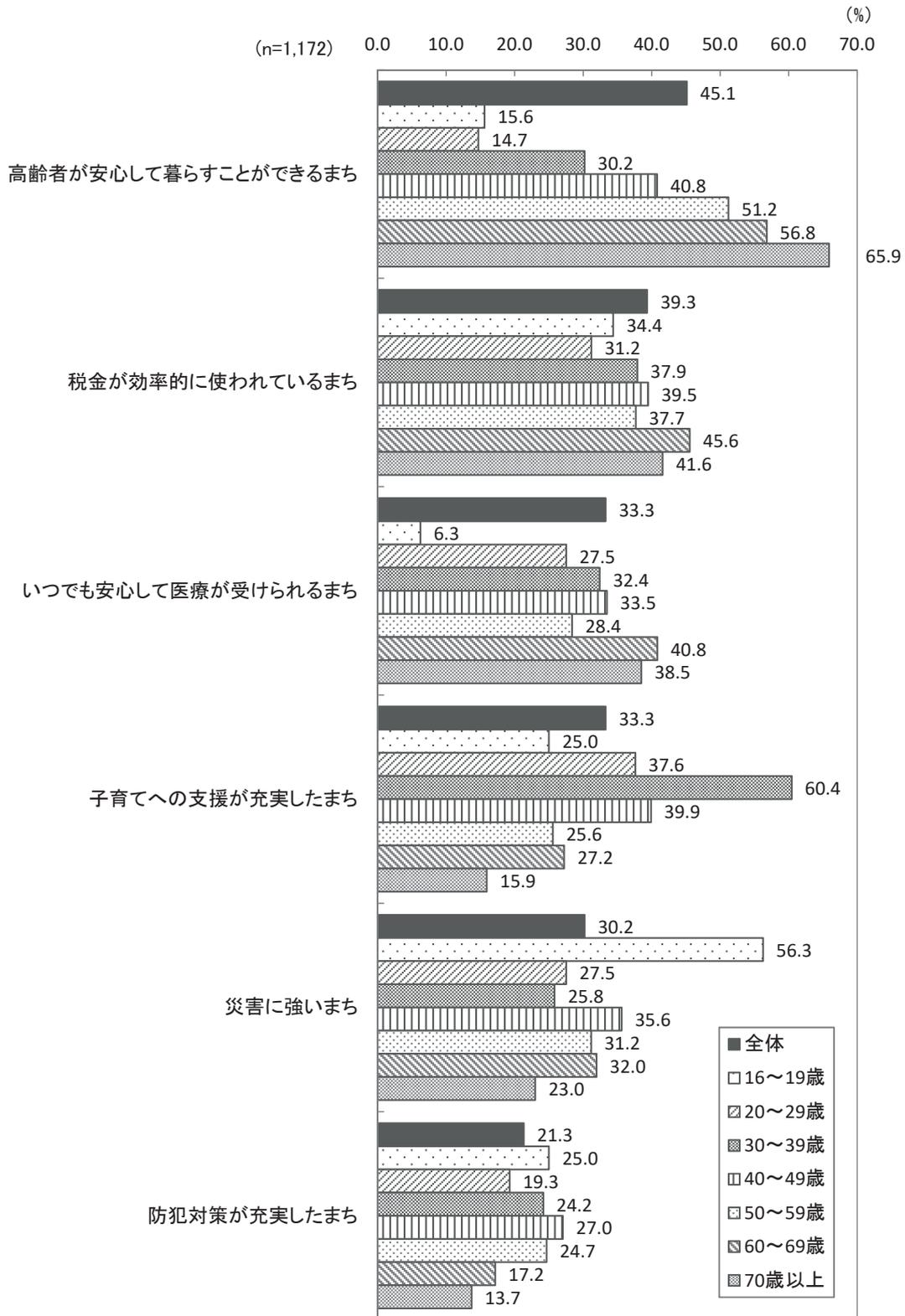
【全体の回答傾向】

- ・今後重要だと思う取り組み（複数回答）としては、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」（45.1%）が最も多く、次いで「税金が効率的に使われているまち」（39.3%）、「いつでも安心して医療が受けられるまち」（33.3%）、「子育てへの支援が充実したまち」（33.3%）、「災害に強いまち」（30.2%）、「防犯対策が充実したまち」（21.3%）となっています。

図表 89 今後重要だと思う取り組み(全体)



図表 90 今後重要だと思う取り組み【上位 6 項目】(年齢別)



【今後重要だと思う上位6項目の取組（属性別の回答傾向）】

- ・年齢別（図表 90）に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」では、60 歳代と 70 歳代で高くなっており、年齢とともに高くなる傾向が見られます。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、60 歳代で高く（45.6%）、次いで 70 歳以上（41.6%）となっています。
- ・「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、60 歳代で高く（40.8%）、次いで 70 歳以上（38.5%）となっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、30 歳代が 60.4%と最も高く、40 歳代（39.9%）、20 歳代（37.6%）の順に高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、16～19 歳が 56.3%と突出して高くなっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、40 歳代が最も高く（27.0%）、次いで 16～19 歳（25.0%）、50 歳代（24.7%）となっています。
- ・居住地区別（図表 91）に見ると、「高齢者が安心して暮らすことができるまち」は、下戸田 1 地区と笹目地区で高くなっています。
- ・「税金が効率的に使われているまち」は、上戸田 2 地区と笹目地区で 40%を超えています。
- ・「いつでも安心して医療が受けられるまち」は、43.4%と美女木地区で最も高くなっています。
- ・「子育てへの支援が充実したまち」は、下戸田 1 地区（34.7%）、下戸田 2 地区（34.6%）及び新曽地区（34.3%）で高くなっています。
- ・「災害に強いまち」は、下戸田 1 地区（34.7%）が最も高く、次いで笹目地区（33.3%）となっています。
- ・「防犯対策が充実したまち」は、下戸田 1 地区（26.4%）が最も高く、次いで上戸田 2 地区（25.7%）となっています。

【その他の属性別の回答傾向】

- ・「生涯健康に暮せるまち」は、居住地区別で見ると、新曽地区で最も高くなっています。
- ・「地域の福祉が充実したまち」は、年齢別で見ると、30歳代が最も高くなっています。
- ・「子どもの教育環境が充実したまち」では、年齢別では30歳代から40歳代で高くなっており、居住地区別で見ると、下戸田1地区、下戸田2地区、上戸田2地区及び美女木地区で高くなっています。

図表 91-1 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		子育てへの支援が充実したまち	高齢者が安心して暮らすことができるまち	障がい者が自立して暮らすことができるまち	いつでも安心して医療が受けられるまち	生涯健康に暮せるまち	地域の福祉が充実したまち	子どもの教育環境が充実したまち	青少年が健やかに成長できるまち	スポーツ・レクリエーションに親しめるまち	多様な学習機会のあるまち	様々な芸術・文化を育むまち	公害など環境汚染がないまち	資源を無駄にしない循環型のまち	健康的に生活できる環境が保全されたまち
	全体(1,172)	33.3	45.1	12.2	33.3	15.0	8.3	14.7	7.5	7.3	3.2	3.1	11.2	6.3	10.6
性別	男性(507)	36.3	43.2	12.4	29.0	14.4	6.7	12.4	8.1	11.4	3.4	2.8	8.9	5.3	8.7
	女性(659)	31.1	46.7	12.0	36.6	15.3	9.6	16.5	7.1	4.1	3.0	3.3	12.9	7.1	12.0
年齢別	16～19歳(32)	25.0	15.6	3.1	6.3	15.6	0.0	15.6	3.1	21.9	3.1	0.0	15.6	0.0	12.5
	20～29歳(109)	37.6	14.7	12.8	27.5	15.6	6.4	15.6	1.8	6.4	4.6	5.5	8.3	2.8	13.8
	30～39歳(182)	60.4	30.2	12.6	32.4	10.4	11.0	30.8	9.3	5.5	6.0	3.8	9.9	4.9	11.0
	40～49歳(233)	39.9	40.8	10.7	33.5	15.0	7.7	17.2	8.2	10.3	3.0	2.6	7.7	5.6	8.6
	50～59歳(215)	25.6	51.2	16.7	28.4	14.9	8.8	7.4	7.4	9.3	2.3	3.3	10.7	6.0	9.3
	60～69歳(169)	27.2	56.8	8.9	40.8	16.6	6.5	14.2	7.7	5.3	1.2	3.6	14.2	8.9	10.1
	70歳以上(226)	15.9	65.9	12.4	38.5	16.4	9.7	6.2	8.8	3.5	2.7	1.8	14.2	9.3	11.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	34.7	49.3	14.6	28.5	15.3	9.0	21.5	8.3	5.6	2.1	3.5	9.7	7.6	9.0
	下戸田2地区(214)	34.6	47.2	14.5	36.4	13.1	7.9	15.4	6.5	7.9	2.8	2.8	9.8	7.5	11.7
	上戸田1地区(125)	29.6	43.2	8.8	32.8	15.2	6.4	9.6	8.8	11.2	3.2	3.2	10.4	6.4	10.4
	上戸田2地区(171)	33.9	42.7	12.9	26.9	15.2	8.8	15.8	7.6	10.5	3.5	1.8	12.9	5.3	9.4
	新曽地区(251)	34.3	41.8	11.2	30.3	19.5	8.8	13.1	7.2	6.8	4.0	4.8	7.6	5.2	10.4
	笹目地区(156)	30.8	49.4	9.6	39.7	12.2	9.0	12.2	5.8	3.8	3.8	1.9	17.3	7.1	11.5
	美女木地区(106)	32.1	43.4	14.2	43.4	12.3	7.5	15.1	10.4	4.7	1.9	2.8	14.2	5.7	11.3

- ・「安全で快適な歩行空間が整備されたまち」では、年齢別に見ると、50歳代が最も高くなっており、次いで30歳代と60歳代が高くなっています。
- ・「緑あふれるまち」は、年齢別では30歳代以下の若年層の割合が高くなっており、居住地区別にみると、上戸田1地区が最も高く、次いで、上戸田2地区、下戸田1地区が高くなっています。
- ・「雨に強いまち」は、年齢別では50歳代が最も高く、次いで16～19歳が高くなっています。居住地区別では、上戸田1地区及び新曽地区が他地区と比べて高くなっています。

図表 91-2 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		ち地球温暖化対策が進んだまち	防犯対策が充実したまち	消防体制が充実したまち	災害に強いまち	産業に活気のあるまち	商業に賑わいのあるまち	安心して働けるまち	市街地が魅力的なまち	道路整備が進んだまち	安全で快適な歩行空間が整備されたまち	景観が整備されたまち	緑あふれるまち	水と親しめるまち	雨に強いまち
	全体(1,172)	4.0	21.3	2.7	30.2	2.0	8.8	7.3	10.8	9.7	13.5	5.9	12.9	3.2	12.6
性別	男性(507)	3.4	19.7	3.9	29.4	3.0	8.5	6.5	14.0	11.2	13.2	6.3	14.4	4.5	14.2
	女性(659)	4.6	22.8	1.8	30.8	1.4	9.1	8.0	8.3	8.6	13.7	5.6	11.7	2.3	11.5
年齢別	16～19歳(32)	3.1	25.0	0.0	56.3	0.0	3.1	15.6	12.5	18.8	12.5	6.3	25.0	31.3	15.6
	20～29歳(109)	3.7	19.3	0.9	27.5	0.9	14.7	15.6	16.5	12.8	12.8	9.2	17.4	1.8	11.0
	30～39歳(182)	3.3	24.2	1.1	25.8	1.6	8.2	7.7	12.1	8.8	14.8	4.9	13.2	4.9	11.0
	40～49歳(233)	3.9	27.0	3.0	35.6	4.3	10.7	7.3	12.9	11.6	12.4	7.7	10.7	3.0	13.7
	50～59歳(215)	5.1	24.7	2.3	31.2	1.4	6.0	7.9	13.0	7.9	17.2	8.4	11.2	2.3	19.5
	60～69歳(169)	4.7	17.2	4.7	32.0	2.4	12.4	4.1	8.3	9.5	14.8	5.3	17.8	1.8	9.5
	70歳以上(226)	3.5	13.7	4.0	23.0	1.3	4.9	4.0	4.4	8.0	9.3	1.3	8.8	0.9	9.3
居住地区別	下戸田1地区(144)	4.9	26.4	3.5	34.7	1.4	4.9	9.7	8.3	10.4	12.5	8.3	16.0	2.8	9.7
	下戸田2地区(214)	4.2	16.4	1.4	27.6	0.5	11.2	6.5	11.7	5.6	15.4	5.6	9.3	3.7	11.2
	上戸田1地区(125)	4.0	22.4	5.6	32.8	4.8	6.4	5.6	10.4	12.8	15.2	5.6	16.8	4.0	14.4
	上戸田2地区(171)	4.1	25.7	2.9	31.6	0.6	12.9	6.4	11.7	5.8	10.5	7.0	16.4	5.8	11.7
	新曽地区(251)	4.4	19.1	1.2	26.7	2.0	10.4	8.8	12.0	12.0	15.1	6.8	11.2	2.0	15.5
	笹目地区(156)	3.8	21.2	3.2	33.3	5.1	6.4	5.8	7.1	10.9	12.8	3.8	11.5	1.9	13.5
	美女木地区(106)	1.9	22.6	3.8	28.3	0.9	4.7	8.5	13.2	13.2	10.4	2.8	11.3	2.8	10.4

- ・「公共交通機関が整備されたまち」は、年齢別では20歳代と50歳代で高くなっており、居住地区別では、笹目地区と美女木地区が高くなっています。
- ・「下水道が整備されたまち」は、年齢別では60歳代が最も高くなっており、居住地区別では、新曽地区が最も高く、次いで上戸田1地区が高くなっています。

図表 91-3 今後重要だと思う取り組み(全体・性別・年齢別・居住地区別)(つづき)

		公共交通機関が整備されたまち	下水道が整備されたまち	安全な水道水を安定的に利用できるまち	人権を尊重するまち	平和の尊さを実感できるまち	市民が自発的に行動するまち	市民と市が協働するまち	地域間の交流が盛んなまち	ボランティア・市民活動が活発なまち	国際化に対応したまち	一人ひとりの個性と能力が発揮できるまち	情報化に対応したまち	税金が効率的に使われているまち
	全体(1,172)	9.5	6.6	8.6	2.7	3.2	1.2	3.3	1.1	2.1	3.8	1.3	2.1	39.3
性別	男性(507)	9.9	7.3	8.1	2.8	3.0	1.4	4.3	0.8	1.0	4.7	1.8	3.4	37.1
	女性(659)	9.1	5.8	9.0	2.7	3.2	1.1	2.6	1.4	3.0	3.0	0.9	1.2	41.3
年齢別	16～19歳(32)	9.4	6.3	6.3	3.1	6.3	0.0	3.1	0.0	9.4	15.6	0.0	3.1	34.4
	20～29歳(109)	11.9	3.7	1.8	3.7	5.5	0.9	2.8	2.8	3.7	7.3	3.7	6.4	31.2
	30～39歳(182)	9.9	2.7	6.0	1.1	1.1	1.6	2.7	1.1	1.1	4.4	0.5	2.7	37.9
	40～49歳(233)	7.7	6.4	7.7	0.4	2.1	0.9	3.9	2.1	1.7	3.9	1.3	2.6	39.5
	50～59歳(215)	14.0	7.0	8.8	3.3	2.3	1.4	3.7	0.9	1.9	3.3	1.9	0.9	37.7
	60～69歳(169)	9.5	11.2	9.5	1.2	4.7	0.6	3.0	0.6	1.8	3.6	0.6	1.8	45.6
	70歳以上(226)	5.3	7.1	14.2	6.6	3.5	1.8	3.5	0.0	2.2	0.4	0.9	0.4	41.6
居住地区別	下戸田1地区(144)	8.3	4.2	6.3	2.1	4.9	2.8	1.4	0.7	2.1	4.9	2.1	3.5	33.3
	下戸田2地区(214)	9.8	4.7	9.8	2.8	2.8	1.9	3.3	0.9	2.8	3.7	0.5	2.3	39.7
	上戸田1地区(125)	9.6	9.6	8.8	2.4	1.6	0.0	4.8	1.6	0.8	4.0	2.4	2.4	39.2
	上戸田2地区(171)	9.4	3.5	7.0	2.3	2.3	1.2	1.8	0.6	3.5	5.8	1.2	2.3	42.7
	新曽地区(251)	6.4	13.1	6.8	4.4	3.6	1.2	4.8	0.8	1.6	1.2	1.2	2.0	36.3
	笹目地区(156)	12.8	4.5	10.9	2.6	5.1	0.0	3.2	1.9	1.3	5.8	0.6	1.3	46.2
	美女木地区(106)	13.2	2.8	13.2	0.9	1.9	0.9	3.8	1.9	2.8	1.9	1.9	0.9	38.7

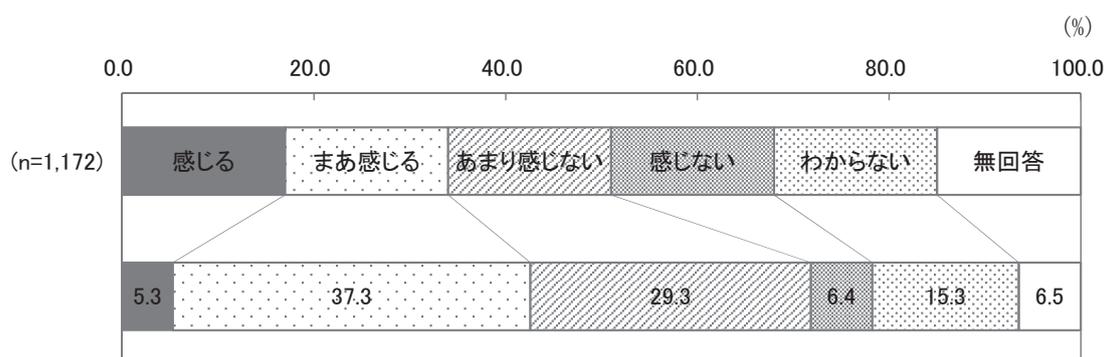
(3) 戸田市らしいまちづくり

問 41 あなたは、戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じますか？（○は1つ）

【全体の回答傾向】

- 全体の傾向でみると、「感じる」(5.3%)、「まあ感じる」(37.3%)を合わせると42.6%が戸田市らしいまちづくりが進んでいると感じています。

図表 92 戸田市らしいまちづくり(全体)



【属性別の回答傾向】

- 性別でみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は40.2%、女性は44.8%となっており、女性の方が4.6ポイント高くなっています。
- 年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、16～19歳で71.9%と最も高くなっており、年齢が上がるにつれて割合が低くなる傾向があります。
- 居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、笹目地区の47.4%が最も高くなっており、次いで、新曽地区の43.8%となっています。また、美女木地区では、38.7%と低くなっています。

図表 93 戸田市らしいまちづくり(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,172)	5.3	37.3	29.3	6.4	15.3	6.5
性別	男性(507)	4.7	35.5	31.6	7.5	13.8	6.9
	女性(659)	5.8	39.0	27.6	5.6	16.5	5.5
年齢別	16～19歳(32)	6.3	65.6	12.5	6.3	9.4	0.0
	20～29歳(109)	11.0	39.4	22.9	6.4	18.3	1.8
	30～39歳(182)	5.5	40.1	31.9	6.6	14.3	1.6
	40～49歳(233)	3.9	38.2	31.8	6.9	16.7	2.6
	50～59歳(215)	3.3	39.1	34.4	6.5	14.4	2.3
	60～69歳(169)	3.6	30.8	36.7	9.5	12.4	7.1
	70歳以上(226)	7.1	32.3	19.9	3.5	17.3	19.9
居住地区別	下戸田1地区(144)	2.8	39.6	27.1	11.1	14.6	4.9
	下戸田2地区(214)	1.9	39.3	26.6	6.1	15.4	10.7
	上戸田1地区(125)	7.2	36.0	28.0	4.8	16.8	7.2
	上戸田2地区(171)	7.6	32.7	39.8	2.3	12.9	4.7
	新曽地区(251)	4.8	39.0	27.5	8.0	15.9	4.8
	笹目地区(156)	6.4	41.0	30.8	5.8	11.5	4.5
	美女木地区(106)	9.4	29.2	24.5	6.6	21.7	8.5

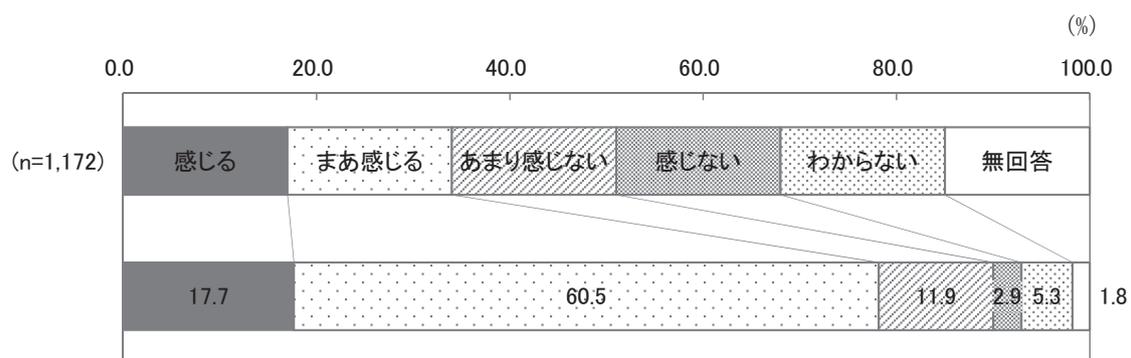
(4) 幸せ実感

問 42 総合的に考えて、あなたは、今、幸せだと感じていますか。(〇は1つ)

【全体の回答傾向】

- ・全体別にみると、「感じる」(17.7%)と「まあ感じる」(60.5%)を合わせた肯定的な意見が、78.2%となっています。

図表 94 幸せ実感(全体)



【属性別の回答傾向】

- ・性別で見ると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、男性は74.8%、女性は81.0%となっており、女性の方が6.2ポイント高くなっています。
- ・年齢別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見は、16～19歳で90.6%と最も高くなっており、40歳代と50歳代で80%を超えています。
- ・居住地区別にみると、「感じる」及び「まあ感じる」を合わせた肯定的な意見が、上戸田2地区、笹目地区及び美女木地区で80%を超えています。また、下戸田1地区では、67.4%と最も低くなっています。

図表 95 幸せ実感(全体・性別・年齢別・居住地区別)

		感じる	まあ感じる	あまり感じない	感じない	わからない	無回答
	全体(1,172)	17.7	60.5	11.9	2.9	5.3	1.8
性別	男性(507)	16.0	58.8	14.6	3.9	5.3	1.4
	女性(659)	19.0	62.1	9.9	2.0	5.2	2.0
年齢別	16～19歳(32)	34.4	56.3	0.0	0.0	9.4	0.0
	20～29歳(109)	19.3	57.8	9.2	5.5	5.5	2.8
	30～39歳(182)	19.8	58.8	11.0	4.9	5.5	0.0
	40～49歳(233)	18.5	64.8	10.3	2.6	3.4	0.4
	50～59歳(215)	15.3	64.7	11.6	1.4	6.0	0.9
	60～69歳(169)	11.8	63.9	13.6	4.1	5.9	0.6
	70歳以上(226)	18.1	53.1	16.4	0.9	5.3	6.2
居住地区別	下戸田1地区(144)	14.6	52.8	20.1	2.1	7.6	2.8
	下戸田2地区(214)	17.3	62.1	11.2	2.8	4.2	2.3
	上戸田1地区(125)	20.0	58.4	11.2	2.4	7.2	0.8
	上戸田2地区(171)	21.6	59.6	9.4	2.3	4.1	2.9
	新曽地区(251)	16.3	62.5	12.0	3.2	5.2	0.8
	笹目地区(156)	17.3	64.1	11.5	3.2	3.2	0.6
	美女木地区(106)	17.9	62.3	7.5	3.8	7.5	0.9